

国立

高知大学2020 大学案内

人文社会科学部

教育学部

理工学部

医学部

農林海洋科学部

地域協働学部



高知大学
Kochi University

地域から 未来を展望する

大学とは、学びたい意欲や積極性に対して、そのチャンスを提供する場。
どうせなら舞台は大きい方がやりがいがあるし、可能性も実現性も、高いほどきっとおもしろい。
高知大学を拠点に始まる、あなたの挑戦。その先に、まだ見ぬ自由が広がっているはずです。

Super Regional Universityへようこそ!



高知大学 学長
櫻井 克年

みなさんはどんな社会人になりたいですか?
社会の求める人材は、自分で考えられる学生。
創造を主導することのできる学生。
つまり、地域を創生することで日本を再生に導くプレイヤーです。
現場を経験して、自分で考えるトレーニングを積み、
あらゆる社会の現場で、活躍できる人材に育つはず。
高知大学は、地域協働型教育を通して
みなさんの、そして社会の期待に応えます。

高知にはあらゆる現場がある。
山頂から、海底までの豊かな自然環境はもちろんのこと、
人間の暮らす社会としての限界集落や小都会もある。
豊富で新鮮な食料と、気さくで親切な人々もいる。
未来の日本のヴィジョンを描くうえで、
土佐の地にどっしりと腰を据えた高知大学での様々な体験と実践は、
きっと、役に立ちます。
高知大学で、みなさん自身とこの社会の未来図を描き、
それを具現化するために、私たちと共に学び、成長しましょう。

そんな、Super Regional University 高知大学へ ようこそ!

INDEX

巻頭特集	
地域から未来を展望する	01
学びの構造	13
共通教育	15
学びを支える様々な制度や取組	15
もうひとつの学びの場 課外活動	16
▶ 各学部の情報や特徴は?	
学部紹介	
人文社会科学部	17
教育学部	23
理工学部	29

医学部	35
農林海洋科学部	41
地域協働学部	47
学びの環境	53
教員紹介	59
▶ もっと学びたい時は?	
大学院	65
国際交流	67

▶ 大学生活について詳しく知りたい	
キャンパスライフ	
学年暦・福利厚生施設・生活費	69
サークル活動	73
朝倉キャンパス	75
岡豊キャンパス	77
物部キャンパス	79
入学科・授業料・学生寮・奨学金制度	81

▶ 就職に関する情報	
就職活動支援	83
▶ 入試に関する情報	
入試データ	87
ネット出願	90
オープンキャンパス	90

※学生の学年表記は、平成30年度時点です



「よさこい」がつなぐ、人と地域

個性や多様性の競演が、進化の源



YOSAKOI UNIVERSITY
もっと知りたい人はこちら
高知大学
ランディングページ▶



よさこい概論 祭りを学問し、祭りを体感する、ユニークな授業

高校までの学びは、先生から正解を教えてもらう学び。けれど大学では、答えを探すのは自分自身で、答えも決して一つではない。

「よさこい概論」は、そんな“大学らしさ”を体感できる授業の一つ。座学やグループ討論、様々なゲスト講師による講義など、オムニバス形式の授業でよさこいを体系的に学んでいく。深く知ることによって見えてくる、広い世界——授業をきっかけに、よさこいを踊る学生も少なくない。

学び、踊り、“よさこいワールド”を満喫!

立野 雄二郎 地域協働学部2年
北海道立北海道登別明日中等教育学校出身

履修のきっかけは、本場高知のよさこいを深く知り、よさこいを語れるようになりたいと思ったこと。授業で祭りの歴史やYOSAKOIソーランとの比較を学んだり、よさこい移住者や競演場を運営する商店街の方から話を聞いたりする中で、やっぱり体験しなければ!と思い、実際によさこいも踊りました。新入生にはおススメです。





地域協働マネジメント実習

高知の海をフィールドに、地域と学生がコラボ

地域協働学部では、1年生から地域に入って地域を知り、地域とともに課題解決のためのプロジェクトを立案・実践していく。県西部の黒潮町で実習を行った3年生のチームは、砂浜美術館と協働。SNSの活発化を目指し、主要イベントであるTシャツアート展でInstagramを使ったフォトコンテストを主催した。また、遊漁船主会とも協働し、ホエールウォッチングの顧客情報収集とデータベースづくりにも取り組む。教室の中だけでは得られない学びが、学生たちの成長を促している。

photo by Hiroki Haito



実習から発展した学び

日本遺産のサブストーリーの発掘と発信

日本遺産に認定された県東部の中芸地域の「森林鉄道から日本一のゆずロードへ」という物語。実習での経験をきっかけに、その物語をさらに豊かにするサブストーリーを発掘しようと自分たちで取り組んだのが、人文社会科学部の女子学生たちだ。中芸地域に暮らす80～90代の女性たちから聞き取りをしたライブヒストリーの中から、恋愛や結婚についての「恋バナ」を集めて『サブストーリーコレクション』にまとめた。「そこに暮らす人々の人生も含めて、地域の歴史や文化を理解し、発信したいと考えた」という学生たち、その思いが冊子という形となって、地域の過去と未来を結んでいる。



豊かな海で新種を発見

日本屈指の魚類標本コレクション

まるで自然史博物館の魚類部門のような理工学部標本室。ここには登録件数12万件、個体数20万点を超える魚類標本が保管されている。学名の基準となる146種1,385標本(ホロタイプ、パラタイプ、ネオタイプ)は学術的に最重要で、特にソコダラやリュウグウノツカイなど深海魚のコレクションは世界有数を自負する。

学生たちは日々、調査船や漁港回りで魚を採集。豊かな海が研究の源だ。



研究室と現場を往還する学び

多彩な実践の場で行われる「生きた学問」

小規模校に入って支援

少子化の最前線で、ともに育つ

本学教育学部では、学生が多彩な教育の現場に入り、実践を行うプログラムが重層的に組まれている。その一つが「支援実習」だ。これは一年間を通じて定期的に中山間地域の小・中学校を訪れ、行事支援や授業支援を行うもの。一人ひとりの子どもと深く関わりながら成長を見守ることができるとともに、それを通して学生たちも学びを深めるといふ相乗効果を生んでいる。





海外の現場を体感する 教員と一緒に、本格的実習

実践の地は、国内だけに留まらない。農林海洋科学部「国際協働特別プログラム」では、本学とアジアの大学が相互に行き来し、学び合う。農学という地球規模のテーマに、国境を超えてともに挑む第一歩となっている。

人文社会科学部「国際社会実習」のスタディツアーでは、海外の様々な現場を教員と一緒に巡る。異文化の中に飛び込み、五感で自分なりの学びをつかみ取ることが目的だ。



学生起業という挑戦

学生が株式会社を起こし、地域の魅力を発信

過疎化の進む大豊町で、地域再生をかけて始まったブルーベリーの栽培。その後押しをしないと立ち上がったのが、地域協働学部の学生有志だ。彼らが経営する「カフエサトビト」では、大豊町産のブルーベリーや柚子を使ったアイスクリーム、地場の食材を使ったランチなどが提供される。レシピ開発、調理、接客、売上管理、行うのはすべて学生だ。生産者と消費者をつなぎたいという共通の思いが、彼らの原動力だ。

企業と大学で連携の学び

新聞記者として学生が活躍

社会で活躍する人を輩出するために近年、力を入れているのは、企業と大学とが協働で行う実践的な教育だ。

その一つ、人文社会科学部の地域ジャーナリズム分野の授業では、現役新聞記者によるリレー講義や新聞社でのインターンシップなど、独自の学びが展開される。実習はハードだが、自分の足で地域を回って書いた記事が載る紙面からは、社会の厳しさを体験した学生たちの成長がうかがえる。



さらなるフロンティアに挑む

地球深部から宇宙まで、未開拓の領域に進出

“未知の世界”海洋バイオ研究に挑む

遺伝子改良技術における、世界初の成果

いまだ未知の種が多く、次世代技術の“宝の山”と言われる海洋微生物、中でも、次代のバイオ燃料として注目されるのが微細藻類だ。この分野の最前線を走るのが、農林海洋科学部水族環境学研究室。より多くの油を生産する種の探索や、生産性向上のための遺伝子改良技術の開発に取り組んでおり、遺伝子改良の要となる最高品質の「プロモーター」を世界で初めて海産珪藻に感染するウィルスから取り出すことに成功した。生物資源の宝庫、高知の海をフィールドに、挑戦は続く。

©(公財)黒潮生物研究所

深海底から、過去と未来を探る

JAMSTEC(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)や、地球深部掘削船「ちきゅう」との連携

全地球規模の過去の記録が積み重なっている堆積物。それを掘削し、柱状に抜き取った試料が「コア」だ。物部キャンパスにある高知コアセンターは、この研究における世界三大拠点の一つ、世界中から研究者が集まってきており、本学の農林海洋科学部や理工学部の学生も、この施設を活用してハイレベルな研究を行っている。

また、海底に眠る鉱物やエネルギー資源は、次世代を担う資源として注目を集める新領域だ。国が進める「海のシバンク計画」6事業のうち3つが本学から採択という実績の通り、高知は海底・海洋研究における最前線、先駆けの地なのである。



©JAMSTEC 写真提供協力:白井研究室

はやぶさ2プロジェクトに参画

カメラの開発・運用・解析に協力

2019年2月22日、JAXA(宇宙航空研究開発機構)の探査機はやぶさ2が、小惑星リュウグウへの1回目のタッチダウン(着陸)に成功した。このミッションにおいて、はやぶさ2の“目”である可視カメラ、分離カメラの開発・運用に貢献したのが理工学部の本田研究室だ。

研究室では現在も教授の指導のもと、学生たちが小惑星リュウグウから送られてきた画像データの解析やプログラムの開発に取り組んでいる。



イラスト:池下章裕

写真右:本田研究室が関わったはやぶさ2科学観測可視カメラが捉えた小惑星「リュウグウ」

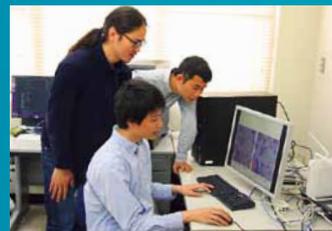
©JAXA、東京大、高知大、立教大、名古屋大、千葉工大、明治大、会津大、産総研

開発・運用を支えた学生力

はやぶさ2の着陸地点の探索に貢献!

2018年6月のリュウグウ到着後、はやぶさ2は着陸についての新たな課題に直面した。小惑星の表面全体が着陸時に危険を及ぼす大きなボルダー(礫)で覆われていると判明したためだ。そこで本田研究室が挑んだのが、画像解析によってくまなく平坦地を探索することだった。プログラムの開発を担当したのは当時修士1年だった藤井祐貴さん。地表の凹凸が生む影に一画素ぎりぎりまで注目するという彼のアイデアを活かした解析結果は、実際にタッチダウン地点検討の一部に用いられ、2019年2月のタッチダウン成功の一翼を担った。

JAXA、大学の研究者、そして学生の連携プレー。多くの力が科学技術の最前線を切り拓いている。



AI技術で、共生社会を築く

障害者支援の新たなシステムを開発

科学技術が挑むのは、未踏の地ばかりではない。理工学部の森研究室では、AI技術のひとつであるファジィ論理をベースに、障害のある人の立場に立った新たな障害者支援機器やシステムの開発に取り組んでいる。開発しているのは視覚障害のある人に形や動きを音の動きで提示するシステムや、赤外線深度センサーで障害物や段差を発見する電子白杖、聴覚障害のある人との会話を目指した手話トレーニングシステムなど多岐にわたる。その鍵となるのは、宇宙や深海で使われている技術と変わらない最新テクノロジーだ。多様性を認め合う共生社会の実現にも、科学や工学の領域が大きく寄与している。





次世代の 人材を輩出

高知でしかできない体験を通じて、豊かな感性と高い能力を身につけた学生たちが、世界に羽ばたいています。



地域協働の実習・授業と、テレビレポーターを両立 TVを通じて、高知の魅力を発信

地域協働学部3年 | 高知県 私立土佐女子高校出身 | 上田 祝



写真上：地域協働の実習では黒潮町でお世話に。
写真下：番組名は「Kochi on TV」。反響もうれしかった。

高知は、自然や人の温かさなど魅力にあふれた土地です。それを発信したい、人と人をつなげたいと思い、私は地域協働学部に入りました。入学直後、高知ケーブルテレビの学生レポーターという機会を得て、以来、地域協働の実習や授業とレポーター活動を両立しています。

授業でも番組でも、いろんな場所に足を運び人と出会い、魅力に触れる中で、私の視野や考えは大きく広がりました。自分の五感で得た学びは、“一生もの”。それを積み重ね、成長していきたいです。

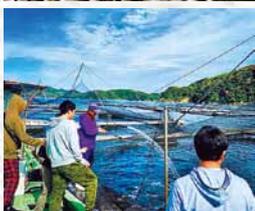


きわみかんぱち

極美勘八の現場と連携し、魚病の発生を予測

養殖漁業に新風を吹き込む!

大学院 農学専攻1年 | 岡山県立倉敷青陵高校出身 | 加藤 佑亮
農林海洋科学部 4年 | 高知県立高知西高校出身 | 池田 拓司



写真上:白点病で死んでしまった何百匹ものカンパチ。
写真下:現場を知ること、成長も促される。

養殖漁業における魚病の損害は、わずか数日で何千万円にも及ぶ深刻な問題。その病気の発生予測が僕たちの研究テーマです。現場はカンパチ養殖発祥の地、須崎市野見湾。朝5時から船で養殖いかだを回り、採水した海水からDNA抽出によって白点病の原因である原虫の数を調べます。朝が早く、現場と大学の往復は大変ですが、この新手法をさらに簡便化し、実用化を目指す産官学連携プロジェクトも始動予定で、とても楽しみです。現場の役に立つ研究——それが目標です。



現場体験から見てきた、理想の将来像

チューター活動で原点を見つめ直す

教育学部4年 | 高知県立高知追手前高校出身 | 田畑 咲恵



キャンパスで地域の小学生と一緒に遊び、学ぶプログラムなど、校内でも様々な体験ができる。

初めて地域の小学校にチューター(学生講師)として入った時、教育現場の現実にとっても驚きました。まず席に座っていない子の方が目立ち、授業をするための環境づくりから支援をスタートしました。

大学の授業や実習先の附属小学校では、授業の指導法、その正確性を学びます。チューターの現場では、学級運営や授業の魅力づくりについて教わりました。「その子のできる最大限をいかに引き出すかが大事」——現場で出会った先生の言葉から、目指す教員像も見えてきました。



ゼミ活動で社会とつながり、野球で地域に貢献する 生きた学びで、道を切り拓く

人文社会科学部3年 | 高知県 高知市立高知商業高校出身 | 小松 龍真



写真上:アンケートから企業への提案も行った。
写真下:硬式野球体験会では地域貢献の意義を学んだ。

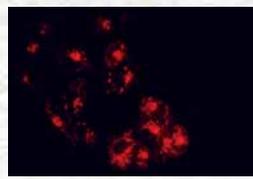
大学の学びは高校までと違い、様々な授業や経験から自分の興味を見つけ出す学びです。僕は3年生のゼミで、スーパーマーケットの経営改善点を探るアンケート調査を実施。そこで生活者のニーズの多様性を知り、さらに働く側の多様性や企業の健康経営にも興味を湧いて、自分のテーマが明確になっていきました。

また所属している野球部では、中学3年生を対象にした硬式野球体験会の開催をリーダーとして牽引。その経験も、きっと将来につながる一歩になるはずですよ。



生体深部のミトコンドリアをモニタリング 世界初の蛍光色素で、特許出願

大学院 理学専攻1年 | 高知県 私立土佐女子高校出身 | 関 仁望



開発した蛍光色素と、それによって光るミトコンドリア。医学の発展に大きく寄与する可能性を持つ。

がんや糖尿病の治療の鍵として研究が進むミトコンドリア。私はミトコンドリア観察用蛍光色素を開発してきました。この色素は、通常時には細胞内ミトコンドリアに吸着しますが、ミトコンドリアに元気がない時には細胞核に移動します。この挙動を蛍光顕微鏡で観察することで、ミトコンドリア活性のモニタリングが可能になるため、今後、生命科学における新たな研究ツールになると期待できます。この研究は、2つの特許出願※と、サイエンス・インカレでの受賞につながりました。

※一つは高知大学仁子陽助教との連名、もう一つはそれに加えて山口大学との連名

数字が裏付ける 高知大学の实力

97.53%

就職率 (平成29年度卒業生)

76.74%

公務員内定率
(平成29年度卒業生)



留学生数
(22ヶ国)

海外協定校
うち大学間協定62機関(19か国1地域)
部局間協定32機関(18か国1地域)

海外派遣
留学生数

144名 94機関 110名



人文社会科学部
4年生のゼミ平均人数
4.8人



農林海洋科学部
キャンパス内農地面積
東京ドーム4個分



地域協働学部
1~3年生の実習時間
600時間

74.2%

教育学部
教員就職率
(平成29年度卒業生)

35%

理工学部
開講専門科目の実験
実習科目割合

140% 越え

医学部
サークル加入率



超高齢化社会における、制度の客観的指標を目指す 医療ビッグデータ活用の先駆けに

医学部4年 | 京都府 私立京都女子高校出身 | 西村 直子



写真上: 研究は、第18回日本医療情報学会で学術奨励賞を受賞。
写真下: 指導して下さった先生とともに。

高知大学医学部附属病院が1981年の開院時より蓄積し続けている、約34万人の匿名化医療データ。私はそれを活用し、肝機能、腎機能、栄養状態の3つの検査値から高齢者の年代による健康状態の変化を解析・考察しました。結果、生活習慣や医療水準の変化により運動機能や認知機能は変化し得るが、内臓機能に大きな変化はないことが示されたと考えています。

超高齢化社会における働き方や社会保障制度の客観的指標。その先駆けとなるよう、今後も研究に励んでいきます。

学びの構造

Kochi University Educational System

1年 2年 3年 4年 ※医学部医学科は6年

共通教育

- 初年次科目
 - 大学基礎論
 - 学問基礎論
 - 大学英語入門
 - 英会話
 - 情報処理
 - 課題探求実践セミナー
- 教養科目
 - 人文分野
 - 社会分野
 - 生命・医療分野
 - 自然分野
 - 外国語分野
 - キャリア形成支援分野

学びのポイント

人間と世界についてしっかりとした考え方をくり上げ、自律的な能力の基盤を形成します。
講義形式から体験型まで多様なテーマが用意されており、実践の中で自分の幅を広げながら、専門教育へのプロセスを踏んでいきます。

どんな力を身につけるのか

論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる力や、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる力を育みます。

専門教育

分野のキーワード

学科/課程/コース

人文社会科学部

- 人文科学
- 社会科学
- 異文化間理解
- グローバル社会
- 現代社会
- 社会制度

人文科学コース

人文社会科学科 国際社会コース

社会科学コース

教育学部

- 幼児教育と乳幼児保育
- 発達や障害に応じた教育支援
- 教育学、心理学の理論と実践
- 各教科の高度な内容理解と指導法
- 芸術、スポーツの高度な実技と指導法
- 障害のある子どもへの高度な教育支援

学校教育教員養成課程

幼児教育コース

教育学コース

国語教育・社会科教育・数学教育・理科教育・英語教育・音楽教育・美術教育・保健体育教育・技術教育・家庭科教育の各コース

科学技術教育コース

特別支援教育コース

理工学部

- 科学の基礎法則
- 数学的思考力・英語力・情報処理能力
- コンピュータ、情報理論
- 資源、エネルギー、レアメタル
- 生物の多様性、環境、生命現象、古生物
- 防災、南海地震、地球掘削

数学物理学科

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

数学コース

物理科学コース

医学部

- 生命と健康を守る
- 身体、精神の苦しみを和らげる
- 病気、負傷などに対する治療を行う
- 身体機能の改善を助ける
- 健康への悪影響、病気を減らす
- 病気、身体、生命の仕組みを解明する

医学科

看護学科

P.35

農林海洋科学部

- 人と自然が共生する社会へ
- 生命の源、水と森を守る
- 海に資源の可能性を探る
- 食から始まる健全な暮らしと環境
- 化学で生命活動を解き明かす
- 循環型・持続型の地球社会を目指す

農林資源環境科学科

農芸化学科

海洋資源科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

地域協働学部

- 地域協働による地域産業振興
- 高知のうみ・やま・むら・まちがフィールド
- 大学での学びと地域での実践の往復
- 6次産業化による農山漁村の発展
- コミュニティビジネスによる地域生活の維持
- 官民協働による地域政策

地域協働学科

P.47

卒業

どんな力を身につけるのか

- 幅広い教養
 - 人文・社会科学に関する専門的知識
 - 国際化への対応に求められる知識や語学力
 - 現代社会並びに地域社会に対する深い洞察力
 - 教養や知識に裏付けされた主体的判断力
 - 「知」を総動員した問題解決へ向けての姿勢
-
- 幼児教育および乳幼児保育における高度な専門性と研究・実践力
 - 多様で複雑な教育課題を読み解き、よりよい未来を切り開く力
 - 各教科についての豊かな知識と教育実践力
 - 音楽・美術・体育の高度な実技能力と指導力
 - 知的好奇心と探究心を高め、科学的思考・技術に結実させる力
 - 子どもの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力
-
- 基礎的専門的数学教育による論理的思考能力
 - 主体的な学びによる課題探求能力・問題解決能力
 - 創造力、行動力、柔軟思考と考え抜く力
 - 自然現象を数理的に記述し、分析する能力
 - 多様な生物の諸現象とその歴史を正しく理解する力
 - 野外調査能力、自然観察力、多くの情報を総合して判断する力
-
- 医師・看護師などの基礎知識、基本技能
 - 患者さんや家族に共感し、意思を通じ合う能力
 - 医療スタッフとともに医療を行う協働能力
 - 自ら問題を見出し、解決に向かう意思と能力
 - 生命、個人を尊重する倫理観、使命感
 - 使命を達成するための自己管理能力
-
- 現場体験に基づいた“ものづくり”の力
 - 生態系をミクロから地球規模まで総合的に理解する力
 - 環境との調和のもと資源の生産・利用を考えていく力
 - 生命のメカニズムを知り、実用技術に結びつける力
 - 自然環境と人をつなぐ技術やシステムを創造する力
 - 食料・人口・資源問題の調和的解決方法を探る力
-
- 複雑で多様な地域の特性を理解する力
 - 地域資源を開発・活用するための企画を立案する力
 - 人や組織の協働を創り出し、その活動を促進する力

進路

進学 → P.65

就職 → P.83

大学院（総合人間自然科学研究科）

修士課程

- 人文社会科学
- 教育学
- 理工学（仮称）
- 医科学
- 看護学
- 農林海洋科学（仮称）
- 地域協働学（仮称）

専門職学位課程

- 教職実践高度化専攻 [教職大学院]

博士課程

- 応用自然科学
- 医学
- 黒潮圏総合科学

学びのポイント

専門分野はもちろん、近接分野や異分野も修得できる領域横断型の学びで、専門性を深めると同時に、幅広い素養や視点を養います。

愛媛大学大学院 連合農学研究科

愛媛大学大学院連合農学研究科は、愛媛大学、高知大学、香川大学の農学研究科が連合し、協力して開設した後期3年だけの博士課程です。

主な職業イメージ

新聞社、テレビ局、中学校教員（国語、英語、社会）、高等学校教員（国語、英語、公民、地歴、商業）、日本語教員、公務員、銀行、保険業、旅行代理店、航空、流通、教育関連、情報通信業、サービス業など

小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、保育士、公務員、教育関連の企業、文化施設・スポーツ施設・福祉厚生施設の指導員、衣食住・情報関連の企業など

教育・学習支援業、情報通信業、製造業、学術研究、専門・技術サービス業、金融業、保険業、卸売業、小売業、公務員、教員、運輸業、郵便業など

医学科：病院・診療所などの医師、医学・生命科学の研究者・教育者
看護学：看護師、保健師、助産師、看護学の研究者・教育者
共通：国、地方自治体、団体、企業、国際機関等の専門職など

試験研究機関、公務員、教員、民間企業（食品、バイオ、医薬品、種苗、農薬、農業機械、魚介類養殖、木材、測量、設計、土木、水処理、情報、環境アセスメント）、各種コンサルタント（環境科学・土木建設系など）、各種団体（農・林・水産系）、JICA、青年海外協力隊など

県・市町村職員、地場産業社員、商工会等職員、グラフィックデザイナー、金融機関社員、NPO職員、社会福祉協議会職員、地域おこし協力隊、地域資源活用ビジネスの起業家、地産外商農家、コミュニティデザイナー、マスコミなど

目指すのは自律型人材

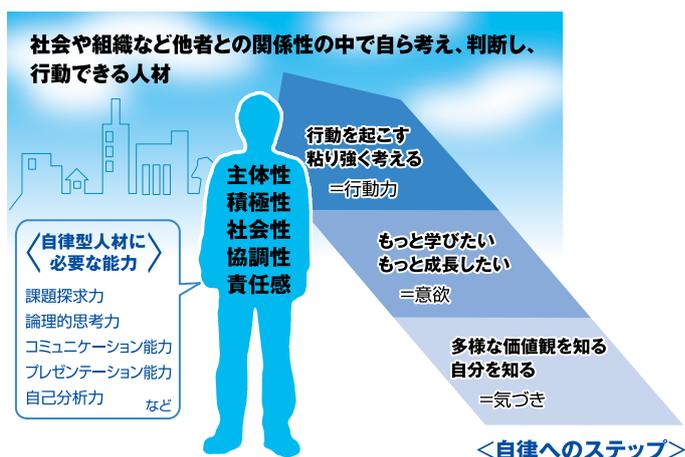
今、社会は「自律型人材」を求めています。「自律型人材」とは、「社会や組織の中で自らが考えて判断し、行動できる人」です。具体的には、論理的思考力を身につけ、他者の考えを理解し、自らの考えを他者に伝えることができる人、責任感と協調性を持って粘り強く考え行動できる人、といえるでしょう。

自律性獲得への第一歩は他者との交流や学問との出会いを通じて自分を知ること、つまり「気づき」から始まります。気づきは学びや成長への「意欲」をもたらす。意欲は「行動力」へとつながっていきます。

高知大学では、この自律へのステップをできるだけ早い段階で踏み出せるよう独自の共通教育を導入し、学生の育ちをサポートしています。



■ 高知大学の考える自律型人材



学びを支える様々な制度や取組

アドバイザー教員制度

入学から卒業まで学生全員にアドバイザー教員がつきます。アドバイザー教員は本学の専任教員が担当し、在学中の学習計画や履修指導はもちろん、進学、就職、生活、健康といった大学生生活全般における相談役として助言や指導を行います。

リメディアル教育

リメディアル教育とは、大学教育を受けるために必要な基礎学力を補うことを目的に行われる「補習教育」のことです。

▶ 入学前教育

一部の学部では、推薦・AO入試の入学生を対象に、大学の授業にスムーズに移行できるよう、考える力や問題を発見する力を養う入学前教育を実施しています。

▶ 大学生として必要な基礎学力を補うための教育

初年次科目の「大学英語入門」と「英会話」では、最初の授業にプレースメントテストを実施し、習熟度に応じたクラス編成・授業を実施しています。

また教養科目自然分野では、理数系分野の「微分・積分学」「物理学」「化学」「生物学」「地球科学」などにおいて、その分野を高校で十分に学習できなかった学生を対象とする通年開講の基礎授業を実施しています。

オフィスアワー

学生からの質問や相談に教員が応じるための時間がオフィスアワーです。授業での質問や疑問に思うことがあれば、アドバイザー教員以外の教員のもとにも気軽にに行けるシステムです。

e-ポートフォリオ

学生の入学から卒業までの履修、成績、課外活動等の学びに関わる情報を集積し、わかりやすく可視化するシステムです。

学生は、e-ポートフォリオを活用することで、学びの目標設定(Plan)→実行(Do)→振り返り(Check)→改善(Action)を意識することができ、学びの量と質の向上につながります。また、e-ポートフォリオ内の多くの情報は、アドバイザー教員にも共有され、学生支援に役立てられます。



▶ 共通教育とは

共通教育は、各学部における高度な専門的学習の基礎や、人生、生活を豊かにするための幅広い教養を身につけたり、自らのキャリア形成を行うための支援を受ける場であり、高知大学で学ぶ全ての学生にとって重要なカリキュラムとして位置づけられています。

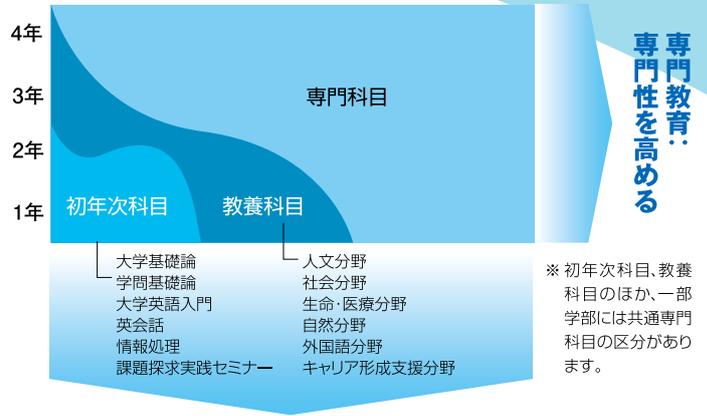


大学では、必ず履修しなければならないとされている授業（必修科目）以外は、それぞれの設定する学びの目標に沿って自由に選択できます。

初年次科目

初年次科目は、「大学基礎論」、「学問基礎論」、「大学英語入門」、「英会話」、「情報処理」、「課題探求実践セミナー」の6科目で構成されています。これらの科目は、学習の目的や意義を明確にし、学習を進めるための基本的知識や技法を身につけ、自ら考え、自ら表現し、問題を発見し探求できる基礎的能力を獲得するために設けられたもので、高知大学の学生全員が必修です。

■ 4年間の履修の流れ



共通教育: 自律的な力を育む

教養科目

教養科目は、幅広い学問分野に触れるとともに、現代的なトピックスにも目を向け、人間として、社会人として豊かな教養が育つように人文分野、社会分野、生命・医療分野、自然分野、外国語分野、キャリア形成支援分野の6分野で編成されています。履修については、特定の分野に偏ることのないよう選択履修としています。

もうひとつの学びの場 — 学生の課外活動支援

自律的な力が育まれるのは授業だけではありません。学生が自主的に行っている活動も、成長につながる貴重な機会。そこで高知大学では、学生の課外活動についてもサポート体制を充実させ、活動を推奨しています。

コラボレーション・サポート・パーク

学生と社会をつなぐリエゾンオフィス

高知大学には、学生に自発的な活動実践の場を提供し、その活動を教員とスタッフが支援する仕組みがあります。地域や企業、地域の人々との出会いを通し成長していく学生を応援しています。

準正課のインターンシップなど、地方創生推進士育成科目等の履修相談、受付窓口機能を担い、地方創生推進士 (p.86) を目指す意欲ある学生を応援します。



▶ 学生の「何かしたい」をかたちに コラボ考房プロジェクト

「自分のアイデアで高知をもっと元気にしたい!」、「やりたいことがあるけれど、何から始めていいかわからない」など、様々な思いを持つ学生団体の活動を教員やスタッフがサポートします。

新規企画は1,2年生を含む3人以上のグループなら応募できます

▶ いろんな地域をのぞいてみよう えんむすび隊

高知県内各地を訪ねるワンデイツアーを行っています。地域のすばらしさや、地域の抱える問題に触れることで、社会との関わりを考え行動を起こすきっかけとなることを目指しています。

- 実施例
- 本山市 田んぼアート
 - 四万十町 大正浪漫ひなまつり
 - 中土佐町 避難訓練
 - 南国市 山地酪農を学ぶ 等

1日から参加OK。 いろんな体験ができます!



田んぼアート田植え体験(本山市)

人文科学と社会科学を織り混ぜた新たな学びのしくみ

人文社会科学部

Faculty of Humanities and Social Sciences

学科・コース

人文社会科学科

人文科学コース

国際社会コース

社会科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



人文社会科学部

人文社会科学の新たな学び —人文学部から人文社会科学部へ—

グローバル化の進展をはじめとする社会の変化により、近年の社会は、総合的・専門的知識を持った人材だけでなく、従来の分野の枠組みを越えた柔軟な発想力を兼ね備えた人材を強く求めています。

人文社会科学部は、学科の“垣根”を取り払い、新たな理念「人文社会科学（領域）の教養の涵養」を基軸に教育課程を一体化する組織改編により誕生しました。1学科体制の下、「人文社会科学（領域）」の教養を軸としてグローバルかつローカルな課題に

取り組み、社会の変化に柔軟に対応できる新たな人材の養成を行います。

～平成27年度

人文学部

人間文化学科

国際社会
コミュニケーション学科

社会経済学科

平成28年度～

人文社会科学部

人文社会科学科

人文科学コース

哲学・思想プログラム、心理学プログラム、歴史・地理学プログラム、日本語・日本文学プログラム、英米文学プログラム

国際社会コース

言語・コミュニケーションプログラム、総合文化プログラム、グローバル社会プログラム、ヨーロッパ地域プログラム、南北アメリカ地域プログラム、アジア・オセアニア地域プログラム

社会科学コース

経済理論プログラム、経済政策プログラム、経営・会計プログラム、法律・政治プログラム

▶ 人文社会科学科人文科学コース2年生第1学期の時間割例（日本語・日本文学プログラム）

※教職をめざす学生の例

	月	火	水	木	金
1時限		中等国語指導法I	生徒指導	教育相談	
2時限		日本語学概論I	中国語中級I		
3時限	専門英語I	中国文学概論I		中国古典文学論I	日本語論I
4時限	特別活動指導法	日本近代文学講読I		基礎演習	日本古代中世文学史
5時限		日本古典文学論I		日本文学概論I	

▶ 人文社会科学部ホームページ

<http://jinbun.cc.kochi-u.ac.jp/>

アルバイトで貯めたお金で温泉巡りをするのが楽しみです。よく学びよく遊び、大学生活を満喫しています!

先輩にきく Message from Student

自由に学べるからどんどん楽しくなる

タヤバス カルラ 人文社会科学部 人文社会科学科3年(香川県立高松商業高校出身)

小学校4年生の時に、家族とともに香川県に生まれました。異なる文化の中で過ごすうちに国際関係の勉強をしたいと思うようになり、高知大学に進学しました。2年から専門科目の授業が始まり、勉強がおもしろくなりました。人文社会科学部にはコースが3つありますが、コースをまたいで履修できるので、興味のあることを幅広く学べるのもうれしいです。

海外に行きたくて、2年生の時にJAPF(日本アジア振興財団)が主催するインターンシップ型スタディツアーに参加し、カンボジアに行きました。教育や医療、経済や文化などについて学び、大学も学部も学年も違う学生



JAPFのツアーでは、カンボジアのアンコールワット遺跡も訪れました

たちと意見を交わし、考えを深めることができました。後輩たちにもぜひ参加してほしいと思い、広報スタッフとして活動を続けています。

4年生の春には、「海外調査実習」でオーストラリアに行く予定です。これは学生が主体的に計画を立てて研究をするための留学プログラムで、私はバイリンガル教育について学んできます。今は取材のための下調べや質問項目の精査など準備に忙しいですが、とても楽しみです。



人文社会科学部

教員にきく Message from the Dean

学びの扉を叩こう

中川 香代 人文社会科学部長

人文社会科学部の最大の特徴は、一つの学部にいながら「人文科学」「社会科学」「地域と国際」の幅広い分野を学べること。それを可能にしたのが、本学部独自の履修システムです。まずは「プラットフォーム」という学部共通の科目の中で、基礎的な勉強をしながら視野を広げます。やがて所属コースの専門を軸に、15のプログラムの中から自分の好奇心と目標にあわせて学びを選び、自分だけのテーマを見つけていきます。

現代社会では、例えば“文化と企業がつながる”、“地域に軸足を置きながら国際的視野で考える”というように、様々な分野が融合し、専門家同士が協力し合って物事を考えたり動かしたりしています。だからこそ皆さんにも、広い視野を持ちながら専門的な知識と深い思考力を身につけてほしいと考えています。

大学は自由で、敷かれたレールもありません。自分で叩いていかないと扉は開かれないけれど、叩けば必ず世界は広がります。高知大学の4年間で、自律的に学び、自分をデザインしてってください。

カリキュラム例

人文科学コース	国際社会コース	社会科学コース
講義科目80科目、演習・実習・実験科目70科目と豊富に取り揃えています。	講義科目80科目、演習・実習科目60科目を超えており、広い教養と実践的スキルを養えます。	講義科目50科目、演習科目70科目と充実しています。
<ul style="list-style-type: none"> ■ 哲学・思想プログラム: 西洋近代思想・倫理学・宗教論 ■ 心理学プログラム: 認知発達心理学・認知心理学・社会心理学・感情心理学 ■ 歴史・地理学プログラム: 日本中世史・日本近世史・日本近代史・東洋古代中世史・東洋近世近代史・西洋社会史・人文地理学・自然地理学・考古学 ■ 日本語・日本文学プログラム: 日本語史・日本古代文学・日本中世文学・日本近代文学 ■ 英米文学プログラム: イギリス文学・アメリカ文学・映像メディア論・言語意味論・言語文法論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 言語・コミュニケーションプログラム: 第二言語習得論、日米異文化間コミュニケーション論、英語オーラルコミュニケーション、英語パブリックコミュニケーション ■ 総合文化プログラム: 英米文化史、比較文化論(日欧・日本社会・日米英・日独・日仏・日中)、言語文化論(アメリカ・イギリス・フランス・中国等) ■ グローバル社会プログラム: 越境社会論、国際関係論、世界経済論、経済発展論、文化人類学 ■ ヨーロッパ地域プログラム: ヨーロッパ社会文化論、英語読解研究、フランス語オーラルコミュニケーション、日欧異文化間コミュニケーション論、比較日独文化論、社会思想史 ■ 南北アメリカ地域プログラム: 南北アメリカ関係論、南北アメリカ特殊講義、ラテンアメリカ経済社会論、アメリカ言語文化論演習、英語読解研究、スペイン語中級 ■ アジア・オセアニア地域プログラム: アジア経済社会論、日本語教授法、東南アジア社会文化論、メディア論演習、日本文化表現論演習、中国語オーラルコミュニケーション、中国経済社会論 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 経済理論プログラム: ミクロ経済学、マクロ経済学、ゲーム理論、金融論、労働経済論、自然資源の経済学、経済史、組織の経済学 ■ 経済政策プログラム: 地方財政論、日本経済論、国際経済論、社会保障論、福祉経済論、農業経済論、産業立地論、国際水産開発論 ■ 経営・会計プログラム: 経営管理論、人事管理論、競争戦略論、簿記原理、会計学原理、流通論、経営史、マーケティング論 ■ 法律・政治プログラム: 憲法、民法、商法、行政法、政治過程論、経済法、刑法、経済刑法



人文社会科学科 Department of Humanities and Social Sciences

3つの特徴 ➡ プラットフォーム科目、コース・プログラム制、ダブルコア・マルチコア

プラットフォーム科目では、グローバル社会と地域社会がどのような課題に直面しているのか、その課題がどのようなものなのかを理解していきます。人文科学と社会科学の双方の視点を関連付けて課題解決の糸口を学びます。

コース・プログラム制は、人文科学コース、国際社会コース、社会科学コースの各コースに、専門分野・学問的視点に基づいて合計15プログラムを設けています。2年生から関心に沿ったプログラムを選択し、学びの“コア”を体系的に形成します。

ダブルコアとマルチコアとは、複数のプログラムを体系的に学べる仕組みです。入学したコースに置かれたプログラムのなかから2つのプログラムを履修することをダブルコア、入学したコースとは異なるコースからもプログラムを選択し履修することをマルチコアと呼びます。複数の学びの“コア”を形成しようとする学生の希望にも応えます。



4年間の流れ	1年生	2年生	3年生	4年生	卒業論文
人文科学コース		各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
国際社会コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
社会科学コース	共通教育科目	各プログラムにおける体系的な専門科目の履修			
少人数ゼミナール	大学基礎論 課題探求実践ゼミナール 学問基礎論	ゼミナールⅠ、Ⅱ (基礎演習)	ゼミナールⅢ、Ⅳ (専門演習)	ゼミナールⅤ、Ⅵ (卒論演習)	
プラットフォーム科目	基礎科目 (1・2年次履修)	外国語科目 (2年次～履修)	発展科目 (2～4年次履修)		

人文科学コース Humanities Course

さまざまな「知」のあり方に触れて、分析力と問題解決能力を養う

学びの特色

人文科学コースでは、哲学・思想、心理学、歴史・地理学、日本語・日本文学、英米文学の5つのプログラムで、人文科学の各領域の専門知識を体系的に学んでいきます。人間や人間がつくり出す文化・社会に対する深い関心を持ち、様々な「知」のあり方に深く、幅広く触れて、柔軟に物事を見る目を養いながら、文献資料やデータを分析する力、文書を作成する力を習得し、問題解決能力を高めていきます。

5つのプログラム

哲学・思想プログラム 歴史に現われた主要な哲学者の思想を吟味・解釈することを通して、わたしたち人間に固有な問題とは何かを探求します。したがって、定評ある古典を読み解いていくことが研究の第一歩です。さらに、そのようにして培った思索の力を、現代の複雑な問題に応用して人間の可能性を拓けていきます。	心理学プログラム 心理学とは「心」を科学的な方法を用いて明らかにし、実際の場面に適用する学問です。本プログラムでも「心」を研究するための様々な実験方法や調査方法を学びます。また、いろいろな観点から研究する心理学には多くの領域があり、基礎から各領域の知識を積み上げることで認定心理士の資格が取得できます。	歴史・地理学プログラム 歴史学および地理学を専攻するためのプログラムです。歴史学では、様々な史料に基づき、日本そして世界に視野を広げて歴史研究に取り組みます。地理学では、文献調査と現地調査をともに重視することで、真の意味での「地域と関わる学問」に取り組みます。
日本語・日本文学プログラム 古代から現代に至る、日本の様々な時代の文学作品を学ぶことができます。作者の思想や時代背景なども踏まえて、作品や作家について研究していきます。また、文法・語彙・発音など、日本語そのものを対象とする日本語学の勉強・研究もできます。	英米文学プログラム 英米を中心とする英語圏の文学作品を原文で読みながら、言語・文化、歴史、人種、民族など様々な観点から検討を加え、その過程で批評精神を養成し、最終的に自己や世界を複眼的・相対的に捉えることを目指します。英語圏の文学作品を素材に文学研究を行う意義と魅力を味わってもらいます。	



国際社会コース International Studies Course

分野×地域を軸に、グローバル社会で国境を越えて連携できる力を養う

学びの特色

本コースでは、多元化・複雑化するグローバル社会を見据え、国内外の様々な「壁」を乗り越えて羽ばたくことのできる「グローバル市民」を育てます。学びの核は、少人数ゼミナールとセットの《分野×地域の6つのプログラム》と、国内外での《フィールド・スタディ》です。様々な外国語の運用能力アップはもちろん、専門知識に裏打ちされた深い洞察力と複眼的な思考力を身につけることで、言語コミュニケーションや異文化/自文化、グローバル社会の問題を主体的に考察・判断できるようになります。

6つのプログラム

<p>言語・コミュニケーションプログラム</p> <p>言語・コミュニケーションプログラムでは、言語学およびコミュニケーション論の基本的な理論を学びます。同時に、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの具体的な言語や地域にフォーカスした形で発展的な科目を学びます。また学部開設の日本語教員養成課程の関連科目も組み込まれています。</p>	<p>総合文化プログラム</p> <p>総合文化プログラムでは、環境・大衆・交流・越境など多様な視点で文化を論じる科目を基盤としています。あわせて、ヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域を対象に社会と文化のあり方を考える発展的な科目も学んでいきます。文化と不可分なメディアに関する科目も、このプログラムの重要な一環です。</p>	<p>グローバル社会プログラム</p> <p>グローバル社会プログラムでは、現代のグローバル社会のあり方に社会科学の様々な領域からアプローチします。国際関係論や世界経済論、文化人類学に加えて、隣接コースの経済学や政治学の科目もあわせて社会科学の基盤を学んでいきます。さらにヨーロッパ・アメリカ・アジアの様々な地域の政治・経済・社会についても学びます。</p>
<p>ヨーロッパ地域プログラム</p> <p>ヨーロッパ地域プログラムでは、上の3つの分野から、ヨーロッパ地域に関わる科目を横断的に学びます。英語・ドイツ語・フランス語等の言語系科目を基盤とし、ヨーロッパ地域の言語やコミュニケーション、多様な文化、政治・経済・社会について学ぶことで、この地域のあり方を多面的に捉え、探求します。</p>	<p>南北アメリカ地域プログラム</p> <p>南北アメリカ地域プログラムは、南北アメリカ地域を分野横断的に捉えようとするものです。英語系科目に加え、スペイン語系科目も基盤として学ぶことができます。さらに、英語圏に関わる言語理論やコミュニケーション論、文化、社会、経済、そして南北アメリカ関係について学びます。</p>	<p>アジア・オセアニア地域プログラム</p> <p>アジア・オセアニア地域プログラムでは、実質的な共通語としての英語に加え、中国語の科目を基盤として学びます。そして中国・日本・東南アジア諸国を中心に、その言語・文化・社会・経済についての様々な科目を通じて、変動する地域の姿に多角的に迫ります。またこのプログラムには、日本語教員養成課程の科目も、多く組み込まれています。</p>



社会科学コース Social Sciences Course

経済学、経営学、会計学、法律・政治学を通して調査力・分析力を養う

学びの特色

グローバル化する社会においては、貧困や失業、犯罪の増加や景気の後退、労働環境の悪化、民族問題など様々な問題が存在しています。これらの問題を発見・解決するためには複眼的な思考方法が必要となります。本コースでは経済学・経営学・会計学・法学・政治学の専門知識を4つのプログラムを通じて体系的に学習します。様々な学問領域の考え方を学習することで、物事を複眼的・多角的に捉えて考える力を養い、社会における諸問題に対処するための制度をデザインできる人材の育成を目指しています。

4つのプログラム

<p>経済理論プログラム</p> <p>経済理論プログラムでは、ミクロ経済学、マクロ経済学、組織の経済学、金融論、ゲーム理論といった専門科目を学習し、そこで獲得した知識を様々な現実問題へと応用していきます。これにより物事を論理的に考えるための思考力と、複雑な社会問題に対して適切な対処策を考察・提言する能力を養います。</p>	<p>経営・会計プログラム</p> <p>経営・会計プログラムでは、継続的な企業活動を可能とする企業内の仕組みを考えると同時に、企業外からの規制や関連する集団との関係性の維持のために必要な要因について理論的・実践的に学びます。経営学や会計学の理論について学び、専門性を高めるとともに、問題を解決できる能力を養います。</p>
<p>経済政策プログラム</p> <p>経済政策プログラムでは、財政や福祉、地域の問題を通じて、現代の社会制度に関わる具体的な諸課題に取り組みます。少子高齢化問題、地域の産業、福祉、行財政のあり方などの具体的な政策課題を学ぶことで、経済的観点から諸課題の分析を行うことのできる能力を身につけます。</p>	<p>法律・政治プログラム</p> <p>法律・政治プログラムでは、人文社会科学の諸分野を広く学んだ後に憲法、民法、商法、政治学といった専門科目を多く履修していくことになります。知識の修得のみならず、現地調査や施設見学等を通して、鋭い人権感覚とともに、現実の社会問題への解決策を提言できるような能力を身につけます。</p>





Pick Up ▶ 授業

人文社会科学の「知の創造」を学ぶ

人文社会科学部において学び、研究(リサーチ)していくための出発点として、1年生の第2学期に「リサーチ・リテラシー」を学部生全員が履修します。

この科目では、人文社会科学という学問領域の全体像を理解するとともに、そこに共通するリテラシー(必要情報を引き出し活用する力)を学び、学生一人ひとりが研究の基礎力を身につけることを目指します。

人文社会科学の中には複数の専門領域が含まれており、私たちは実に多様な対象を多様な方法で取り扱っています。たとえば、歴史学における古文書などの文献資料、社会学でのアンケート調査データ、経済学での統計データなど、各専門領域には、ほかにも多様なデータ・資料があります。それらをどのように集め、整理し、どのような視点からどのように分析し、新たにデータ・資料を生み出すのか、本授業で、専門研究者の講義とグループ・ワークにより学んでいきます。



01:研究者が資料・データの集め方や読み方を指導します 02:学生同士で資料の内容を検討します
03:じっくり分析します 04:グループで意見を交換しながら学習します

卒業論文テーマ例

人文社会科学科 人文科学コース

カント哲学における純粋理性の第一アンチノミーについての考察(哲学)／動物愛護における人間の責任(倫理学)／円環的時間観と儀礼行為—時間の流れと生命の行方—(宗教学)／挫折からの心理的回復過程(心理学)／災害時の避難行動と情報感度との関連(心理学)／土佐における須恵器の在り地(考古学)／五大老としての宇喜多秀家(日本史)／脚色の『三国志』(東洋史)／植民地インドにおける宗教政策とプリティッシュネス(西洋史)／離島の観光振興(地理学)／宮沢賢治『貝の火』の中に見る権力(日本近代文学)／『古今和歌集』夏歌のほととぎす—『万葉集』巻第八・十との比較を通して—(日本古典文学)／尊敬表現「をらる」—江戸時代を中心—(日本語学)／Peter Pan におけるネバーランドの現実性(イギリス文学)／Absalom, Absalom! 論—喪と語りをめぐる—(アメリカ文学)／英語と日本語における「時間」のメタファーについて(英語学)

人文社会科学科 国際社会コース

二種のノルウェー語書き言葉からみるノルウェー／Improvement of Self-esteem through Project-based Language Teaching／フランス語における借用語の諸相—kamikazeから考察する日本語との関わり／若者言葉に見られる意味の転換についての考察—「ヤバイ」の意味変化について／プライバシーの誕生とトイレの発展／明治期における肉食—栄養面の強調と洋食の広まり／安室奈美恵の時代—ファッションを通じたその自己イメージ提示について／男女共同参画とジェンダー意識—高知県の事例を中心に／インドネシア人技能実習生の実

態調査—高知在住インドネシア人技能実習生の事例／タイ・バンコクのスラム改善政策と内発的發展—CODIのパーマン・マンコン・プログラムを中心に／スウェーデンの事例から見る成人教育とジェンダー・イクオリティの関連性／稲作からゆずへ—住民の語りから描く高知県中芸地域のローカルな歴史／子どもの貧困と「子ども食堂」の可能性—高知県内の事例を中心に／ワーキングホリデー制度と日本の若者—ワーキングホリデー大国オーストラリアを例にして

人文社会科学科 社会科学コース

深層学習の特徴と応用—手書き数字認識プログラムからのアプローチ—中山間地域における小学校児童数の動向分析—大豊町を事例として—／大豊町岩原集落と他出子の関係から集落の将来を考える／日曜日における「生活市」概念の検証—新しい利用規制に向けて—／トレーサビリティに関する研究—米と牛肉を中心として—／高齢者世帯における老後の最低所得補償／農林漁家民宿における品質保証制度の検討／雇用区分撤廃が変える非正規労働者の働き方／中小企業の実務における会計基準の適用と会計目的に及ぼす影響／衣料品市場における競争環境の変容とアパレル価格差／これからの夫婦財産制度について考える／交通事故の損害賠償における逸失利益の格差について／忘れられる権利について—EU裁判所2014年5月13日先決裁定を中心に—／少年法改正による理念の変容とその妥当性に関する考察／憲法と民法の規範構造の関係について／ジャズ演奏者は著作権法違反に問われるか—編曲権と同一性保持権の観点からの考察—

取得できる資格等

人文社会科学科 人文科学コース

中学校教諭一種免許状(国語・社会)／高等学校教諭一種免許状(国語・地理歴史)／学芸員／日本語教員養成課程単位修得証明書／認定心理士

人文社会科学科 国際社会コース

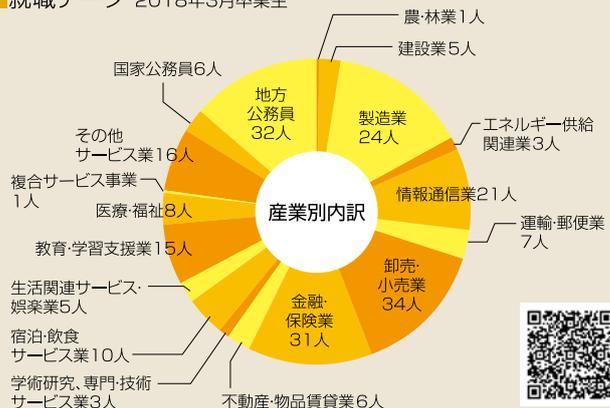
中学校教諭一種免許状(英語)／高等学校教諭一種免許状(英語)／学芸員／日本語教員養成課程単位修得証明書

人文社会科学科 社会科学コース

中学校教諭一種免許状(社会)／高等学校教諭一種免許状(公民・商業)／学芸員／日本語教員養成課程単位修得証明書

※なお、コースを越えた免許の取得をさまたげるものではありません。

就職データ 2018年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声

実際に使える知識を得るために、簿記2級、ファイナンシャルプランナーの資格試験にも挑戦しました



米本 涼亮 (徳島県立鳴門渦潮高校出身)
住友生命保険 平成30年度人文学部(現 人文社会科学部)卒業

将来は金融関係に就職したいと思い、高知大学人文学部に進学しました。

大学4年間、一番力を入れたのは学業です。就職試験の面接でもそう答え、面接官からは「変わってるね」と言われました(笑)。学費免除を受けて勉強していたので、「すべて自分のものにする!」という気持ちで臨んできました。

会計学のゼミでは、企業会計や簿記の知識を深め、財務諸表から会社の経営状態を読み取ることが得意になりました。授業では常に「なぜそう考

えるのか」を問われ、深く考える力、相手の理解が得られるように説明する力がつきました。

友人たちとは経済や社会情勢について語ることも多く、お互い切磋琢磨しながら成長しました。彼らとはふらりと旅行に行くこともあり、勉強に励みながらも大学生らしい自由な時間を満喫しました。

銀行などの金融機関を受ける中、生命保険会社に決めたのは、経済的に困っている人のサポートをしたいという気持ちが大きくなったからです。弱い人に優しい社会であってほしいという気持ちを胸に、社会に貢献できるようがんばります!



気の合う友人たちと広島県、安芸の宮島へ。青春の1コマです

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去2年間の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

人文社会科学部 人文科学コース ※旧人間文化学科

高知県庁、兵庫県庁、奈良県庁、鹿児島県庁、沖縄県庁、高知市役所、備前市役所、津山市役所、堺市役所、いの町役場、大豊町役場、高知県立高等学校教員、岡山県立高等学校教員、広島県警、大阪府警

青山商事、アニメイト、岡山県立大学、亀田製菓、香川銀行、九州旅客鉄道、高知県市町村総合事務組合、高知県信用保証協会、高知銀行、高知信用金庫、佐川急便、ザクザク、四国銀行、島根銀行、四国労働金庫、スタジオアリス、全国健康保険協会、全国労働者共済生活協同組合連合会、損保ジャパン日本興亜、中国木材、TKC、西尾レントオール、日本年金機構、日本郵便、NEXCO西日本サービスホールディングス、農林中央金庫、百五銀行、ビッグカメラ、福山市農業協同組合、マイナビ、丸住製紙

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、広島大学大学院、九州大学大学院、立教大学大学院、関西大学大学院、国立武蔵野学院附属児童自立支援専門養成所

人文社会科学部 国際社会コース ※旧国際社会コミュニケーション学科

高知県庁、岡山県庁、徳島県庁、神戸市役所、高知市役所、串間市役所、自衛隊、高知県警、岡山市消防局、高知市消防局、高知県立高等学校教員、ANAウイングス、あなぶき興産、エイチ・アイ・エス、SMBC日興証券、NTTデータ四国、NTTデータ東海、大分銀行、京都銀行、共栄社化学、紀陽銀行、技研製作所、高知銀行、国立病院機構、高知さんさんテレビ、四国銀行、JAえひめ中央、奈良県農業協同組合、JTB西日本、スズキ、全日本空輸株式会社、損害保険ジャパン日本興亜、第一生命、大和証券、徳島銀行、鳥取銀行、ナイガイ、日本郵便、富士通、富士重工業、マイナビ、三菱商事、三菱電機、明治安田生命保険、良品計画

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、鳴門教育大学大学院、琉球大学大学院、広島大学大学院、武蔵野美術大学大学院

人文社会科学部 社会科学コース ※旧社会経済学科

厚生労働省広島労働局、国土交通省四国運輸局、国立印刷所岡山工場、四国財務局、高松国税局、鉄道建設・運輸施設整備支援機構、原子力規制庁、労働基準監督署、徳島地方検察庁、高知県庁、鳥取県庁、愛媛県庁、徳島県庁、大分県庁、宮崎県庁、御坊市役所、尾道市役所、浜田市役所、阿南市役所、高知市役所、越前町役場、中土佐町役場、那賀町役場、東みよし町役場、警視庁、香川県警、高知県警、福岡県警、田辺市消防職、西条市消防職

伊予銀行、伊藤忠食品、愛媛銀行、SMBC信託銀行、大塚製菓、カリモク家具、香川銀行、近畿車両、高知新聞社、山陽新聞社、資生堂ジャパン、四国銀行、JA岡山、スターバックスコーヒージャパン、千趣会、全国農業協同組合連合会、ダイハツ九州、帝国データバンク、鳥取銀行、土佐塾、東京海上日動火災保険、東海東京フィナンシャル・ホールディングス、TOKAIホールディングス、日本郵政四国支社、西日本高速道路、野村証券、パソナキャリアカンパニー、ミズノ、ゆうちょ銀行、両備ホールディングス、ローソン

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、鳴門教育大学大学院

「人が人らしく生きる」場面に深く関わり合う

教育学部

Faculty of Education

学科・コース

学校教育教員養成課程

- 幼児教育コース
- 教育科学コース
- 国語教育コース
- 社会科教育コース
- 数学教育コース
- 理科教育コース
- 英語教育コース
- 音楽教育コース
- 美術教育コース
- 保健体育教育コース
- 技術教育コース
- 家庭科教育コース
- 科学技術教育コース
- 特別支援教育コース

アプリをダウンロードして

スマホで読み込もう

詳しくは90ページ



アドミッションポリシー

教育学部は、「幅広い教養と教育(保育)とりわけ学校教育に関する総合的な理解を持ち、教育を深く探求して学校教育をめぐる諸課題の解決に向け適切な方策を考えることができ、確かな教育実践に必要な高い技能と豊かなコミュニケーション能力を身につけ、教育(保育)という営みや教師(保育士)という仕事に深い関心を持って主体的に探求し続けることができる人材」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 教育実践に必要なとされる幅広い教養や教育(保育)に関する専門的総合的な知識を理解するために必要となる高等学校までの各教科の基礎知識・技能を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 学習した内容を理解する能力を有する。
2. 論理的に思考する能力を有する。
3. 学習した内容を状況や課題に応じて活用したり応用したりする能力を有する。
4. 学習した内容や自分の意見を他者に対して適切に表現する能力を有する。

主体性・多様性・協働性(※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)

1. 主体的に課題を探求する態度を有する。
2. 課題について多様な考え方を有する態度を有する。
3. さまざまな人々と協働して課題を解決する態度を有する。

関心・意欲

1. 教育と教師(保育と保育士)の仕事について強い関心を持っている。
2. 教職への意欲を持っている。



▶ 学校教育教員養成課程1年生第1学期の時間割

	月	火	水	木	金
1時限		初等社会科	初等図工	大学基礎論	憲法を学ぶ
2時限		教職入門A	教育心理学概論A	英会話	情報処理
3時限	英会話	教育制度論A		スポーツ科学実技	
4時限	初等体育I				初等音楽 I
5時限					課題探求実践セミナー

▶ 教育学部ホームページ

<http://akebono.ei.kochi-u.ac.jp/>

小学校教諭か高校教諭か・・・。
教育実習で自分の気持ちが
どう変わるか楽しみです!

先輩にきく Message from Student

実習での学びや気づきが大きな糧に

武政 颯人 学校教育教員養成課程2年(高知県立中村高校出身)

小学校と高校の恩師に憧れて教員を目指すようになり、どちらか決められずに小中高の教員免許が取得できる高知大学を選びました。2年生から教科によってコースが分かれ、本を読むのが好きなことと、幼い頃から習っていた書道の心得を生かせると思い、国語を選択しました。

教育学部には様々な実習があり、2年生では支援実習と介護実習を行いました。支援実習は、郡部の小規模校に1年間を通して関わり、行事や授業の支援をします。「出身県プレゼン」では、子どもたちと一緒に考え、教える体験もしました。1年間終わってみて、「絶対に先生になりたい!」とますます強く思うようになりました。

介護等実習では、特別支援学校に行つて障害のある子どもたちと過ごし、やりがいを感じました。特別支援教諭の免許も取得したいと考えています。



田野小学校での「出身県プレゼン」。お隣の馬路村について一緒に考えました

大学以外でも、子どもたちと関わるボランティアやアルバイトをしています。1年生の時には書道グループの指導ボランティアに参加し、初めて学校現場を体験しました。習う立場から教える立場になって、いろいろな気づきがありました。

一人ひとりをよく見て、理解する先生。子どもたちのお手本となる先生になりたいです。



教育学部

教員にきく Message from Professor

教育の未来を担うリーダーを育てる

玉瀬 友美 教育学部 教授、高知大学教育学部附属幼稚園 園長

高知大学教育学部の一番の特徴は、実践的な学びをふんだんに取り入れていることです。本学部に来る学生は、「子どもが好き」「子どもたちの成長に関わりたい」という高い意欲を持っています。それを、座学ばかりで低下させてはもったいない(笑)。実習と講義を行ったり来たりしながら同時並行で学ぶことで、難易度の高い知識もよく身に入ってくるし、実践もより深まります。

幼児教育や学校教育における基本——「子どもの主体性をいかに伸ばしていくか」。これは実は、大学教育でも同じです。学生自身から出てきた気づきやアイデアを活かし、それをいかに実践に結び付けていくか、またそこからいかに研究的な視点を持つかが、非常に重要。目指すのは、教育の現場でリーダーシップを発揮し、日本の教育を底上げしていける教育者の育成です。ぜひ、私たちと共に高知大学で学びましょう!



カリキュラム例

教育の原理や子どもの発達、教育の社会的・経営的側面に関する学習	教育の実践的側面に関する学習	教科指導・教科内容に関する学習	幼児教育に関する高度な学習	特別支援に関する高度な学習	教育に関する専門的な学習
教育制度論 教職入門 教育学・教育課程概論 教育心理学概論 総合的な学習の時間・特別活動の指導法 教育の方法・技術 教育相談 人権教育 道徳教育 生徒指導・進路指導 特別支援教育入門	課題探求実践セミナー(フレンドシップ事業) 教育実習[初等] 教育実習[中等] 観察実習 支援実習 応用実習 実践的に学ぶ指導法	■教材開発演習 ■初等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の初等教科指導法 ■初等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、生活、音楽、図工、家庭、体育の各初等教科 ■中等の教職に関する科目・各教科の指導法 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の中等教科指導法 ■中等の教科に関する科目 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語の各中等教科	幼児教育指導計画論 保育指導論 幼児理解 ペアレンティング 保・幼・小接続カリキュラム 高知の保育 各教科に関する科目(幼稚園) 保育士に関する科目	特別支援教育概論 知的障害心理学 知的障害生理・病理学 病弱心理・生理・病理学 知的障害教育課程論 知的障害教育の理論と実際 肢体不自由教育指導法 病弱教育指導法 重複障害の理解と教育 発達障害等の理解と教育 特別支援教育実習	専門演習I~IV 卒業論文 教職キャリア開発論 演習 教育哲学 日本教育史 西洋教育史 教育行政学 教育社会学 学校カウンセリング 認知心理学 小学校外国語活動・英語教育 高知県の教育

学校教育教員養成課程 Teacher Training Division

子どもたちに豊かな人間教育を

教育理念

本学部は、「本気の教員になろう!」を合い言葉に質の高い教員の育成を目的としています。特に、高知県の教育課題である道徳教育や特別支援教育、グローバル化に対応した英語教育など現代の教育課題に応じた教育プログラムを充実させています。また、幼児教育コースを設置し、幼稚園教諭・保育士の養成も行っています。

学びの特色

小学校および中学校、特別支援学校の教員養成を一体的に行っていることを特色としています。また、4年間一貫した実習系授業を設定していることも特色です。実際に、子ども達や教職員、地域の方々と関わりながら、教育に必要なコミュニケーション能力や実践的指導力、発達段階に応じた適切な教育的関わりを身につけることができます。本課程では、教員免許の取得が必須です。



教育現場と同じ教材・教具・雰囲気を再現し、実際の教育現場を想定した実習を行うことができる模擬授業教室も設置されています。また、遠隔講義システムが完備されており、いくつかの教室と附属小・中と連携しながら学習を行うことができます。

コース紹介

▶ 幼児教育コース

乳幼児保育および幼児教育における 高度な専門性と研究・実践力を育む

本コースでは、保育士資格と幼稚園教諭一種免許の取得を必修としています。同時に、就学後の教育を見据えた乳幼児保育・教育を考えられる幼稚園教諭・保育士を養成するために、小学校・特別支援教育に関する科目も履修を必須としています。さらに、高知の保育やペアレンティングの支援等の授業を通して、子どもを取りまく現状について学びます。

また、コースの学生を中心に企画・準備した様々な遊びを未就学児や保護者の方に体験していただく地域子育て支援広場「あそぼーや」などの地域連携活動も行っています。充実したカリキュラムのもと、多様な学びの機会を準備しています。



▶ 教育科学コース

多様で複雑な教育課題を読み解き よりよい未来を切り開く力を育む

本コースでは、小学校や中学校教員となるために必要な教員免許取得の他に、教育学や心理学に関する専門的な学習と研究を深め、理論と実践の両面を視野に入れた教員養成を目指します。本コースの学習は、教育を教室や学校でのものだけに限定せず、広い視野から捉えていることが特徴です。

グローバル化や情報化、少子高齢化など社会の急激な変化に伴い、現代の教育課題は多様で複雑になってきています。社会全体として見たとき、学校・学級を集団やシステムとして捉えたとき、子どもや教師といった個人に焦点を当てたとき、あるいは「教育」そのものをじっくり考えたときに何が見えてくるでしょうか。

様々な専門性を有する教育学・心理学の教員の指導のもとで、教育を科学することを通して、深く読み解き粘り強く思考・試行する力を養います。



▶ 国語教育／社会科教育／数学教育／理科教育／英語教育／音楽教育／美術教育／保健体育教育／技術教育／家庭科教育の各コース

教科内容の専門性と教科指導の 実践力を培い、「確かな学力」を育む

教科の各コースでは、教科内容・指導方法を深く掘り下げ、高度な能力と豊かな知識を身に



▶ 教育学部で身につける教員としての力量形成のステップ

基礎

1年生

2年生

3年生

4年生

応用
実践

教職に対する興味や関心を向上させるとともに、子ども理解と学校理解の基礎を形成する時期

子どもへの理解を進化させるとともに、教員としての基礎的な知識・力を身につける時期

引き続き教員になるための力量を向上させるとともに、実習を通して実践的な力を身につける時期

これまで学んできた理論的な力と実践的な力を統合し、教師になるための最終的な力を身につける時期

教科・教職に関する科目

教材開発演習

卒業論文
教職実践演習

フレンドシップ事業

介護等体験

支援実習

観察実習

教育実習

附属幼稚園
附属小学校
附属中学校

教育実習

附属小学校、附属中学校
附属特別支援学校

応用実習

4年間一貫した実習系授業

2020年度入学生から授業の名称および内容を変更予定

つけた優れた実践力を持った学校教員の育成を目指します。

各教科の目標、新しい教材づくり、授業設計・構築および学習指導法などについての専門的な理論と実践を学びます。併せて、その基礎となる教科の内容について専門的に学びます。

さらに、現代の子ども達の課題に応じた教科学習の指導法や教科の専門的な知識を探究し、新たな教科指導を創造していくことのできる「学び続ける教員」の養成を目指します。

▶ 科学技術教育コース

知的好奇心と探求心を高め
科学的思考・技術に結実させる力を育む

生活の中で気づく「なぜ?」に対して答えを見つけること、また、自分の手で何かを作り上げることは人間の知的好奇心を満足させる楽しい活動です。

本コースでは、理科と技術科の両教科を融合した教科内容を充実・強化することにより、理科および技術科を担当できる高い専門性と知識を有する教員を育てます。

また、学校教育にとどまらず、知識と専門性を活かして地域の中で理科および技術科教育を積極的に推進できるリーダー的な役割を担える人材を育てます。

▶ 特別支援教育コース

子どもの教育的ニーズに応じた
適切な指導・支援ができる力を育む

本コースでは、主に知的障害の子ども、肢体不自由の子ども、病弱の子どもを教育する方法を中心に、視覚障害や聴覚障害、情緒障害や発達障害の子どもの教育について学びます。また、児童生徒の学習上や生活上の困難を分析するための理論についても学びます。

現在、発達障害の子ども達への支援を始めとしたユニバーサルデザインに基づく教育が求められ、特別支援に関する知識や専門性は、通常学級を受け持つ教員にも必要とされています。本コースでの学習・研究を通して、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導および必要な支援ができる力を育成します。



新しい物事との出会いや成長のきっかけは、大学の授業に限らずいろいろなところで転がっています。特に教育学部では、教員と学生が一緒になって様々な活動やボランティアに積極的に取り組み、地域や子どもたちと育ち合っています。

子どもと一緒に楽しみながら接し方のヒントが見つかる

中屋 春花 学校教育教員養成課程3年（高知市立高知商業高校出身）

からふるカンパニーでは、週に一度、高知市の小学校2校で放課後学習支援活動を行っています。子ども一人ひとりに合わせたプリントを作ったり、お楽しみ企画を計画したり、1年間を通して子どもたちと関わることができます。教材作りでは、学習が苦手な子どもも興味を持って楽しんで取り組めるようにオリジナル教材も作っています。

子どもたちが学習に真剣に取り組んでいる姿や分からなかった問題が分かった瞬間に喜んでいる姿を見ると、私自身もとても嬉しくなります。また、勉強以外の話をして盛り上がった時などは子どもとの距離がぐっと縮まるのを実感します。一人ひとりの子どもに寄り添うことができるからふるカンパニーだからこそ、学ぶことの楽しさや難しさを子どもと学生同士で分かり合えるのだと思っています。

教職に就いてからも、この活動を通して学んだ「一人ひとりの子どもに寄り添う」ということを大切にしていきたいです。



中屋さん



放課後学習室での活動の様子

Voice! 内定者の声



野村 麻結（高知県立高知追手前高校出身）

高知県立学校教員（中学校 数学）平成30年度卒業

中学校の頃、先生に悩みを聞いてもらったり、がんばっていることを理解し、応援してもらいました。尊敬し合える友達ができただけで、先生の学級づくりのおかげだと思っています。

私も子どもたちを励まし、応援できる先生になりたいと思うようになり、地元の高知大学に来ました。小中高の教員免許を取得しましたが、部活指導をしたいと思い中学校を選びました。中学・高校と吹奏楽部でパーカッションを担当し、教育実習の際、文化祭のステージと一緒に演奏させてもらって、生徒と喜びを分かち合えたことがとてもうれ

しかったです。

教育実習は小学校にも行きました。1年のフレンドシップや2年の介護等実習や観察実習で得たことを総動員して指導案や教材研究に取り組み、ゼミの先生から模擬授業の指導を受けて臨みました。想定どおりに進まないこともあり、それをどう活かしてよい授業にしていけるかを課題に、現場で経験を積んでいきたいと思っています。

大学4年間は、「からふるカンパニー」や「こどもの森」など、学校に向いて活動するボランティアサークルに所属するほか、塾のアルバイトをして子どもに接する機会を多く持つようにしました。一人ひとりの話を聞き、密に接する中で、自分が楽しみながら関わることの大切さを学びました。

大勢の前に立つのは緊張しますが、子どもたちの「分かった!」がうれしく、励みになります



「こどもの森」サークルで小学校に出向き、環境劇をしました

卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去の主な就職先・進学先です。（企業名は五十音順です）

北海道中標津町立学校教員（義務教育学校）、宮城県立学校教員（中学校）、千葉県立学校教員（中学校）、横浜市立学校教員（小学校）、愛知県立学校教員（小学校・高等学校）、大阪市立学校教員（小学校）、大阪府立学校教員（高等学校）、堺市立学校教員（中学校）、三重県立学校教員（中学校）、和歌山県立学校教員（幼保・小学校・中学校）、兵庫県立学校教員（小学校・中学校）、神戸市立学校教員（中学校）、岡山市立学校教員（幼保・小学校・中学校）、広島県立学校教員（小学校・高等学校・特別支援学校）、山口県立学校教員（小学校）、香川県立学校教員（小学校・中学校）、香川県立学校教員（中学校・高等学校）、愛媛県立学校教員（小学校・中学校・高等学校）、徳島県立学校教員（小学校）、鳴門市立学校教員（幼稚園）、高知県立学校教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援）、高知県立学校教員（小学校・中学校・高等学校・特別支援学校）、高知大学教育学部附属中学校教員、佐賀県立学校教員（小学校）、宮崎県立学校教員（特別支援学校）

会計検査院、四国運輸局、中国四国農政局、福岡入国管理局、陸上自衛隊、高知県庁、福井県庁、京都府庁、三田市役所、高松市役所、高知市役所、大阪府警、熊本県警、東京都消防庁、姫路市消防局、三田市消防局、岡山市消防局

阿波銀行、伊予銀行、FC今治、FC大阪（アールダッシュ）、オハヨー乳業、花王カスタマーマーケティング、香川大学、高知県農業協同組合中央会、高知信用金庫、高知銀行、高知大学、サッポロビール、JAえひめ南、資生堂ジャパン、四電エンジニアリング、四国銀行、蛇の目マシン工業、ジャパネットホールディングス、ダイハツ工業、天満屋、徳島市農業協同組合、徳島県農業共済組合、西日本旅客鉄道、日本生命保険、日本放送協会、野村證券、パナソニック、福山通運、水戸ホーリーホック（サッカー競技者）、三井住友銀行、ヤンマー

▶大学院進学先

高知大学大学院、愛媛大学大学院、岡山大学大学院、島根大学大学院、鳴門教育大学大学院、広島大学大学院

壮大なスケールの世界を解き明かす

理工学部

Faculty of Science and Technology

学科・コース

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



理学部は理工学部へ

高知大学理学部は、地域・社会のニーズにあわせた「理工学部」に生まれ変わりました。この新学部は、論理的思考を重視する理学教育に、実用を重視する工学教育の融合を目指しています。

新学部には、自然科学の基礎を支える「数学物理学科」、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを扱う「情報科学科」、南四国の豊かな自然を生かす「生物科学科」、化学と生命科学の基礎に高度な技能を積み上げる「化学生命理工学科」、地球を理解して総合的な防災力を身につける「地球環境防災学科」の5学科構成となっています。

～平成28年度

理学部

理学科

数学コース

物理科学コース

化学コース

生物科学コース

地球科学コース

応用理学科

情報科学コース

応用化学コース

海洋生命・分子工学コース

災害科学コース

平成29年度～

理工学部

数学物理学科

数学コース

物理科学コース

情報科学科

生物科学科

化学生命理工学科

地球環境防災学科

▶ 数学物理学科 物理科学コースの3年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限					物理化学Ⅱ
2時限	(教養科目)	固体物理学Ⅰ			量子力学Ⅰ
3時限	相対性理論	理工学英語ゼミナールⅠ		(教養科目)	物理化学演習
4時限		中等理科指導法Ⅲ			物理科学実験Ⅱ
5時限					物理科学実験Ⅱ

▶ 理工学部ホームページ

<http://science.cc.kochi-u.ac.jp/>

先輩にきく Message from Student

数学のおもしろさを再認識した!

山脇 康司 理学部 数学コース4年 (高知県 私立土佐高校出身)

数学は得意ではなかったものの、数学的な考え方に興味があり、専門的に学びたいと思い高知大学理学部に入学しました。まわりにも理論的な考え方をする数学好きの友達が多く、高校生の時とは会話も違って大学に行くのが楽しかったです。

専攻した数学コースでは中学と高校の教員免許を取得することができ、僕は高校の数学教員を目指しています。4年生になって、もっと専門知識を深めてから教育現場に立ちたいと思い、大学院に進むことを決めました。自分で切り拓く学問を経験することで、生徒により深く、広く、数学のおもしろさを伝えられるようになりたいと思っています。

部活では、中学から始めた弓道を大学でも続け、3年では副部長を務めました。日頃は自由な雰囲気です。伸び伸びと活動し、試合では見事に結束が固まる部でした。弓道は正しい姿勢と所作が身につく、競技年齢が幅広い。そのため人生の先輩から学ぶことも多くあります。学業と両立できたことはとてもプラスになりました。



部活の仲間たちと。2017年度の四国地区大学総合体育大会では、団体優勝を飾ることができました!

また、授業や部活以外にも、いろいろな学びや活動の場があります。僕は子どもと接する機会をつくりたいと思い、中学校で授業支援や放課後の学習指導を行うボランティアをしました。生徒と一緒に数学や理科の問題を考えながら、自分にはない発想に驚いたり、つまづきの原因を発見したり、大切な気づきがたくさんあっていい経験になりました。

4年の時に生協の
教員採用試験のための
対策講座を受け、身になりました。
2年後の受験に
活かします!



教員にきく Message from the Dean

理学の知を基盤に、工学の応用を身につける

鈴木 知彦 理工学部長

高知大学理工学部は、理学をベースに進化した理工学部です。論理的思考力を重視する理学教育がまず土台にあり、そこに実用を重視する工学を融合させました。科学技術が加速度的に進化する今、基礎となる学問知識や思考力をしっかり身につけておかないと、理工系人材として活躍することはできません。そこで高知大学では、3つの学部共通科目と2段階の専門科目をくさび型に学んでいくカリキュラムを構築しました。学部共通科目では、理工系人材に欠かせない知識や思考力、英語力、倫理観を学び、また早い段階から社会に目を向けキャリアへの意識を養います。さらに専門科目では、学科ごとに基礎と専攻の2段階科目群で専門性を高め、応用力を培っていきます。受験生のみならず、用意されたレールの上を行く学びではなく、自分でもがきながら考え見出していく学びをここで体験し、我々と共に社会の期待に応えられる理工系人材を目指しませんか?



カリキュラム例

数学物理学科	情報科学科	生物科学科	化学生命理工学科	地球環境防災学科
<p>■数学コース</p> <p>微分積分学や線形代数学を基盤として、解析学、幾何学、代数学、確率・統計学を中心に学びます。</p> <p>■物理学コース</p> <p>力学分野、電磁気学分野、熱統計学分野、量子物理学分野、応用物理学分野、実験科目</p>	<p>計算機システム学、オペレーティングシステム論、プログラミング演習、情報ネットワーク論、人工知能工学、情報理論、シミュレーション工学、アルゴリズムとデータ構造、数値解析、画像処理理論、情報解析学、デジタル回路実験、データベースシステム、離散数学、ヒューマンコンピュータインタラクション、情報社会と情報倫理</p>	<p>植物分類学、動物分類学、生態学、古生物学、比較生化学、動物生理学、細胞生物学、植物形態学、脊椎動物学、系統進化学、保全生物学、古生態学、理論生物学、生物圏進化学、地球表層動態学、タンパク質科学、代謝生理学、分子生理学、原生動物学、植物生理学、細胞構造構築学、生物多様性学、化学分類学、海洋環境学、動物生態学、水界生態学、海洋植物学</p>	<p>分析化学、物理化学、有機化学、無機化学、量子化学、錯体化学、天然物化学、分子生物学、細胞機能学、有機・高分子化学実験、無機・物理化学実験、遺伝子工学実験、生命分子工学実験、高分子化学、光機能創成化学、反応工学、無機材料化学、有機材料化学、ケミカルバイオロジー、発生工学、遺伝子工学、細胞工学、進化生物工学</p>	<p>■必修</p> <p>地球環境防災実習、地震学ほか</p> <p>■選択必修</p> <p>連続体力学、気象学、地球ダイナミクス、構造力学、地盤工学、水理学、構造地質学、地震地質学、岩石学ほか</p> <p>■選択</p> <p>物理探査法、大気環境工学、耐震工学、防災計画学、鉱物学、テクトニクス、地球掘削科学、海洋地質実習ほか</p>

理工学部 Faculty of Science and Technology

教育理念

理工学部は、論理的思考を重視するこれまでの理学教育に加え、実用を意識した工学教育を融合させて、新しい理工学教育を目指します。このため、他大学の理工学部とは異なり「理学の基礎に強い」人材育成が特徴です。卒業時に取得できる学位も、理学教育を追求する「数学物理学科」と「生物科学科」は『学士(理学)』、理学はもちろん理工学教育を充実させた

「情報科学科」「化学生命理工学科」「地球環境防災学科」は『学士(理工学)』となります。さらに、「英会話」や「科学英語」などの英語教育を通して、グローバル化への対応も行います。

数学物理学科 Department of Mathematics and Physics

知的文化の創造と人類進歩を目指して

コース紹介

▶ 数学コース

数学的・論理的思考力はすべての科学に携わる人々に必然的に求められます。しかし、数学を的確に活用するには、正確な数学的知識の習得とそれに基づく訓練が必要です。数学コースでは、数学の代表的な分野である解析学、幾何学、代数学、確率・統計学を中心に数学的・論理的思考力を養成します。また、必要単位を習得することにより中学校・高等学校の数学教員免許を取得することができるので、数学をしっかりと学び、卒業後は数学の先生になりたいという方にもおすすめです。



▶ 物理科学コース

素粒子から原子核、原子、分子およびその集合体まで、物質がその階層に応じて示す基本法則、現象、性質などを実験・理論の両面から学びます。力学、電磁気学、量子力学、熱・統計力学、物理化学などの基礎知識を習得し、固体の磁性・超伝導・イオン伝導、宇宙線・電磁現象、核物質・クォーク物質などの研究に応用する力を養います。そして、社会の多種多様な分野で独創性を発揮できる人材の育成を目指します。



情報科学科 Department of Information Science

未来の情報技術を創造する

コンピュータで何ができ、どう動き、どう作るかについて、コンピュータサイエンスの基礎から応用までを学びます。情報科学の成果は多くの分野で活用され、新しい理論や学問の創出のみでなく、次世代の新技术や産業の発展に貢献しています。情報科学科では更なる高度情報化社会の確かな担い手となる人材の育成を目指します。



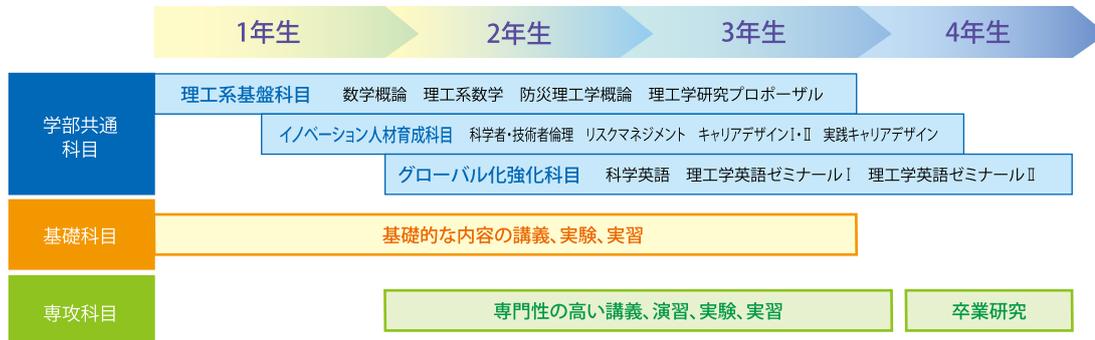
生物科学科 Department of Biological Sciences

生物・環境、その歴史を科学する

地球生態系から分子レベルの現象まで、そして、太古の地質時代から現在、未来まで、スケールや時空を越えた幅広い領域におよぶ「生物科学」を、多様で充実したカリキュラムのもとに学べます。そして、生物科学に関する総合的な知識と技能を有し、生物多様性の保全や自然環境教育などを通じて広く社会に貢献できる人材を育成します。



▶ 4年間の流れ



1年次は共通教育初年次科目に加え、「数学概論」など学部共通科目、様々な基礎科目を履修します。2年次以降は専門性の高い授業・実験を履修し、4年次に「卒業研究」を行います。

化 学 生 命 理 工 学 科 Department of Chemistry and Biotechnology

分子の視点で環境・材料・生命に挑む

身近な日用品も最先端の機能性材料も生き物も、みな化学物質でできています。化学と生命科学に関する知識と実験技術を習得し、分子や細胞の性質と機能およびその仕組みを理解できるように教育を行います。環境・材料・生命などの分野において重要な課題を解決できる能力を身につけ、持続可能で豊かな社会の実現に挑む人材を育成します。

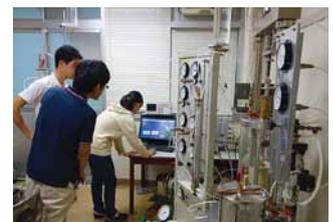


理工学部

地 球 環 境 防 災 学 科 Department of Global Environment and Disaster Prevention

地球に生きる!

地球構成要素の特性、自然現象の発生機構、自然災害の進行準備過程、災害に対する生命財産と構造物の保全や維持に関する教育・研究を行います。理学および工学の両分野から学ぶことで、環境変化や自然災害に対する問題解決能力を持ち、かつ、自然共生型社会の構築・発展に貢献できるような高度職業人・技術者・教員・公務員・地域リーダーの育成を目指します。



+α 授業科目紹介「情報理論」～快適な情報通信を支える数学的理論～

理工学部
情報科学科

情報理論を学ぶことで、世界の見え方が変わる!

鈴木 一弘 情報科学科 講師

「いぬ」も「ねこ」も2文字で短い。この当たり前の事実を情報科学は見逃しません。もし犬や猫が「じゅげむじゅげむ……」のような長い名前だったら私たちの平均会話時間は大変なことになります。同様にコンピューター通信においても、頻繁に発生する情報に長いビット列(0と1からなる列)を割り当てることは非効率です。より“多くの情報”に効率的にビット列を割り当てて平均通信時間を短縮したい。そのためには情報の多少、すなわち“情報量”をきちんと数学的に定義したうえで、何が情報伝送速度の限界をもたらすのかを明らかにする必要があります。

情報理論では情報量、通信路、ノイズなどの情報通信の諸概念が数学を用いて記述され、そこから導かれる数々の定理が情報通信工学の基礎となり、今日の快適な情報通信を支えています。このように、大学では“当たり前”を見逃さない視点を知って世界の見え方が変わる体験がたくさんできます。お楽しみに!



快適な計算機環境で情報理論を学ぶ学生たち

Pick Up ▶ 研究者

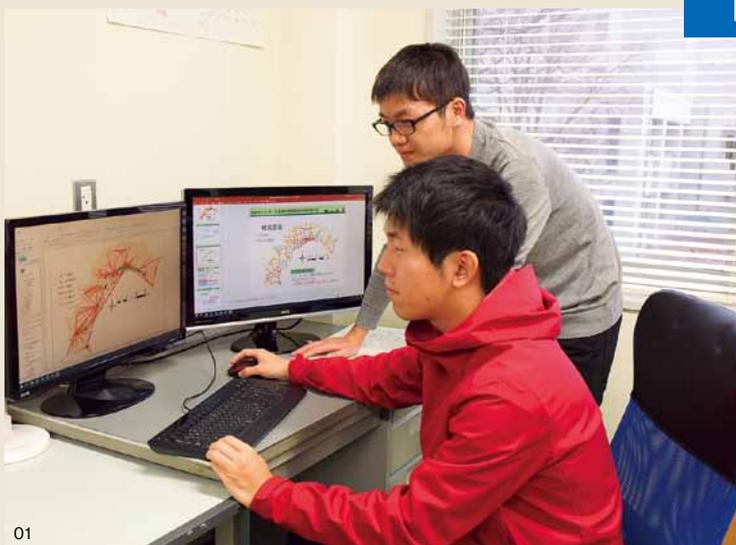
大規模災害に備えた道路復旧・土地利用計画の実践

地球環境防災学科 講師 坂本 淳



災害に強いまちをつくるためには、頑丈な橋や道路の建設などのハード対策と、ハザードマップの作成や土地の使い方を考えるなどのソフト対策を組み合わせることが重要です。坂本研究室では、ソフト面に着目した計画の提案を行っています。

大きな災害が発生した時に道路などをどのような順序で復旧していけばよいのか、これから私たちの国の人口が減少し高齢化する中で、災害リスクとどう向き合いながら都市をつくればよいのかなどを考えます。平成30年の西日本豪雨の際には学生と現地を訪れ、避難行動や復旧・復興活動の実態を調査しました。安心、安全なまちづくりに興味がある皆さんと一緒に研究ができることを楽しみにしています。



01:地理情報システムの修得に関する卒研ゼミの様子 02:西日本豪雨ボランティア成果発表の様子
03:西日本豪雨被災地でのボランティア活動 04:長期浸水域内からの要医療支援者の搬送シミュレーション(高知市)

卒業論文テーマ例

数学物理学科 数学コース

四元数の世界における1次方程式/熱伝導方程式の初期値問題に対する解の性質/地図の色分け/公理的集合論から現れる位相空間について/メビウスの帯の数理/ヒルベルト記号の積公式/変形させたバスカルの三角形の偶奇について/ラグランジュの定理/クラメル・ラオの不等式と確率分布/不偏推定量と最尤推定量/対称ランダムウォークの再帰性の判定

数学物理学科 物理科学コース

機械学習によるイジング模型の相構造の研究:教師なし学習/放射線計測のコンピュータシミュレーション/低エネルギー共鳴による12C+12C融合率増加と白色矮星中の炭素燃焼条件/倒立型1KG冷凍機の開発:ヒートパイプ方式/NASICON型マグネシウム固体電解質の水熱合成/金属絶縁体転移を示すコバルト酸化物の合成条件による含有酸素量の変化/フェルミ粒子間のボソン交換力/減衰振動子の包絡線を用いた解法

情報科学科

深層学習による気象監視カメラ画像からの竜巻抽出/プライバシー保護ビッグデータ生成法/ホログラフィックプロジェクションによる3次元投影/3D視覚暗号/ガウス整数を用いたRSA暗号/ソフトプロセッサコアを利用した画像処理の並列化/自律型ロボットの移動計画問題/研究授業のための電子化学習指導案を用いたレビュー支援システム/電子黒板を用いた遠隔授業のための教師シルエット表示システム/視覚障害者のための白杖型歩行支援デバイス

生物科学科

ザトウムシの形態的特徴と脚の自切/多核緑藻キッコウグサの細胞分裂に及ぼす光の波長効果/アカウミガメ幼体の孵化後の運動性と代謝に与える脱出の効果/四国山地におけるニホンジカによる植生への食害分布状況/ゾウリムシの収縮胞に対するATP合成阻害剤の影響/二枚貝殻の地球化学分析から探る鮮新世以降の土佐湾浅海域における季節性変動

化学生命理工学科

鉄触媒によるジアリールメタンの酸化反応に関する研究/N-アセチル-L-システインを用いた光学活性コバルト(III)錯体の合成と性質/触媒水熱反応による糖類から5-HMF,レプリン酸,乳酸の合成/温度応答性ブロックを有する側鎖液晶型両親媒性トリブロックターポリマーの合成/微生物型シデロフォアdesferrithiocin類縁体の植物に対する鉄供給能/カタユレイボヤにおけるPrickleの機能解析

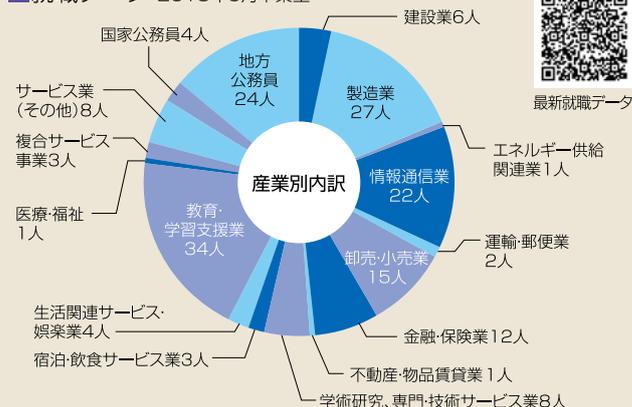
地球環境防災学科

四国地方における深部低周波微動に起因する地表変位の検出の試み/白亜系四十万帯のスロー地震断層における流体反応と摩擦溶融の有無/インド・アッサム州における降水の日変化に関する研究/アメリカ中西部の下部ジュラ系風成層から復元する超大陸パンゲア時代の気候循環/常時微動観測による海岸平野部の地盤リスクと木造住宅の固有周期の評価/高知城周辺の常時微動特性と表層地盤構造

取得できる資格等 (主なもの)

- 数学物理学科 数学コース**:中学校教諭一種免許状(数学)/高等学校教諭一種免許状(数学)
- 数学物理学科 物理科学コース**:中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科) 他
- 情報科学科**:高等学校教諭一種免許状(情報)/情報処理技術者[要試験]
- 生物科学科**:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/生物分類技能検定[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 化学生命理工学科**:学芸員/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/毒物劇物取扱責任者[資格審査有]/危険物取扱者(甲種または乙種)[要試験]/環境計量士[要試験]/有機溶剤作業主任者[要試験]/特定化学物質取扱責任者[要試験]/中級バイオ技術者[要試験]/上級バイオ技術者[要試験]
- 地球環境防災学科**:学芸員/測量士補[要試験]/技術士補[要試験]/防災士[要試験]/中学校教諭一種免許状(理科)/高等学校教諭一種免許状(理科)/気象予報士[要試験]

就職データ 2018年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声

少しの変化にも気がつく、
しっかりとコミュニケーションのとれる
先生を目指します



新居 翔馬 (徳島県立阿波高校出身)
徳島県立学校教員(中学校 理科) 平成30年度卒業

高校時代に理科の先生に影響を受けて、教員を目指すようになりました。物理を専門的に学びたかったことと、屈指の強豪校でサッカーと勉強を両立させたいと思い高知大学に来ました。

1,2年生の時は勉強が難しいと感じましたが、3年生からは数学・物理のおもしろさに引き込まれました。教育実習を経て、ますます理科好きな子を増やしたいと思うようになり、学業に力を入れました。中学校理科の教員免許取得には、物理・生物・化学・地学の4分野の単位取得が必要で、とにかく実験、実験の毎日でした。体力的にはハードでしたが、実験が好きなので楽しめました。

で楽しめました。

サッカー部は、部員が140名ほどで、実力によって4つのチームに分けられています。僕はAチームに入り、レベルの高いサッカーを経験することができました。サッカー部が主催するキッズサッカースクールで副代表を務め、レクリエーション班としてチーム運営にも関わったことで、映像編集やイベント開催などのノウハウも身につきました。自分自身、大きく成長できたと思います。高知大学だからこそできた経験と学びを、今後の教員生活にも活かしていきたいです。



社会人チームのKUFC南国でプレーし、
全国大会にも出場しました

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

数学物理学科 ※旧数学・物理科学コース

国税庁、四国行政評価支局、高知県庁、香美市役所、佐伯市役所、岐阜県立学校教員(中学校)、和歌山県立学校教員(高等学校)、兵庫県立学校教員(中学校)、神戸市立学校教員(中学校)、岡山県立学校教員(中学校)、高知県立学校教員(中学校・高等学校)、高知県私立学校教員(中学校・高等学校)
RKCプロダクション、イトーヨーカ堂、NTN、大分銀行、高知大学、高知新聞企業、高知銀行、島根銀行、四国銀行、東京海上日動火災保険、日本電気航空宇宙システム、日本銀行、日本セラムック、菱サ・ビルウェア、マツダ、三井住友海上火災保険、ヤマト運輸、楽天、レオパレス21

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、名古屋大学大学院、東京工業大学大学院、兵庫教育大学大学院、電気通信大学大学院

情報科学科 ※旧情報科学コース

岡山県警

アルファシステムズ、オムロンソフトウェア、ケイオプティコム、高知信用金庫、四国通建、システナ、シャープ、ソフトウェア・サイエンス、SOLIZE engineering、日亜化学工業、日立公共システム、両備システムズ

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、広島大学大学院

生物科学科 ※旧生物科学コース

高知県庁、愛媛県庁、岡山県瀬戸内市役所、松山市役所、警視庁、あいまほう吹田、神戸市立学校教員(中学校・高等学校)

アクサ損害保険、穴吹エンタープライズ、化学及血清療法研究所、熊本県農業協同組合、四国銀行、全農兵庫、大和ハウス工業、鳥羽水族館、東京コンピュータサービス、日本旅行、久光製薬社、フジッコ、ファーストリテイリング、三井生命、エスアールエル、ハヤシ、弓削商船高等専門学校

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、奈良女子大学大学院、神戸大学大学院

化学生命理工学科 ※旧化学・応用化学・海洋生命・分子工学コース

国税庁、高松国税局、鳥取県庁、徳島県庁、高知市役所、香美市役所、土佐清水市役所、和歌山県警、岡山県警、高知県警、土佐市民病院、大阪府立学校教員(高等学校)

あわじ島農業協同組合、アズワン、愛媛小林製薬、おかやまコープ、大分キャンノン、兼松エンジニアリング、関電エネルギーソリューション、九州乳業、高知銀行、サクザク、四国銀行、太陽石油、日医工、日亜化学工業、日華化学、日本メナード化粧品、ニプロ、西日本シティ銀行、ホシザキ四国、ユニチャーム・プロダクツ、琉球大学、レベルファイブ、ロクシタンジャボン、矢崎総業

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、北海道大学大学院、東北大学大学院、名古屋大学大学院、大阪大学大学院、九州大学大学院、岡山大学大学院、神戸大学大学院、奈良先端科学技術大学院大学、大阪市立大学大学院

地球環境防災学科 ※旧地球科学・災害科学コース

徳島県庁、郡上市役所、米子市役所、高松市役所、三豊市役所、鳴門市役所、美馬市役所、さいたま市消防局、広島県立学校教員(中学校・高等学校)

ANA新千歳空港、阿波銀行、大分キャンノン、五星、四国ガス、地質工学、東設土木コンサルタント、豊通マシナリー

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、九州大学大学院、京都教育大学大学院、鳴門教育大学

人間とその病態の中に真理を見出す

医学部

Medical School

学科・コース

医学科

看護学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは
90ページ



医学部の教育理念

医学部は、「敬天愛人」「真理の探究」という高知医科大学の建学の精神を受け継いでおり、これは「自然の摂理を敬い、常に謙虚であり、何よりも個々の人間を大切にす大学人であることを目指しつつ、人間とその病態の中に真理を見いだす」という教えであり、呼び掛けです。

超高齢社会を迎えた現在、地域社会が求める医療・福祉を担うためには、優れた知性や高い倫理観に加えて、豊かな感性や人間そのものに対する深い共感、自然を理解するための鋭い洞察力が必要です。また、多様な専門職の同僚たちと協力して円滑に医療を行うための協調性やリーダーシップ、生涯を通して医学・看護学を学び続ける強い向上心や探究心も求められます。高知大学医学部は、これらの能力を備え、全人的な医療が実践できる医療人の育成を目標としています。

アドミッションポリシー

医学部の教育理念に基づいて、医学・看護学を学ぶ基礎としての「人類の文化・社会・自然に関する知識」「論理的思考力」「コミュニケーション能力」および「協働実践力」を有する人材を求めます。

▶ 医学科3年第2学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限	臨床遺伝病学総論	病理CPC演習	内科学総論	病理学実習	臨床感染症学総論
2時限	臨床免疫学アレルギー病学				薬理学
3時限	薬理学	外科学総論	基本的診療技能	臨床腫瘍学総論	臨床検査医学
4時限	地域医療学	先端医療学コースⅢ	泌尿器科学・腎尿路系	PBLⅢ/先端医療学コースⅢ	放射線医学
5時限					



▶ 医学部ホームページ <http://www.kochi-ms.ac.jp/>

先輩にきく Message from Student

課題の最先端、ソリューションの最先端を学ぶ!

長嶋 友希 医学科5年(千葉県立佐原高校出身)

僕は筑波大学体育専門学群のバスケットボール部に所属し、卒業後同大学院で社会学を1年学んだ後、アフリカの医療系NGOで働き、その経験から医師を志しました。当初は貧困国で医師として貢献する目標を持っていましたが、入学して色々なものを見ると視野が広がり、考え方も変わります。3年生から、大学での勉強と並行して県外・海外の医療機関や医療系企業、行政機関などのインターンシップに参加し、臨床医だけではない医師の働き方を知りました。



昨年度のヘルスハッカソンのアイデアピッチ。今年度、長嶋さんは日本支部の運営を行っている



高知では、地域での訪問診療なども体験。深い学びを得た。6年次は、ブラジルとアメリカで病院実習に参加予定

働き方を知りました。

そんな中、4年生で挑戦したのが、アメリカ・シリコンバレーにあるスタンフォード大学主催のヘルスハッカソン“health++”です。これは医療とITを融合させ新たなサービスや製品をつくる開発イベントで、医学、工学、経営学など様々な専門性を持つ人が国を超えてチームを組み、競い合います。僕は日本代表10人のうちの1人として選抜され、そこに参加し、賞をいただきました。

この経験は、高知大学での学びにより大きな意義を与えてくれました。高知県は、世界の何十年も先を行く少子高齢化地域。その問題を解決するモデルを構築し、世界に発信する役割があるはず。実習では、附属病院での先端医療だけでなく、離島や中山間地域に実際に入り、人々の暮らしと医療の多様な在り方を学びます。シリコンバレーで未来の医療という“ソリューションの最先端”を見て、高知では世界が抱える“課題の最先端”の現場を学ぶ。高知大には世界の未来にアクセスするチャンスが溢れていると実感しています。

アメリカの医師国家試験の受験準備を進める傍ら、医療翻訳とカルテ作成のウェブサービスを開発しています



教員にきく Message from the Dean

地域での実践が、世界の医療につながる

菅沼 成文 医学部長

高知大学は、高知という地域に存在している国立大学法人です。そこで学ぼうとする皆さんは、いわば胸に日の丸をつけた“日本代表選手”。地域に根差して人々の生命と健康を守ることはもちろん、日本の医学研究を進め、世界の医療をリードしていくという気概を持って活躍して欲しいと思います。

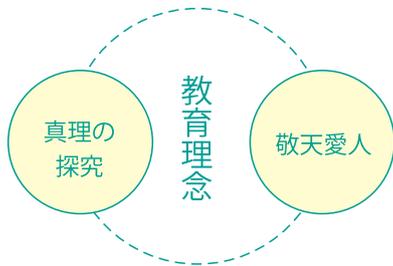
そのために高知大学医学部では、様々な特色ある教育に取り組んでいます。そのひとつが医学科の「先端医療学コース」。これは真のリサーチマインドを持った医学研究者の育成を目指すもので、毎年学生が大きな成果を上げています。また、地域医療を担う医師や看護師のリーダーを育てる「家庭医道場」では、地道な取り組みを重ね、地域との信頼の絆も深まっています。医療の世界は、ある意味ユニバーサル。地域での実践が、世界の医療の発展に直結します。高知大学医学部で、医療の世界の日本代表として一緒にがんばりましょう!

カリキュラム例

<p>医学科 6年間を通じて地域医療を学ぶカリキュラムや、PBL / 先端医療学の選択コース制を導入しています。</p>	<p>看護学科 4年間を通しての看護専門職としての基礎能力の育成、学生のニーズにあわせた専門科目(保健師、養護教諭、高校看護教諭、実践能力の高い看護師)の選択制を導入しています。</p>
<p>6年一貫の医学教育を目指して医学教育モデル・コア・カリキュラムを実施している。</p> <p>カリキュラムの構成と学年配置は、共通教育科目(1年)、専門科目I[コア準備](1~4年)、専門科目II[コア科目基礎系](2~4年)、専門科目III[コア科目臨床系](3~4年)、専門科目IV[臨床実習・統合医学](5・6年)。</p> <p>さらに専門科目II~IVの授業科目はコアカリキュラムの区分に従い、A 基本事項、B 医学・医療と社会、C 医学一般、D 人体各器官の正常構造と機能、病態、診断、治療、E 全身におよぶ生理的变化、病態、診断、治療、F 診療の基本、G 臨床実習に分類される。</p>	<p>カリキュラムは共通教育科目と専門科目で構成される。共通教育科目は、大学生として身につけるべき基礎知識・技術を学ぶ初年次科目と各学生がある程度自由に選択できる教養科目からなる。専門科目は専門共通科目として基礎看護学、臨床看護学および地域看護学から構成され、1年生から履修を開始する。さらに保健師を目指す人は保健師養成科目を3年生から履修し、看護師の実践力育成を目指す人は看護師実践力育成科目を4年生から履修する。なお、養護教諭や高校看護教諭を目指す人はそれに必要な科目を1年生から履修する。</p>

医学科 Medical Course

高度な知識・技能を身につけた「心を診る医師」を養成する



教育理念

医学科は、前身である高知医科大学建学の精神「敬天愛人」と「真理の探究」に則り、人間性豊かで、医の倫理と高度な知識・技能を身につけ、地域と時代の要請に柔軟に応じうる医師を養成します。

求める学生像

医師には、患者さんとの良好な関係を築く技能、多岐にわたる医療スタッフとの円滑なコミュニケーション能力、情報収集能力、総合判断力などが強く求められます。

▶ 1年生から6年生までの概要

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	医師国家試験
教養科目	基礎医学・実習 解剖／病理／生理／薬理／微生物／公衆衛生／生化学／免疫／他				臨床実習後OSCE (態度・技能)	
EME 初期臨床医学体験	臨床医学 内科学総論／外科学総論／老年病学／呼吸器病学／消化器病学 内分泌・代謝学／脳神経外科学／循環器病学／血液病学／他			診療参加型臨床実習 (クリニカル・クラークシップ)		
				共用試験※ CBT(知識)／OSCE(態度・技能)		

※学生の能力と適性についての一定水準を確保するために実施する全国共通の標準評価試験。この試験に合格後、臨床実習へ進む。



学びの特色

地域医療を理解するために、全学年において様々な科目が用意されています(EME初期臨床医学体験、大学基礎論、基礎社会医学、診療施設体験学習、地域医療学、保健医療制度、社会医学演習、臨床実習など)。また、2～4年生の間はTBLおよびPBLによるグループ学習が先端医療学推進センターでの研究体験のいずれかを選択します。

地域医療学の充実

6年間を通じて実際の地域医療に触れる様々なカリキュラムが用意されています。ヒューマニズム溢れる豊かな医療人を育てます。

先端医療学研究

先端医療学推進センターを設立。研究・教育・診療を有機的に連動させたリサーチマインドを持った研究者の育成に力を入れています。

PBL学習の導入

自ら学び、問題を解決する能力を身につけるためにPBL(Problem Based Learning)を導入。少人数グループで議論し能力を研ぎます。

+α 家庭医道場

医学部

看護学科

地域の中で、患者さんのことを家族や生活も含めてよく知った上でその人の健康問題に幅広く対応し、長期的に支える医療が大切です。その実際を学ぶ目的で毎年春と秋の2回、家庭医道場が開かれています。

地域医療を現場で学ぶ、熱い合宿!

道場では中山間地域や離島に出向き、地域の人々や地域医療を実践している医療者と交流します。家庭医療に必要な技術、コミュニケーション力を養うほか、「人を診る」という医療の本質にも触れます。医学科・看護学科とも1年生から参加できるので、ぜひ挑戦してください!



地域で学んだ、医療人としての心構え

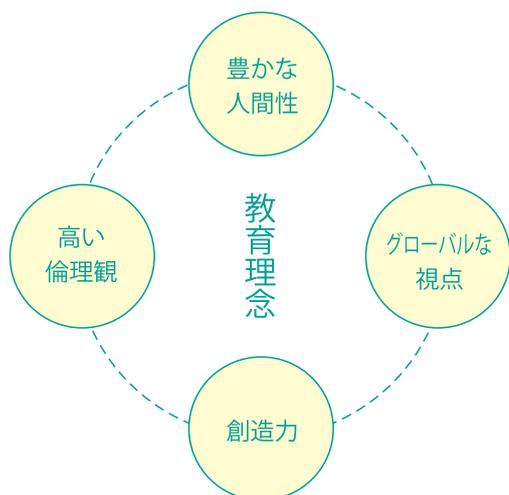
井上 愛美 医学科2年(高知県 私立土佐塾高校出身)



私が医師を志したのは、山あいの過疎地域に一人で暮らす祖母の存在があったからです。ずっと参加を希望していた家庭医道場には、今年、実行委員として初参加しました。馬路村で学んだ2日間、多くの気づきや感動がありました。一番印象的だったのは「馬路村は地域全体で子どもを育ててくれる」というある女性の言葉です。生活の中にある人のつながりの温かさ、絆の大切さを感じました。

医師は医療者である前に「人」であり、患者さんも患者である前に「人」です。私も将来医師になった時には患者さんと、人と人としての関わり方ができるよう、まずは地域の一員にならなければいけないと気づくことができました。自分の目指す医師像に近づけるよう、努力していきたいと思っています。

時代のニーズに応えられる革新力を備えた看護専門職



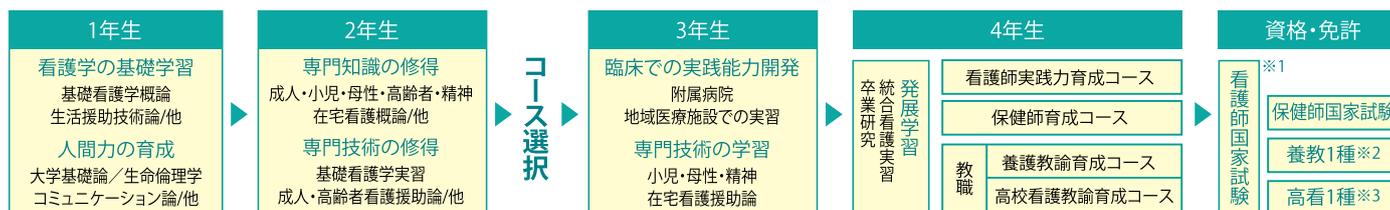
教育理念

看護学科は豊かな人間性と高い倫理観に裏付けられた感性を持ち、看護をグローバルな視点からとらえ、人々の健康生活上のために援助し、看護学の発展に貢献しうる創造力を有する人材を育成します。

求める学生像

看護学科では、人材養成の基盤となる以下の能力・態度を有する人材を求めます。

1. 人に関心があり、人々の健康と生活を支える看護職を目指す意欲がある
2. 相手の立場に敬意を払い、コミュニケーションが取れる
3. 他の人と協働しながら、主体的に取り組むことができる
4. 専門職として自ら学び、挑戦することができる
5. 物事を論理的に考え、自分の考えを説明できる
6. 医療・看護の理解のために必要な理数系・人文系科目の基礎学力を有する



※1: 看護師国家試験受験資格は、全員が取得できます。

※2・3: 4年生では、保健師養成科目、看護師実践能力育成科目、教職科目のどれかを選択。ただし、保健師養成科目・教職科目を履修するためには、3年生までに関連科目の修得が必要。

学びの特色

1年生から、附属病院の外来や病棟で患者さんに接する体験や看護の基礎技術を学ぶなど専門性のある授業を取り入れています。グループで協力して課題に取り組む授業、社会で必要な教養を身につける授業など、人間力を高める授業も充実しています。実習では、附属病院や地域の施設などで、先端医療から地域で求められる確かな看護実践力まで身につけることができます。卒業研究では、探究心や自分で学ぶ姿勢を養います。知識、技術は日々進歩します。自ら未知の課題に取り組むことにより、卒業後も継続して学び続ける力がつきます。4年生では自分の将来に向けて、より専門性を高めるコースが準備されています。

施設との連携体制	専門育成コース
高知大学は県内広域の多数の施設と連携体制にあります。地域看護学実習では、その地域に宿泊することで、技術と人間的な成長も望めます。	保健師育成コース、教諭(高校看護または養護)育成コース、看護師実践力育成コースの中から、目的に応じたコースを選択できます。

+α 台湾留学

医学部
看護学科

看護学科では、国立台湾大学看護学科と国際交流協定を結び、相互に交換留学生を派遣しています。本学からの留学生は、台湾の学生と共に講義や実習を受けたり、施設見学や学生間交流を持つことにより台湾の看護学教育や文化に触れることができます。

海外留学で国際看護を考える

看護基礎教育カリキュラムの中でも「国際看護」がクローズアップされ、これからの看護職にとって国際的視点は欠かせないものとなりました。「国際看護」はそれぞれの文化や考え方、生活習慣の違いを理解することから始まります。この短期留学での体験は、国際的視点から看護を考える第一歩に役立つはず。



海外の看護を知り、視野が広がった

坪平 沙耶 看護学科4年(徳島県立城ノ内高校出身)



私は、自分の英語力を試してみたい、海外との医療の違いを知りたいという思いから台湾短期留学を決意しました。現地では、台湾大学の学生と同じ授業に出て看護技術の違いを知ったり、実際に病院を見学して院内の環境や患者さんの様子、患者さんとの関わりを学んだりと多くの学びを得ることができました。また、地域に出て公衆衛生や地域医療を知れたこともよい経験になりました。

患者さんの希望に沿える看護を提供するという考え方は日本も同じですが、台湾では患者さんそれぞれの宗教に応じて礼拝ができる部屋が設けられていたり、最後を迎える時は救急車で自宅に帰れるようにしたりと、日本と違う点もありました。帰国後は、自分の考え方も少し変わったように感じています。深い学びや新しい発見がたくさん見つかる台湾留学に、皆さんもぜひ挑戦してみてください。



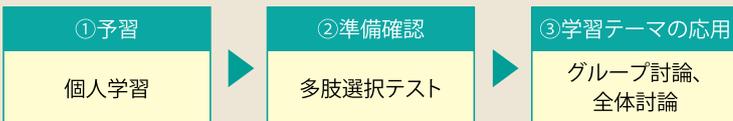
Pick Up ▶ 授業

チーム基盤型学習を通じて、 能動的学びを身につける

医学科 統合医学コース(2~4年生の選択コース)

医師として最善の治療を行うためには、常に最新の医学知識や情報を自ら学び、集めることが必要です。そこで、本コースではチーム基盤型学習(TBL:Team-Based Learning)を取り入れ、様々なテーマに対して個人の責任性を持ちながらチームで協働して課題解決を目指す中で、必要な知識、態度、技能を習得していきます。TBLは米国発祥の学習法で、本学部が日本で初めて導入しました。知識を応用する能動的な学習を重視しています。

▶ TBLの特徴



3つのフェーズを繰り返しながら、知識だけでなく協調性やリーダーシップなどチーム医療に欠かせない態度やスキルを身につけていく。

Pick Up ▶ 授業

附属病院で半年間、 様々な領域の看護を体験する

看護学科 臨地実習(3年生)

隣接する附属病院で約6ヶ月間、「成人」「高齢者」「精神」「小児」「母性」の各領域をまわり、授業で得た知識を実体験しながら学びにつなげる実習を行います。卒業生の先輩看護師がたくさんいる環境の中、学生も医療チームの一員として温かく迎えられ、スタッフの方と一緒に、患者さんやご家族のことを考えながら看護を学んでいくことができます。病棟での実習を通して得た気づきや学びは、4年生でさらに、卒業研究やコース別実習で深めていきます。



01 小児科病棟での臨地実習。教員や病棟看護師の指導のもと、チームの一員として現場に加わり、看護の実際を学ぶ



臨地実習に入る前には、段階的に様々な演習を行う。 02:2年生の「医療安全論I」 03:04:1年生の「生活援助技術論II」

■ 卒業論文テーマ例

看護学科

女子学生の月経に対するセルフモニタリングと月経観の関連について/長期療養している切迫早産妊婦の清潔ケアに対する思い/大学生の子宮頸がん検診の知識・意識及び受診行動に関する研究 男女間、学部別、パートナーの有無による比較/熟練助産師が立ち合い出産の夫への援助行為の判断において着目する情報/小児ボランティアに参加する看護学生の体験/食物アレルギー児の対応に関する小学校学級担任が受ける組織的支援と不安との関連/養護教諭と学級担任の連携の在り方/看護大学生の進路選択における就職先決定のプロセスの把握/過

疎高齢化地域での生活支援サービスに対する地域包括支援センター専門職員の認識/看護学生がとらえた糖尿病患者の行動変容を促すためのかわり/医学部生のコンタクトレンズ管理の実態/看護師が実際に行うストレス対処行動とストレスレベルの関連について/自己肯定感が看護学生の臨地実習におけるストレスに与える影響について/看護学生の陰部洗浄実施前後におけるストレスが唾液αアミラーゼ活性に及ぼす影響について/ユズ果汁の含嗽による抗菌作用の検証/ゆずの香りによるストレス緩和の評価としての唾液αアミラーゼ活性の有有用性

■ 取得できる資格等

医学科

医師国家試験受験資格

看護学科

看護師国家試験受験資格

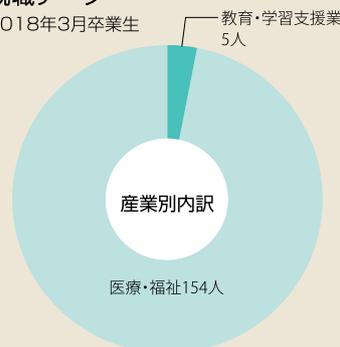
また、所定科目単位の修得により保健師国家試験受験資格(人数制限あり)、または高等学校教諭一種免許状(看護)、または養護教諭一種免許状のいずれか1つの資格を得ることができます。

なお、保健師免許を取得した後は、本人の申請により第一種衛生管理者免許状が取得できます。また、教職課程の定められた科目を修得している場合は、卒業後に本人の申請により養護教諭二種免許状が取得できます。

(卒業後、高知大学大学院「実践助産学課程」に進学・修了すると、助産師国家試験受験資格を得ることができます)

■ 就職データ

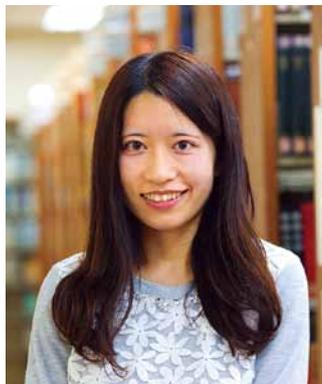
2018年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声

勉強も大事ですが、
人間形成も大事。
何かサークル活動をするこ
とをおすすめします!



岡部 芙美子 (兵庫県立川西緑台高校出身)

高知大学医学部附属病院 看護職 内定 平成30年度卒業

中学生の頃から生物や体の仕組みに興味があり、医療職に就きたいと思っていました。高校で進路を考える時に、患者さんに一番近い距離で寄り添える看護師になろうと決めました。看護実習で実際に患者さんに接する中で、「本当の気持ちを言えているのか?」と思う場面もあり、患者さんの不安や悩みを引き出し、寄り添い支える看護師になりたいという思いが一層強くなりました。

看護学科は学ぶことが多く、いざという時にはその知識を適切に役立ててく

てはなりません。これから現場で経験を積み、知識を確実に自分のものにして

いこうと思っています。卒業後は地元に戻る選択もありましたが、看護のやりがいに触れた実習現場であり、先進医療に取り組み大学附属病院でスキルを磨き、経験を積みたいと考えました。

学業に励むかたわら、3年間女子バレーボール部のマネージャーを務めました。医師を目指す人、看護師を目指す人、学年もまちまちで、一緒に遠征に行き、学園祭ではおでんを売って本当に楽しい時間でした。

大学4年間はあっという間です。晴れて看護師になるためには、国家試験の合格が必須。プレッシャーの後には、「勉強した〜」という、充実感と達成感があります!



女子バレーボール部では、元気で愉快的仲間たちに元気をもらいました

卒業後の進路 学部卒者の過去2年間の主な就職先・進学先です。

医学科 卒業して医師国家試験に合格したのち2年以上の臨床研修修了が義務づけられています。大学病院等の臨床研修プログラムに従い外部の病院も含め各診療科をまわって研修を行います(初期研修)。初期研修修了後はより専門性の高い修練を行いながら医師としての能力を身につけていきます。初期研修から給料が支給されます。

▶卒業者が研修を行っている高知県内の基幹型臨床研修病院

高知大学医学部附属病院、国立病院機構高知病院、高知赤十字病院、高知医療センター、高知県立幡多けんみん病院、高知県立あき総合病院、近森病院、細木病院

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外の大学病院(大学名のみ)

国際医療福祉大学、千葉大学、東京医科歯科大学、昭和大学、日本医科大学、信州大学、名古屋市立大学、滋賀医科大学、大阪大学、近畿大学、神戸大学、兵庫医科大学、和歌山県立医科大学、川崎医科大学、広島大学、山口大学、愛媛大学、徳島大学、九州大学、福岡大学、産業医科大学、熊本大学、長崎大学

▶卒業者が初期研修を行っている高知県外のその他の基幹型臨床研修病院(抜粋)

北海道病院、地域医療機能推進機構札幌北辰病院、総合病院土浦協同病院、足利赤十字病院、太田記念病院、彩の国東大宮メディカルセンター、埼玉石心会病院、千葉医療センター、千葉県済生会 習志野病院、千葉西総合病院、国保旭中央病院、新松戸中央総合病院、松戸市立総合医療センター、多摩北部医療センター、大森赤十字病院、東大和病院、東京都保健医療公社 多摩南部地域病院、東京警察病院、大船中央病院、藤沢市民病院、石川県立中央病院、諏訪赤十字病院、長野市民病院、東海中央病院、中東総合医療センター(静岡)、聖隷浜松病院、名古屋医療センター、名古屋第二赤十字病院、協立総合病院、岡崎市民病院、西尾市民病院、伊勢赤十字病院、京都第二赤十字病院、京都市立病院、京都桂病院、大阪府立急性期総合医療センター、大阪労災病院、阪南中央病院、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立淡路医療センター、国立病院機構 神戸医療センター、姫路赤十字病院、兵庫県立淡路医療センター、兵庫県立柏原病院、明石医療センター、北播磨総合医療センター(兵庫)、神戸済会病院、ツカザキ病院、奈良県立西和医療センター、国立病院機構岡山医療センター、国立病院機構福山医療センター、彩の国東大宮メディカルセンター、総合病院岡山赤十字病院、岡山済生会総合病院、岡山市立市民病院、鳥取県立中央病院、東広島医療センター、広島市立安佐市民病院、興生総合病院、徳山中央病院、徳島赤十字病院、高松赤十字病院、公立八乙女総合病院、国立病院機構小倉医療センター、福岡和白病院、宮崎県立日南病院、鹿児島市立病院、沖縄県立中部病院、那覇市立病院

看護学科

■看護師

▶高知県内の病院

高知大学医学部附属病院、高知赤十字病院、高知医療センター、細木病院、島津病院

▶高知県外の大学病院(大学名のみ)

自治医科大学、筑波大学、東京大学、東京医科歯科大学、東京女子医科大学、日本大学、信州大学、名古屋市立大学、京都大学、大阪大学、大阪医科大学、関西医科大学、神戸大学、兵庫医科大学、岡山大学、川崎医科大学、香川大学、愛媛大学、宮崎大学

▶高知県外のその他の病院

千葉県救急医療センター、千葉県こども病院、東日本成人矯正医療センター、京都市立病院、大阪市立総合医療センター、住友病院(大阪)、淀川キリスト教病院、兵庫県立加古川医療センター、兵庫県立こども病院、神戸市民病院機構 神戸市立医療センター、神戸市立医療センター西市民病院(独立行政法人)、兵庫県立尼崎総合医療センター、西神戸医療センター、加古川中央市民病院(独立行政法人)、岡山市立市民病院、福山市市民病院、三宅病院、広島市民病院、徳島赤十字病院、愛媛県立病院、市立宇和島病院、浦添総合病院(沖縄)

■保健師 高知県、安芸市、四万十町、多度津町(香川)、松江市、五島市役所(長崎)

■養護教諭(非常勤、臨時講師を含む) 高知県、徳島県、大阪府、島根県、岡山県、広島県、宮崎県、北九州市

■大学院等進学先 高知大学大学院看護学専攻、高知県立大学看護学専攻、香川県立保健医療大学助産専攻科

人と自然が共存していく道を探求する

農林海洋科学部

Faculty of Agriculture and Marine Science

学科・コース

農林資源環境科学科

暖地農学領域

自然環境学領域

森林科学領域

生産環境管理学領域

農芸化学科

海洋資源科学科

海洋生物生産学コース

海底資源環境学コース

海洋生命科学コース

アプリをダウンロードして
スマホで
読み込もう

詳しくは
90ページ



農林海洋科学部



アドミッションポリシー

農林海洋科学部は、「幅広い教養及び農学・海洋科学分野に関連する自然科学や社会科学についての専門能力を統合的に身につけ、汎用的能力を持って、人と環境が調和のとれた共生関係を保ちながら持続可能な社会の構築を志向する人材」を養成します。



▶ 海洋資源科学科海底資源環境学コースの2年生第1学期の時間割例

	月	火	水	木	金
1時限	海底地形処理	地球科学概論	課題探求実践セミナー		水産学概論
2時限	水質学		分析化学概論		
3時限	海洋情報化学		学生実験		
4時限	海底資源岩石鉱物学	海洋基礎生態学	地学基礎実験 海底資源学演習(地学)		
5時限		物理学概論		化学概論	

▶ 農林海洋科学部ホームページ

<http://www.kochi-u.ac.jp/agrimar/>

就職は、農林水産省所管の
家畜改良センターに内定。
高知大学での経験は、
面接で話し切れないほどでした！

先輩にきく Message from Student

いろんなことに挑戦できる環境

本郷 新 大学院総合人間自然科学研究科 農学専攻 2年(兵庫県立姫路東高校出身)

もともと僕は動物が大好き！高知大学で飼育・研究されている土佐あかうし(褐毛和種高知系)は絶滅が危惧される希少種で、その保存や畜産業の活性化に携わりたいと思い、家畜飼養管理学研究室(通称、あかうし研)に入りました。毎朝、隣接する農場で技術職員さんと一緒に牛のお世話をすることから一日が始まります。可愛い牛たちに癒やされながら、研究に没頭する毎日です。

大学院では、遺伝資源保存のためのクローン技術の開発に取り組んでいます。朝の作業とは打って変わり非常に細かい技術が必要とされ、0.1mmほどの牛卵子の核を取り除き、そこにインスタントラーメンと同じ「フリーズドライ」と



入学してすぐのフィールドサイエンス実習があかうしと触れ合う最初の機会！

いう方法で調整した細胞を入れる…といった実験を行っています。昨年秋には、イタリアのテラモ大学獣医学部に若手研究員として留学も経験。その際、高知大学で学んだ技術が認められたことは、とても嬉しかったですね。

農林海洋科学部は、指導くださる先生や学部のカリキュラムも含め、学生がいろんなことに挑戦しやすい環境です。研究室のすぐ隣には広大な農場や畜舎があり、地域の生産者の方とのつながりも強いので、生きた現場を体験できます。一方で、学会やシンポジウムに積極的に参加することで、最先端の学びを得ることもできます。皆さんもぜひ高知大学で、自分を信じて世界を広げ、夢を掴みとってください！



教員にきく Message from the Dean

陸から海までの地球資源の活用法を探る

尾形 凡生 農林海洋科学部長

高校生のみなさん！平成28年に生まれた私たちの農林海洋科学部は、それまでの農学をパワーアップさせ、かつ海の学びの幅を広げた、全国どころか世界でも例を見ない新しい学部です。

農学は、地球に降り注ぐ太陽エネルギーを生物のちからで人間が利用できる資源に変え、その資源の効率的獲得・利用方法をあみだすことで人のいのちと暮らしを支えてきた科学分野です。これまで海の資源というと魚だけがイメージされがちでしたが、実は海は、海底の鉱物や海中の微生物など有用な資源の宝庫であり、今その活用・管理ができる人材の確保が急がれています。また陸の資源についても、人をとりまく自然環境との共存や、化学を切り口にした農芸化学の生命科学全般への展開など、新時代の産業科学への期待が高まっています。私たちの学部ではこうした社会ニーズに対応した学びを、みなさんに提供していきます。

農林海洋科学を学ぶ格好のフィールドである山・川・海に近いのが高知大学の何よりの取り柄です。学部全領域を体験するフィールドサイエンス実習や、国際協働特別プログラム、農山漁村地域連携プログラムなど、体験型の学びも充実！ぜひ一緒に新しい世界に挑みませんか？



農林海洋科学部

カリキュラム例 1年次は、一般的な教養科目のほか、農林海洋科学部の全教員が総動員で担当する山・川・農地・海での現場体験型授業「フィールドサイエンス実習」が必須となります。

農林資源環境科学科	農芸化学科	海洋資源科学科
<p>■学科共通</p> <p>農林資源環境科学基礎実習、水資源学、植物生育学、物理学概論、生態学、統計学、現代応用生物学</p> <p>■暖地農学領域</p> <p>農場実習、暖地園芸学概論、動物生産学概論、農業経営学、食用作物学、植物育種学、施設生産学概論、花卉園芸学、果樹園芸学、家畜管理学、蔬菜園芸学、農山村資源利用論、熱帯園芸学、環境保全農業論、植物栄養学、食品流通論</p> <p>■自然環境学領域</p> <p>自然環境学実習、地域生態学、昆虫学、生物環境システム学、魚類生態学、熱帯環境論、動物生態学、施設生産システム学、生物多様性管理学、農業気象学、植物機能科学、農業化学、植物微生物相互作用論</p> <p>■森林科学領域</p> <p>森林生産技術実習、森林マネジメント論、森林資源環境利用学、地理情報システム学、木質成分化学、森林生態学、木材利用学実習、森林経済学、森林土木学、樹木学実習、樹病学、木質材料工学、山地測量設計実習、森林保護学、林産製造学</p> <p>■生産環境管理学領域</p> <p>土壌物理学、環境デザイン、水理学、環境水質学、測量学、地域協働インターンシップ、制水施設工学、土質力学、構造力学、地域環境管理学、食料品質評価学、生産環境管理学、農地環境保全学、食料生産プロセス学</p>	<p>農芸化学概論、植物資源科学、無機化学、微生物学、食品生化学、基礎分析化学、土壌学、基礎有機化学、生物化学、食品化学、植物感染病学、動物生産・繁殖学、土壌環境科学、植物栄養学、有機化学、植物細菌学、動物発生工学、食品分析学、代謝生化学、応用微生物学、微生物生理学、植物生産環境学、農産物利用学、食品保存学、生理活性物質化学、植物微生物相互作用論、栄養化学、微生物遺伝子工学、食品衛生学、土壌微生物生態学、生体高分子化学、生物環境分析学、植物医学概論、フードビジネス概論</p>	<p>■学科共通</p> <p>海洋科学概論、水質学、海洋観光論、海洋基礎生態学、台形形成学、科学英語コミュニケーション</p> <p>■海洋生物生産学コース</p> <p>水産生物学、沿岸環境学、魚類生理学、魚病学、水産物利用学、環境微生物工学、水産化学、水産増殖学、水産遺伝育種学、魚類防疫学、水産環境学、魚類栄養飼料学、水産物品質管理学、水産資源学、水産食品原料学、水産法規学</p> <p>■海底資源環境学コース</p> <p>海底地形処理、海底資源岩石鉱物学、海洋情報化学、海底資源学、資源探査学特論、流体力学、水圏地球化学、地球年代学、資源分析化学、現場化学計測、海洋環境アセスメント学、海底資源物性学、地球物質循環学、海底資源地質学</p> <p>■海洋生命科学コース</p> <p>海洋生物生理・生態学、海洋深層水科学、社会栄養学、分子細胞生物学、天然物有機化学、天然物医薬品化学、海洋進化生態学、ハイオインフォームテックス、海洋天然物化学、活性発現機構、生物有機化学、機器分析学、医薬関連法規</p>

農林海洋科学部 Faculty of Agriculture and Marine Science

教育理念

山から海までの広範なフィールドを有する高知県のメリットを最大限活かして、「人と環境が適切な共生関係を保ちながら持続的発展する未来社会」の構築に貢献できる意欲ある人材を育成します。農学・海洋科学分野の専門的知識や実践的技術、及び豊かな教養を身につけて、ものごとを広い視野から科学的に捉えることができ、課題発見能力、自律的な問題解決能力、さらには世界に向けての発信能力を備えた人材を育てます。

学びの特色

- 必修の「フィールドサイエンス実習」をはじめとする多くの実験・実習科目を履修でき、経験と実践力を身につけることができます。
- 「基盤科目」、「応用科目」、「発展科目」の区分に分けられた専門科目を、体系的に効率よく学ぶことができます。

求める人材像

- 農学・海洋科学の専門知識を修得するために必要となる高校履修教科の基礎的事項を身につけている人。
- ものごとを客観的に捉えることができ、科学的・論理的に判断することのできる人。
- 農学・海洋科学に強い関心を持ち、意欲的、かつ真摯に学ぶことのできる人。
- 自分の考えを、言葉や図表を適切に用いて正確に伝えることの基礎が身についている人。

農林資源環境科学科 Department of Agriculture, Forestry, Bioresource and Environmental Sciences

農的ものづくりと環境との持続的調和を担う

農林資源環境科学科では「農業、林業とそれをとりまく生産環境」や「人と自然環境の共生」、さらにこれらの勉学・研究に必要な「バイオテクノロジー」に興味を持つ学生を広く受け入れ、農学関連分野に関わる諸課題を自律的に解決できる人材を育成します。1年次～2年次前半で農学の基礎を幅広く学び、2年次後半から「暖地農学」「自然環境学」「森林科学」「生産環境管理学」の4領域から主専攻・副専攻を各1領域ずつ選択し、3年次以降は産業や資格に対応した専門性を養います。また、生産環境管理学領域ではJABEE認定のカリキュラムコースが準備され、卒業と同時に技術士補相当の修習技術者の資格が取得できます。



暖地農学領域	自然環境学領域	森林科学領域	生産環境管理学領域
<p>太陽の恵み豊かな高知で農学を学ぶ</p> <p>高知県には、急峻で狭隘な地形の不利を克服するために、温暖多湿な気候を活かして、工夫ある農業を営んできた長い歴史があります。農作物の生産技術の開発、高度な環境調節・遺伝的改良など、世界に発信できる農学を高知で学びませんか？</p>	<p>生命と自然の未来地図を描く。</p> <p>様々な問題が複雑に絡み合う地球。これからは、深い専門知識と生態系を地球規模からミクロレベルまで様々なスケールで総合的に理解する人材が求められます。自然環境と人間の共生について考え、豊かな生態系を次世代に引き継ぐことのできる人材の育成を目指します。</p>	<p>都市を支え、海を恵む森林の可能性に迫る。</p> <p>森林は、地球の二酸化炭素の循環を担い、海に養分を供給しています。森林の公益的機能と生態系を理解し、健全な森林の育成・管理、資源の高度利用を目指し、亜熱帯から亜寒帯まで多様な森林植生に恵まれた高知で、現場主義に基づいた実践的な教育研究を行います。</p>	<p>産業・人・自然にとつての「真の豊かさ」を評価する。</p> <p>稲作は、一次産業の場でありながら、流れ込んだ濁水を浄化・排水する自然浄化機能を持っています。農業の生産基盤や人々の生活空間を整備するとともに、それに伴う環境の改変を考えることはとても大切です。森～農地～まち～沿岸域の環境の保全・修復の理念と技術を学びましょう。</p>

+α

自然を体感しながら成長！

農林海洋科学部

「現場主義」を掲げる農林海洋科学部において、最もその精神を体現しているのが「フィールドサイエンス実習」です。この授業では、1年生全員が1年をかけて農場、森林、河川、海洋・海底、企業などの現場を回り、様々な経験を重ねていきます。生態系のつながりや産業と自然との共生を学ぶのはもちろん、実際に現場に触れてみることで自分の進みたい分野を見つける学生も多く、4年間の学びの大切な土台となっています。



講義棟に隣接する農場は、東京ドーム4倍もの広さ！果樹園やハウスも体験します。



豊かな自然に感性も磨かれる！海には魚、バイオ、海底資源など幅広いテーマがあります。

化学的視点から生物生産を幅広く探求する

農芸化学科では、動物・植物・微生物の生命現象、生物が生産する物質、安全な食料生産と健康増進、環境保全と修復、生物生態系等を多面的に理解するために必要となる知識と技術を修得し、それらを活かした社会貢献の新たな道筋を創造する力や構想力を育み、化学的視点から生物生産を幅広く探究でき、その成果を地域社会への貢献に結びつけられる技術者・研究者を育成します。



生物環境化学科目群

汚染土壌の浄化など
土壌環境の保全に
地球規模で取り組む!

「植物栄養学」、「土壌環境科学」、「植物生育環境学」など、生物の生命活動を支える土壌環境や土壌-植物系における物質動態に関する基礎知識と、植物の養分吸収機構、土壌環境の保全と修復、生物生態系などについて多面的に学びます。

動植物健康化学科目群

植物・動物・ヒトの健康を守る
安全・安心の実現!

「植物細菌学」、「動物発生工学」、「生理活性物質化学」、「食品分析学」など、植物・動物・ヒトの健康、生物が生産する有用物質、安全な食料生産と健康増進と、食料生産への応用について幅広く学びます。

微生物化学科目群

微生物は多彩な産業に
大きな可能性を与える
永遠の資源!

「応用微生物学」、「代謝生化学」及び「微生物遺伝子工学」など、有用微生物の育種と産業利用、生命機能分子の開発と応用、微生物機能の食料生産への利用について学びます。

海洋資源科学科

Department of Marine Resource Science

水産・海洋資源の有効利用で新時代を拓く

海洋生物生産学コース・海底資源環境学コース・海洋生命科学コースの3コース制。「海」を知る、「海」を使う、「海」を護ることに興味のある学生を広く受け入れ、分野横断的な科目として海洋資源管理に不可欠な知識や手法を身につけさせるとともに、海に面した高知県の地理的優位性を最大限に活かし、海洋生物生産、海底資源環境、または海洋生命科学に関する専門的な知識を併せもった実践力のある海洋専門人材の育成を目指します。



海洋生物生産学コース

海の恵み、生命の息吹。
ここが黒潮の最前線。

黒潮に洗われる土佐の海。荒々しくも澄みきった海流と山野の自然が出会うこの豊かな水域で、健康で安全な魚介類をつくり育てます。食料問題を解決する上で海洋生物は大きな可能性を持つ資源。そこで、生態、環境、病理、栄養など様々な角度から海の保全と生物資源の持続的生産・利用を研究します。

海底資源環境学コース

太平洋に眠る次世代の資源を、
太平洋を望むココ(高知)で学ぶ。

次世代の産業を担う海底資源——。その開発に向けては、資源の成因論や、回収・利用技術の開発、環境モニタリングなど、要素技術の研究開発が今まさに進行中。
私たちは「過去を知り(資源学)、今を学び(化学利用)、未来を予測する(環境モニタリング)」、そんな人材を育てます。

海洋生命科学コース

海からの贈り物。
海の生き物は薬の宝庫。

海洋と医薬・医療は一見かけ離れたものと思われませんが、海洋生物・微生物から医薬品が開発され治療に用いられているのです。干潟のちっぽけな生き物が、実は宝の山だったりするかも!当コースでは、海洋生物・化学・医薬に関する専門知識と技術の習得及び専門英語教育を通じて、国際社会でも活躍できる海洋生命科学人材の育成を目指します。



亜熱帯から亜寒帯までの植生が分布している高知の山。演習林も広大です。



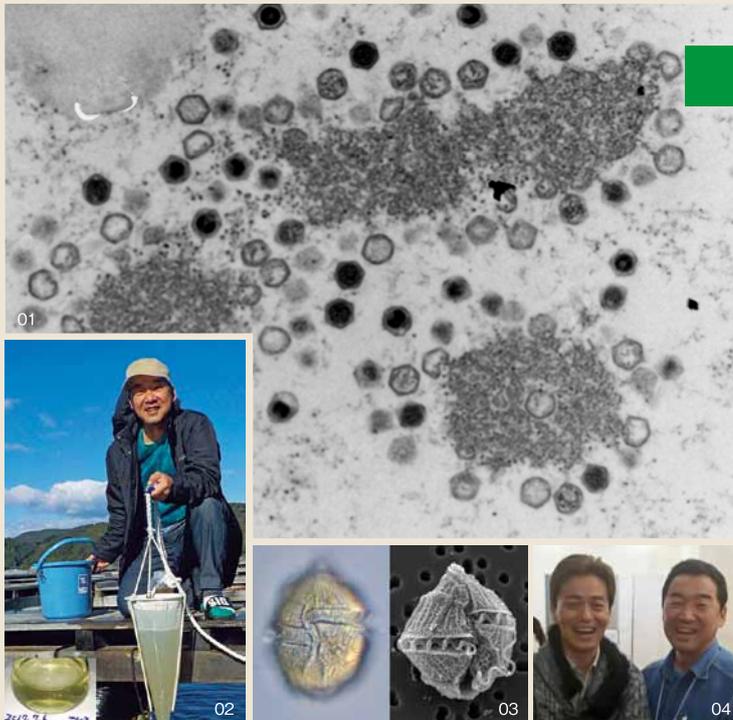
遺伝子、微生物、食品化学など、企業やラボの現場もしっかりと体験します。



あかうしや昆虫など生き物も農学の大事なテーマ。産業と自然の関係を考えます。



1次産業から6次産業まで視野に入れ、地域や行政との連携にも触れていきます。



01

02

03

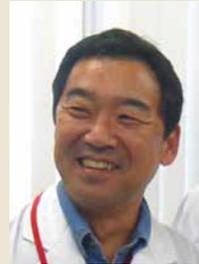
04

01:プランクトンの細胞内で増殖するウイルスの姿(黒い粒子) 02:赤潮試料採取(左下は赤潮海水:この中に何千万個もの細胞が存在) 03:赤潮原因プランクトンの光顕像と電顕像(撮影:高野義人) 04:JAMSTECの宇宙生物学者・高井研氏と学会の懇話会で

Pick Up ▶ 研究者

海洋ウイルスの存在意義を究める

海洋資源科学科海洋生命科学コース 教授 長崎 慶三



「ウイルス」と言われて誰もがまず連想するのは『病気』ですよね。でも、我々人類が知っているのは、地球上に存在するウイルスのうちのほんの一部に過ぎません。環境中には、人間の健康には影響しない、でも何かしらの役割を与えられた無数のウイルスたちが存在しています。近年では、海の中のウイルスが、生態系の維持や生物進化に深く関わっていることも徐々に分かってきました。

海のマイクロ・ナノの世界には、まだまだたくさんの謎が残されていて、研究者が退屈する暇などありません。私たちは、東大・京大・JAMSTEC等、多くの機関と密接に連携しながら、地球生態系におけるウイルスの存在意義の解明に挑んでいます。

■卒業論文テーマ例

農林資源環境科学科 暖地農学領域

CO₂施肥がカンキツに及ぼす影響 / 光線が蘭の器官形成に及ぼす影響 / 稲の晩生遺伝子および早生遺伝子に関する研究 / 温湿度がニラの生育に及ぼす影響 / 土佐あかうしの持続的生産 / イネの環境ストレス回避技術の開発 / GHPを活用したハウス内環境制御 / ブルーベリー栽培における竹堆肥の利用 / 農産物の輸出を想定した海外への地産外商

農林資源環境科学科 自然環境学領域

土着天敵クロヒョウタンカスミカメとタバコカスミカメのギルド内捕食について / イネの遺伝資源の利用に関する研究 / 降水効率及び標準雨量指数を用いた高知市の気候解析 / エダナフシとナナフシモドキの系統学的研究 / テントウムシにおけるニッチ分割の進化と共存 / イネの抵抗性メカニズムの分子生物学的解明 / 天敵昆虫による害虫の制御に関する研究

農林資源環境科学科 森林科学領域

スギ、ヒノキ樹皮の繊維性状の比較 / 路網と流域界による集材可能範囲の設定 / 紙表面上に調製したファイバー状高分子を活用した光触媒シートの開発 / 高知県内の林業用苗木生産業者における規模拡大への課題 / マレーシア熱帯二次林における植生回復に影響を及ぼす要因に関する研究

農林資源環境科学科 生産環境管理学領域

食品素材に含まれる豚肉成分の非破壊検出法に関する研究 / 正浸透法によるエネルギー回収型下水処理システムの開発 / サウンドスケープに関する調査研究 / ADI法を用いた水平2次元モデルによる浦ノ内湾の流動解析 / 泥炭およびロームの化学成分がセメント硬化体の強度発現特性におよぼす影響

農芸化学科

機能性素材ホモキラルポリγグルタミン酸 / 基質依存的発現誘導を指標とした未知遺伝子の機能 / ブタ卵子の低温障害に関わる低温感受性チャンネル / イミダゾールジペプチドの定量用微生物酵素 / 黒酵母が乳酸菌の生育に与える効果 / 非晶質鉄水酸化物吸着剤の特性 / イネのNi吸収に関わるトランスポーター / 青枯病菌のクオラムセンシング機構 / レプリソリン質化に関与するタンパク質 / 県産作物の抗酸化活性

海洋資源科学科 海洋生物生産学コース

高知県野見湾にて発生した赤潮原因藻の性状検討 / 高知県鏡川における国内初のアユボケ病発生の原因究明に関する研究 / プリ稚魚における低魚粉飼料への有機ミネラルの添加効果 / ウツボ筋肉の食品化学的的特性の把握 / 物部川水系桑ノ川に生息するアカザが好む河床形態 / 高知県幡多郡柏島におけるアオブダイScarus ovifronsの採食生態

海洋資源科学科 海底資源環境学コース

海底熱水探査のための現場型硫化水素センサーの開発 / 化学発光を用いた海水中における溶存鉄の高感度定方向の開発と海底熱水活動調査への応用 / 南極海で採取された海洋コアの有機物分析による古海洋学的研究 / レアメタルを含んだ金属錯体の電気化学的酸化還元反応の解析

海洋資源科学科 海洋生命科学コース

ピロールの位置選択的トリシアノビニル化における反応機構解析 / α-置換プロピオフェノンのジアステレオ選択的ヒドリド反応における溶媒効果 / 超原子価ヨウ素試薬を用いた立体選択的反応の反応機構解析 / 二本鎖RNA結合タンパク質によるケモカイン発現制御を介した浸潤能促進機構の解明

■取得できる資格等

農林資源環境科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)、学芸員、測量士補、樹木医補、森林情報士2級、JABEC認定修習技術者

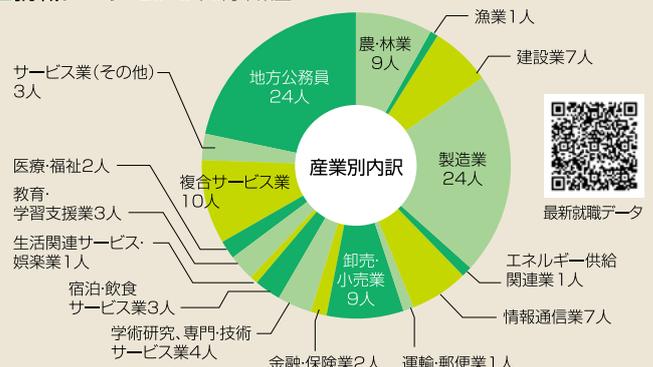
農芸化学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科)、学芸員、食品衛生監視員〔任用資格〕、食品衛生管理者〔任用資格〕、環境衛生監視員〔任用資格〕、食品衛生責任者、飼料製造責任者、毒物劇物取扱責任者〔任用資格〕

海洋資源科学科

中学校教諭一種免許状(理科)、高等学校教諭一種免許状(理科・水産)、学芸員

■就職データ 2018年3月卒業生



最新就職データ

Voice! 内定者の声

就職活動は、自分を表現し
見てもらうと同時に、
相手を見て知る訓練の場でもあります。
恐れず、前向きに!



森澤 高至 (高知県立高知西高校出身)

ユニチャーム株式会社

大学院総合人間自然科学研究科(農学専攻)平成30年度修了

生物の教員になろうと思ってやってきた高知大学ですが、3年生から研究の楽しさに目覚め、研究技術を生かした仕事に就きたいと思い大学院に進みました。仮説・実験・検証の過程や、ゼロから1を生み出すことがおもしろくて、モノづくりの現場で働きたいと思うようになりました。就職先では商品開発の分野に内定し、わくわくしています。

また、学会等で研究成果をプレゼンテーションする機会も多く、そこで心得たのが早めに情報を収集し、自ら戦略を考え、能動的に動くことの

大切さです。プレゼンは自分の考えを的確に伝え、自分らしく表現する訓練にもなり、これが就活にも生きてきました。

学生ならではの成功体験を積みたいと思って出場したのが、学園祭での女装コンテストです。女装とはいえ、綿密な計画と理論の上に成り立ったプレゼンテーションが必要です。朝倉キャンパスで開催されるため応援も少なく不利な状況でしたが、しっかりと戦略を練って準備万端に挑んだ結果、優勝することができました。理論に基づいた表現は、必ず人に届くもの。この成功は自信になっています。



目に見えない遺伝子と向き合う毎日。考えてやってみる、その過程が楽しいです!

■卒業後の進路 学部卒・大学院修了者の過去の主な就職先・進学先です。(企業名は五十音順です)

農林資源環境科学科 ※旧暖地農学コース・自然環境学コース・流域環境工学コース・森林科学コース・国際支援学コース

高知県庁、静岡県庁、和歌山県庁、岡山県庁、島根県庁、香川県庁、愛媛県庁、徳島県庁、福岡県庁、美馬市役所、吉野川市役所、高知市役所、南国市役所、熊本市役所、宮崎県警

安藤・間、伊藤忠建材、院庄林業、糸島地区酪農ヘルパー利用組合、奥村組、高知大学、高知県山林協会、高知県園芸農業協同組合連合会、高知県農業協同組合中央会、神栄、JAうおづ、JAつやま、JA全農高知、JAぎふ、JA全農、JA庄原、水資源機構、全農えひめ、全国農業協同組合連合会、全国共済農業協同組合連合会、愛媛県本部、ゼンショーホールディングス、タキイ種苗、中国木材、千代田コンサルタント、東洋検査工業、長崎県中央農業協同組合、中日本ハイウェイエンジニアリング東京、西日本旅客鉄道、兵庫西農業協同組合、兵庫県信用農業協同組合連合会、百十四銀行、富士通、ホクト、丸和林業

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、九州大学大学院、名古屋大学大学院、筑波大学大学院、広島大学大学院、岐阜大学大学院、信州大学大学院、東京農工大学大学院

農芸化学科 ※旧生命化学コース、食料科学コース

高松高等裁判所、宮城県庁、岡山県庁、愛知県私立学校教員(高校)

あいち知多農業協同組合、味の素、アヲハタ、大塚製薬工場、カネテツデリカフーズ、京セラコミュニケーションシステム、国際航業、高知銀行、参天製薬、四国銀行、シャボン玉石けん、四国日清食品、新出光、JA全農こうち、スタッフサービス・エンジニアリング、全国農業協同組合連合会岡山県支部、そごう・西武、東ハト、土佐ガス、ニッポン高度紙工業、パナソニックグループ、日立システムズ、万田発酵、マックスバリュ西日本、ヤクルト本社、不二家

▶**大学院進学先** 高知大学大学院、京都大学大学院、筑波大学大学院

海洋資源科学科 ※旧海洋生物生産学コース、理学部応用化学コース、地球科学コース

静岡県庁、愛知県庁、鳥取県庁、大分県庁、菊川市役所、姫路市役所、高知市役所、岡山県警、茨城県公立学校教員(中学校)

阿波銀行、石川県水産団体JFいしかわ、愛媛小林製薬、兼松エンジニアリング、共立製薬、四国ガス、四国銀行、JR西日本テクシア、スズキ、太陽石油、大旺新洋、大起水産、東設土木コンサルタント、中日本航空、東町漁業協同組合、兵殖、微生物化学研究所、星野リゾート

▶**大学院進学先** 高知大学大学院

地域で学び、地域の未来をひらくリーダーになる

地域協働学部

Faculty of Regional Collaboration

学科・コース

地域協働学科

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



地域協働学部

アドミッションポリシー

地域協働学部は、地域理解力、企画立案力、協働実践力という3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出でき、卒業後即戦力として活躍できる「地域協働型産業人材（6次産業化人、地域協働リーダー）」を養成します。

地域協働学部での成長サイクル

様々な地域との本気の協働を通じて、4年間を通じた「大学での学び」「地域での学び」「地域への貢献」のサイクルを実践します。

地域の未来をひらくリーダーに欠かせない「生きた技能・知識・考え方」を育むための「知識と実践の統合」「こころざしの育成」「学びの意欲向上」を図ります。



▶ 地域協働学科1年の第2学期の時間割例

	月	火	水	木	金	集中等
1時限	非営利組織経営基礎演習				地域組織論	
2時限	学問基礎論			大学英語入門	生物時計のはなし	中山間地域の生活と環境I
3時限	大学英語入門	地域理解実習				中山間地域の生活と環境II
4時限				川と人と生活誌	みのまわりの科学	地域協働企画立案 ファシリテーション演習
5時限	地球的規模の課題と国際協力			地域協働研究I		

▶ 地域協働学部ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/rc/>

先輩にきく Message from Student

たくさんの出会いがある!

伊東 茉由 地域協働学部3年(静岡県立韮山高校出身)

地元の静岡と高知は気候や食べ物が似ていて過ごしやすく、一人暮らしも快適。「自分に合っている!」と思います。せっかく高知に来たので、「よさこい祭り」にも「高知龍馬マラソン」にも参加し、大学生活を楽しんでいます。

地域協働学部では、1年生の時に県内を回って自分が協働するフィールドを決め、2年・3年とその地域に通って実習を行います。私は県西部の黒潮町佐賀北部で、お年寄りの知恵や工夫、貴重な経験を次の世代に伝えられるつながりづくりをテーマに活動を行いました。目に見える形はなくても、「自分たちがいなくなっても地域に残るもの」が目指す成果です。

また他にも、室戸を元気にする一般社団法人の活動に参加したり、高知と同じような課題を抱える島根や鳥取にも足を運んだりしました。学内外で様々な人と出会ったことで、自分の中にものさしのようなものができ始めたように思います。



黒潮町での実習の様子

地域協働学部は、一見「何をしているかわからない」学部です。けれども、学びたいければ何をしても許される、無限の可能性があります。私は、2年生の時に3週間の「イタリア短期留学プログラム」に参加し、語学力の低さを痛感しました。そこで3年生修了後に1年間休学し、留学することを決めました。言葉や文化を学びながら、ヨーロッパにもコミュニティを広げてきます!

知らないコミュニティに入って、初めての人と仲良くなるのが得意になりました



教員にきく Message from Assistant Professor

自分の枠を壊し、世界を広げよう

佐藤 洋子 助教

「地域協働って何ですか?」と聞かれると、私はいつもどう答えようか迷います。それは、「地域ってこうだよ」「協働ってこれだよ」と決めつけるのではなく、皆さんが自分でそれを考え、創ってほしいからです。そもそも大学の学びは、正しい答えがひとつあるというようなものではありません。世の中には様々な人がいます。「地域協働」にも、それぞれの立場から見たいろんな答えがあるはずですよ。

本学部の実習では、サービスマーケティングや調査を通して地域の課題を見つけ、その課題を解決するための企画やプロジェクトを立案し、地域の人と一緒にそれを動かしていきます。その時、自分なりの問題意識が必要ですが、必ずしも最初から明確に持っているわけではないので、地域に入って一緒にそれを探していきます。どうせなら、そこでこれまでの自分の枠組みを一回ガツンと壊されるくらいの出会いを得てほしい。新しい世界が見えるはずですよ。そのうえで何か新しいものを創る、そんな学びをここで体験してほしいと思っています。

カリキュラム例

地域協働学科

- 講義科目 地域協働論、地域組織論、地域産業経済論、地域社会学概論、社会調査論、社会調査方法論、組織学習論、地域計画論、非営利組織マネジメント論、経営組織論、地域資源管理論、行財政論、会計学概論、社会教育論、行政実務講座、金融・税務実務講座、地域協働マネジメント特別講義、経営学、デザイン論、フードビジネス論、農業振興論、六次産業化論、里山管理論、地域産業政策論、国際ビジネス展開論、地域産業連関論、中心市街地活性化論、産学官民連携論、アントレプレナーシップ論、コンテンツマーケティング論、地域産業特別講義、生涯学習論、環境社会学、スポーツ社会学、地域健康スポーツ振興論、地域福祉論、コミュニティデザイン論、地域防災論、比較地域社会論、労働・生活とジェンダー、ソーシャルキャピタル論、非営利組織論、環境文化論、地域生活特別講義
- 演習科目 企画立案事業計画基礎演習、プロジェクトマネジメント演習、サービスデザイン基礎演習、非営利組織経営基礎演習、ファシリテーション演習、チームビルディング演習、地域協働チャレンジ演習、地域協働研究、地域協働実践・卒業研究、外国語特別演習、海外特別演習
- 実習科目 地域理解実習、地域協働企画立案実習、地域協働事業計画実習、地域協働マネジメント実習

地域協働学科 Department of Regional Collaboration

うみ・やま・むら・まちをフィールドに地域とともに課題を解決する力を養う

教育理念

高知県各地の農山漁村やまちをフィールドに、その地域との継続的な協働を通じて地域の課題を共感的に理解し、改善に取り組みます。豊富な学外実習に加えて、実習の振り返りと実習に必要な専門知識の獲得を重視し、地域の課題を解決するための「知識」と「経験」の統合を図ります。



目指す人材像

地域協働マネジメントに必要な3つの力(地域理解力、企画立案力、協働実践力)を身につけた「地域協働型産業人材」を育てます。



人材育成プロセス

学年ごとの積み上げ型の教育プログラムで「地域協働型産業人材」に必要な能力を着実に育成します。学年末の学習成果報告会では、企業経営者、社会起業家、NPO職員など社会や地域の第一線で活躍する人たちのアドバイスをもらいながら、1年間の学習成果を整理します。



1年生

目標 地域理解力を身につける

第1学期 課題探求実践セミナー
新入生が「高知」にはじめてふれる場。高知のうみ・やま・むら・まちで何が起きているのか、地域の人たちは何を考えどのように行動しているのかを知り、地域に向き合う作法を身につけます。

第2学期 地域理解実習
地域の活動の手伝いやヒアリングを通じて、地域の特性や課題を理解します。「地域理解力」の基礎を固めます。

2年生

目標 企画立案力を身につける

第1学期 地域協働企画立案実習
地域課題を探し出し、地域資源を活かした企画をつくる実習を行います。「地域理解力」を身につけるとともに、アイデアを発想し形にする事で、「企画立案力」の基礎を固めます。

第2学期 地域協働事業計画実習
地域資源の商品化に向けた事業計画づくりのプロジェクトを実施します。商品開発する力、事業を計画する力を育て、「企画立案力」を発展させます。

3年生

目標 協働実践力を身につける

第1学期 地域協働マネジメント実習Ⅰ
2年生までに身につけた能力や知識・技法を活かして事業計画を実施し、その点検評価を行います。やり抜く力とリーダーシップを育て、「協働実践力」の基礎を固めます。また活動を客観的に評価する力を固めます。

第2学期 地域協働マネジメント実習Ⅱ
実践した事業の結果を地域の人と一緒に評価して改善策をつくるワークショップを実施します。ファシリテーション力や合意形成する力など、地域を巻き込んで活動するための「協働実践力」を身につけます。

4年生

目標 地域協働マネジメント力の統合・深化

地域協働実践・卒業研究
4年間の学びを統合し、地域協働の実践経験や実践事例を理論化します。これをもとに、卒業後「地域を変える新しいリーダー」としてどのように地域に関わるのか、将来展望を描きます。

学習成果報告会

卒業研究発表会

授業例

キャンパスの外で地域の実情を探る — 課題探求実践セミナー (第1学期)・地域理解実習 (第2学期)

1年生の第1学期に、グループに分かれて、高知県内の複数の地域を訪問します。訪問先では、地域の行事の手伝いなど、様々なサービラーニングを行うなかで、地域の実情を把握します。第2学期から始まる地域理解実習では、第1学期に訪れた地域から1つの地域を選んで、その地域に深く関わっていきます。

学内実習(事前学習)

- 訪問先地域の下調べ
- 地域の実情の仮説の設定

学外実習

- サービラーニング
- 地域の観察、地域住民とのコミュニケーション
- 地域の実情把握

学内実習(事後学習)

- 事前学習で立てた仮説の検証
- 実習の振り返りと改善点の共有



キャンパスの中での知の統合 — 地域協働研究 (I・II・III)

授業では、少人数グループでのディスカッションを通じて、実習授業で活動を行ったフィールドの経済・産業構造、生活・社会環境、各種活動に関わる団体や組織(地域主体)の特性などの分析を行い、地域が抱える課題の本質的な原因や構造を理解します。また、その成果を論文としてまとめるための能力を養います。

▶ 卒業後の想定される進路

6次産業化人

農林水産分野の地域資源を活かして起業する人材

農林漁業ベンチャーの起業、フードサービスの起業、地域資源活用ビジネス(グリーンツーリズム、飲食業、観光業、小売業)の起業、農業生産法人等の起業、6次産業化コンサルタント

産業の地域協働リーダー

地域の多様な資源(人・モノ・組織)を活かし、協働をコーディネートして事業を創る人材

地場産業(伝統産業)、食品加工・流通企業、金融機関、広告代理店、デザイン会社、観光関連企業、都市開発関連会社、まちづくり会社、ソーシャルビジネス・地域ビジネス企業

行政の地域協働リーダー

住民、企業と協働して、地域の課題解決に向けた政策形成をコーディネートできる行政職員等の人材

地方自治体、国の行政機関、独立行政法人、国際機関、農林漁業団体、商工団体、研究機関

生活・文化の地域協働リーダー

住民、企業、行政と協働して、地域の生活・文化を支える事業をプロデュースする人材

コミュニティデザイナー、ソーシャルデザイナー、マスコミ、福祉関連法人・企業、コンサルタント会社、まちづくりNPOの起業、地域おこし協力隊、文化スポーツ振興団体

+α 学習成果報告会2018 — 初めて学生主導で実施!

地域協働学部

学習成果報告会とは、日頃から本学部を支援してくださっている高知大学地域協働学部「地域協働教育推進会議」の方々や保護者、高校関係者などに対して、地域協働学部1～3年生が一年間の学びの成果を報告する会のことで、毎年2月に開催されます。例年は学部主導で行われていましたが、今年度は初めて学生がから企画し、準備や当日の運営も行いました。

成果だけでなく学びのプロセスを共有できた

ありみつ なつき
有光 七月 地域協働学部3年生(高知県立高知追手前高校出身)

初の試みとなった学生主導の成果報告会は、「楽しい空間になったな」という印象が一番強いです。これまでのやり方を見直し、学生がもっと意欲的に成果報告会に臨めるように3年生を中心にコンテンツを考えてきましたが、それがうまくはまったと感じました。

メインコンテンツである「ブース発表」は、それぞれの実習班ごとに十分個性が活かされ、学びの成果だけでなく、今回の目的でもあった「学びのプロセス」も昨年以上に参加者の方々と共有できたのではないかと思います。また、ふだん学生がどんな思いを抱いて活動しているのかを知ってもらうために取り入れた「学生のトークセッション」も、予想以上にたくさんの方から好評をいただきました。

私たち地域協働学部の学生は、いつも非常に充実した時間の中で様々なことを経験させてもらっていますが、中にはうまくいかず辛いことや、仲間と揉めるようなこともあります。「成果報告会」と題していますが、それらの苦難を乗り越えて一歩一歩成長してきたその「過程」を、わずかでも参加者の皆さんに伝えることができたと思っています。



開会セレモニーで挨拶する有光さん



参加者全員での集合写真

Pick Up ▶ 授業

地域で実践するために「見る」

地域社会学概論

教授 玉里 恵美子

地域協働学部では、学生が高知県の課題解決に向けて、様々な人びとと協働実践をする「実習」があります。学生は地域へ飛び出し、課題を見つけ、人びとを巻き込み、共通の目的に向かって試行錯誤し、地域協働マネジメントの力をつけていきます。このような、一連の実践を支えるのは、社会、すなわち地域への深い理解に他なりません。「地域社会学概論」では、イェムラ論といった古典的な社会学の概念や知識を習得するだけでなく、高度経済成長期以降、地方が抱えてきた高齢化や過疎化に伴う諸問題についても検討するとともに、課題解決に向けた住民主体の新しい取り組みについても紹介していきます。この授業を通じて、社会学の扉を開けるとともに、地域で協働実践をすすめるために、地域をどのように「見る」ことができるのか、一緒に考えていきましょう。



01:講義科目も実習科目も大切です
02:ワークシートで知識の定着を図ります 03:教員と学生の距離が近いです 04:グループワークを通じて学びます

卒業論文テーマ例

地域協働学科

六次産業化:農村女性起業における働き方の意義—その特色と人生観—/中小企業マーケティングに関する—考察—高知県黒潮町の地域資源活用型ビジネスから—/『おとよブルーベリーの里プロジェクト』における『株式会社社里人』の役割と経営戦略/高知県日高村におけるトマトを使った地域ブランドの構築過程/中山間地域における農業従事者の獲得とターンによる新規就農者の就農ルート—愛媛県今治市大島町の事例から—/株式会社社里人の経営とcafé satobitoの運営を通じた実践的研究—経営・運営における課題解決とマネジメントについて—/マーケティングによる小売店舗の情報発信体制の改善—土佐せれくとしょぶてんこすを事例に—

産業:インバウンドによる地域活性化への課題—高知県高知市を事例として—/コンテンツツーリズムの弱点克服—コンテンツの共有により生まれる繋がりについて—/エネルギーリテラシーを高めるために—コミュニティ・エネルギーの可能性—/地方創生における地域金融機関の役割—地域金融機関のCSR活動による関係構築—/卸商業団地の機能と再編/民泊事業の実態と地域貢献の可能性—地方、都市それぞれの視点から考察—/「地域商社」の捉え方から考える地域のための人材育成/地域イベントの開催理念に関する—考察—土佐の豊稔祭2018を事例に—/イベント運営を通じたコミュニティを創出する場のマネジメント—TOMARIGI HOSTELにおけるアクションリサーチを通して—

行政:文化消費の時代における県立文学館の機能と役割—文化経済学の視点から—/過疎地域における自治体による高校存続活動の検証—高知県四万十町における「じゆうく。」の事例研究—/住宅確保要配慮者の健全な住宅確保に向けた支援策の検討—住宅セーフティネット制度の普及に向けて—/自立支援事業における支援者と被支援者が抱える課題—社会福祉協議会の事例から—/小さな拠点の形成がコミュニティに与える効果—集落活動センターを事例にして—/同性パートナーシップ制度—都市と地方の制度から見る制度の持つ意味—/日本のダイバーシティ・マネジメントにおける政府と企業の役割/人口増加する自治体するには—人口動態と政策面から考える—

生活文化:地域リーダーのつながり意識—自主防災組織のネットワークを題材として—/地域活性化における若者の役割—よさこいインカレ高知大会に関する協働実践報告書—/子ども食堂で見られる交流の在り方—関係の貧困を解消するために—/地区運動会とコミュニティ形成の関係性—馬路村魚梁瀬地区村民運動会を事例に—/郷土料理の伝承に関する研究—郷土料理を継承する手段と必要性について—/音楽が地域イベントに与える影響に関する研究—四国ジビエグルメフェスタ・米こめフェスタ(豊稔祭高幡会場)を事例に—/地域活動における住民参加のための協働モデル提案—アート活動の事例を通して—

学部指定奨学金制度

公益財団法人東京海上各務記念財団から、本学部指定で国内奨学金の給付

本学部指定(高知大学は地域協働学部のみ)で、2016年4月から毎年度、第2学年に在学する学生1名が月額4万5千円(給付につき返済は不要)を、正規の最短修業年限の終期まで支給(同財団の海外留学支援制度を利用した場合に例外あり)されることになっています。2019年度も同様に募集要項がきており、第2学年に上記の奨学金が給付される予定です。

同国内奨学金給付の本学以外指定大学は、東北大学、東京大学、東京工業大学、東京外国語大学、一橋大学、筑波大学、筑波技術大学、京都大学、名古屋大学、慶応義塾大学、早稲田大学、中央大学、上智大学と極めて限られた大学となっています。

公益財団法人東京海上各務記念財団のHP (<http://www.kagami-for.jp/>)

取得できる資格等 地域協働学科

社会調査士
社会教育主事、社会教育士(文部科学省課程設置申請中) ※取得には一定の実務経験等の要件を満たす必要あり。

最新の就職関連データは、高知大学ホームページ

「就職支援 > 先輩たちの就職先 > 進学者数・就職者数 / 主な就職先分野及び就職先」にて、ご覧いただけます。



Voice! 内定者の声



大道 健太 (三重県立津西高校出身)
株式会社 日立製作所 平成30年度卒業

高知大学に地域協働学部が創設され、「1期生はいろいろなことにチャレンジできるのでは?」と、わくわくしながら入学しました。2年生から大豊町をフィールドにして実習を行い、ブルーベリーを地域資源として活用し、産業につなげることに取り組みました。そして、2年生の終わりに学生有志と教員で出資して「株式会社里人」を設立。大豊町のブルーベリーやその加工品をはじめ、高知県内の食材を扱う「café Satobito」をオープンしました。初めての経験で分からないことばかりでしたが、司法書士事務所や法務局に何度も足を運んで、起業することができました。大学の授業、caféの運営、会社の経営に多忙な毎日でしたが、得るものは大きかったです。

会社の決算に追われる3年生の3月、大阪で行われた合同企業説明会に参加し、そこから全力で就職活動を行いました。地域に軸足を置く食品会社を中心にエントリーする中で、一番遠い世界である電気機器メーカーを1社だけ受けてみようと思いました。自分の知らない世界に飛び込み、困難や苦勞を乗り越えていくことを楽しみたいと考えたからです。地域協働学部で培った、能動的に課題に向き合う力、主体的に行動する力が自信になっています。

入学当初は、学生起業するなんて想像もしなかった大学生活。ハードでしたが、後悔はありません!



café Satobitoでは、お世話になってる地元農家から直接仕入れた野菜をメインに、メニューづくりを行った



林 実紀 (高知県立安芸高校出身)
株式会社 まこと 平成30年度卒業

人口1,000人足らずの山村、馬路村で生まれ育った私は、村をはじめ県東部の市街地の活性化に貢献したいと思い、この学部に入學しました。実習では、高知市の帯屋町商店街にある「土佐せれくとしよつぷてんこす」でお世話になり、商店街全体のイベントに参加したり、街頭インタビューを行ったり、そこから見てきた提案を企画・実践したりしながら、「協働の学び」に取り組みました。でも実習は、本当にうまくいかないことだらけ。チームメンバーとの衝突や、協働パートナーであるお店の社長さんやスタッフの方とのコミュニケーション不足など、振り返れば失敗の方が断然多かったけれど、その分、多くのことを学ばせていただきました。真剣に叱ってくれた社長さんにはとても感謝しています。

就職にあたっては、大好きな高知で働くことは最初から決めていたので、まず県内のいろいろな業界や企業を広く見ていきました。その過程で、お給料がよくても自分が学んできたことが活かせないのは意味がないと感じたこと、また自分らしく働けることが大事だと気づいたことで、実習先の店舗を運営している会社に就職を決めました。今後は高知の様々な商品と県内外のお客様をつなぎ、高知を元気にしていく力の一つになれると思っています。

「自分自身が成長し続けられる環境」というのも、就職先を考える際の大きなポイントでした!



2年生の時には、クリスマスイベントを企画実施した

■卒業後の進路 (企業名は五十音順です)

高松国税局、高知県庁、大阪市役所、広島県呉市役所、高知商工会議所
アイレップ、阿波銀行、インタースペース、ウエスト、愛媛銀行、愛媛信用金庫、オルディ、グッドラックカンパニー、こうち生活協同組合、サニーマート、サラ、GMOアドパートナーズ、JR四国ホテルズ、shift、四万十ドラマ、ソウルドアウト、鷹正宗、東和産業、鳥羽志摩農業協同組合、TOMARIGI HOSTEL、西日本高速道路エンジニアリング四国、日進堂、日鉄住金物産、日本郵便、日本生命保険、日本農業新聞、野村證券、パーソルキャリア、パナソニックシステムソリューションズジャパン、ハヤシ、日立製作所、ファーストコラボレーション、福助工業、ベルーナ、ベルモニー、ホームロジスティクス、まこと、まつだ寝具店、明治安田生命保険、モンベル、ユーエスケー、湯快リゾート、吉田建設、リブドゥコーポレーション、ワイケイ興産

▶大学院進学先 高知大学大学院



高度な学びと研究を支える基盤として、最先端の設備・装置を配した施設と利用体制を整えています。学生はこれらの環境を自由に駆使して、自分のやりたい学びや研究を進めることができます。



海洋コア総合研究センター

▶ 物部キャンパス

海洋コア総合研究センターは、海洋コアの総合的な解析を通して地球環境変動要因の解明や海洋底資源の基礎研究を行うことを目的とし、全国共同利用施設として設立されました。2004年からJAMSTEC(国立研究開発法人 海洋研究開発機構)と共同運用を行っています。本センターは、海洋コアの冷蔵・冷凍保管をはじめとし、コア試料を用いた基礎解析から応用研究までを一貫して行うことが可能な研究設備を備える、国内唯一の研究機関です。2007年からは、国際共同研究プロジェクトである統合国際深海掘削計画[2013年10月～国際深海科学掘削計画](IODP)における世界三大拠点のひとつとして、本格的な活動を開始しました。2009年6月に文部科学大臣から「地球掘削科学共同利用・共同研究拠点」に認定され、2016年1月には、第2期(平成28年度～平成33年度)の拠点認定を受け、引き続き地球掘削科学の発展を望む研究者コミュニティの要望に応えるべく、本センターの卓越した設備・機能を活用した共同利用・共同研究の推進を図ることとしています。



最先端の地球科学分析装置と豊富な海底コア試料を用いた教育研究を行っています。



海洋コア総合研究センターは、高知大学と国の研究機関(海洋研究開発機構)が共同運用する世界屈指の地球科学分野の研究所です。

Voice 学生の声



武田 大海

総合人間自然科学研究科 修士課程理学専攻地球科学分野
(2017年度修了) 高知県 私立高知学芸高校出身

共通教育の講義で古地磁気を習い、面白そうだったからと研究対象にすると海洋コア総合研究センターで研究することになりました。たまたまやって来たここは世界でも有数の研究施設、目の前にあるたくさんの貴重な海洋コア試料と様々な最先端の分析機器の数々。そんな環境をどれだけ活かすことができるかは自分次第。想像力とやる気さえあればどんな研究も思うがまま。そして周りにはプロの研究者。プロの持つ空気を肌を感じ、研究に対する姿勢を見習いながら、他ではできない研究をする数年間は貴重な経験になっています。



海外の研究者と触れ合えるチャンスが多いことも魅力です。



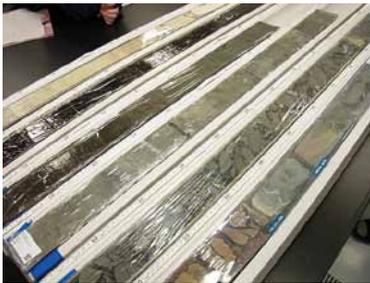
地球科学の視点から

column



今、「資源」がキーワードに

海洋コア総合研究センターのもう一つのキーワードは「資源」です。そこには、研究材料としての海底の堆積物から、レアメタルをはじめとする海底資源、未知の海洋生物やその遺伝資源まで幅広い分野が含まれています。持続可能な未来社会に欠かせないこれらの研究に、高知大学の恵まれた環境で取り組んでみませんか？



海洋コア試料。海水面変動、地磁気の変化、海流系の変動、水温変化といった過去の地球環境変動が記録されています。

世界の海を研究できる！

池原 実 教授

高知大学海洋コア総合研究センター 専門分野：古海洋学、有機地球化学

地球の歴史を紐解く

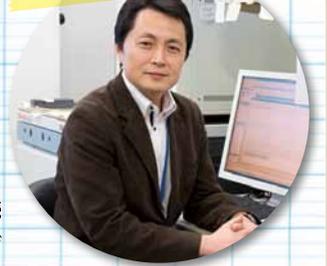
海底の堆積物には、過去から現在までの海洋や気候の変化の痕跡が連続的に記録されています。それを分析・復元し、将来の環境変化の予測につなげるのがこの分野の大きな目的。日常とは全く違う時間・空間スケールで、世界をまたにかけた研究が行われています。

学生も研究船に乗って世界の海へ

高知大学の学生も、当センターが保管する世界の海底コア試料や最新設備を利用して研究を行ったり、海洋調査実習船に乗って世界の海に調査航海に出たりすることができます。必要なのは、積極性と熱意！興味がある人はぜひ、関連する授業を受講してみてください。



Voice 教員の声



研究紹介 白鳳丸の挑戦！

2016年11月11日から11月28日の18日間、北西太平洋において学術研究船「白鳳丸」による航海(国際共同研究)が行われ、本学からも多くの学生が研究者の一員として参加しました。航海中は、複数地点から海洋コアを新たに採取。約2万年前の最終氷期以降の黒潮と深層水循環の変動を復元し、東アジアの気候変動との関係の解明に取り組みました。



高知大学からは学部生や大学院生も参加。



現場を経験することが、何より大きな学びになる。

research!



生化学の視点から

海底下の巨大生命圏に迫る！

若松 泰介 講師 農林海洋科学部農芸化学科 専門分野：生化学、蛋白質科学

海底下の遺伝資源を探索

地球表層には10の30乗もの微生物が生息していますが、実は地球の深部である海底下にも、それに匹敵する10の29乗の微生物が存在しています。しかしその85%以上は、未だ遺伝子の機能が解明されていない、未知の資源。JAMSTECと連携し、海底コアや研究設備を最大限に活用することで、この海底下微生物の遺伝資源の解明に取り組んでいます。



Voice 教員の声

研究紹介 機能性遺伝子の網羅的探索

我々の研究室では、海底コアからメタゲノムを抽出し、基質誘導を指標とした新手法を用いて機能性遺伝子の網羅的探索を行っています。これは、現象からその構造を読み解く「生命版・リバースエンジニアリング(逆行工学)」。高度な設備を必要としますが、JAMSTECと共同運営する海洋コア総合研究センターを活用し、実現しました。高知大学では、院生だけでなく学部生からこのような先端研究に関われます。



地上の微生物の混入を防ぐ「スーパークリーンルーム」



1秒間に7万種の微生物を見分けられる「セルソーター」

学びの環境

海洋生物研究教育施設 ▶ 高知県土佐市宇佐

当施設は、黒潮分岐流・仁淀川河口汽水域・リアス式内湾およびサンゴ群落の多様な環境に囲まれ、海洋生物学および水産科学に関する広い分野の研究を行っています。

研究・実習用設備、海洋観測機器類(水温・塩分・濁度・溶存酸素・クロロフィル、流向・流速)、海洋調査実習船「豊旗丸」(19t)、「ねぶちゅーん」(5t)、「はまゆう」(2t)および船外機船を所有し、フィールド調査、飼育実験および臨海実習の基地として、学内だけでなく学外さらには海外からの研究者も利用しています。



研究試料となる海洋生物の幼魚を飼育している水槽



Voice 学生の声



東島 昌太郎

総合人間自然科学研究科 博士課程黒潮圏総合科学専攻2年
静岡県立韮山高校出身

海洋生物研究教育施設がある宇佐は、田舎ですが、土佐節発祥の地で、ジョン万次郎が出港したことで有名な高知屈指の漁港です。施設は多様な環境に囲まれており、実習船豊旗丸をはじめとする調査機材や設備も充実し、先生方も自ら乗船して、私たちの世界に向けた研究を後押ししてくれます。私は魚類の初期生活史について研究していますが、海に出て塩分、水温等を調べ、網を曳くことで、自然を科学的に研究することの難しさや面白さを日々、学んでいます。海洋生物に興味がある、海に関する研究がしたい方には是非お勧めの場所です。

研究紹介

温暖化は、必ずしも年々進んでいるとは言えない?!

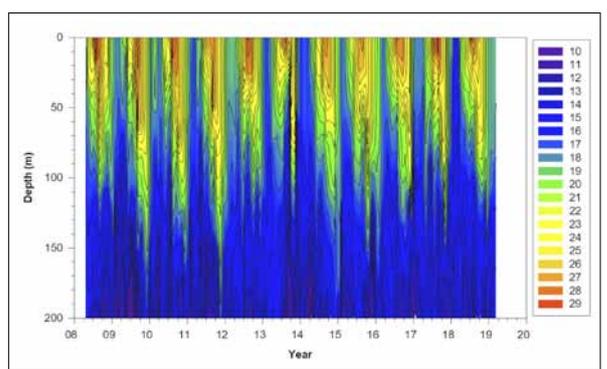
海洋生物研究教育施設では、毎月、陸棚縁辺(水深200m)での海洋観測を行っており、これまで10年間の観測データを蓄積してきました。

その数値をグラフ化すると、冬季での冷水期と暖水期は3~4年のインターバルで起こっており、温暖化が必ずしも年々進んでいないことがよくわかります。

また、中深層からの湧昇(10℃前後の水塊)が頻繁に起きており、このことが土佐湾の豊富な生物生産を支えているかもしれません。



豊旗丸からのCTDマルチ・ウォーター・サンブローによる海洋観測の様子



理工学部附属水熱化学実験所 ▶ 朝倉キャンパス

100℃、1気圧よりも高温、高圧の水が関与する水熱反応を専門に研究を行う世界でも希な施設です。この水熱反応を利用して、機能性セラミックス材料や高活性触媒の合成、セルロースなどからの高付加価値有機物への変換、有害物質や産業廃棄物の処理・処分に関する研究を行っています。卒業論文、修士論文、博士論文を作成するための学生や国内外の共同研究者に、実験の場を提供しています。

研究紹介

水熱化学実験所のここがスゴイ

酸化物などの無機材料は一般に1000℃以上の高温で合成されますが、水熱合成法を用いると、合成温度を数百℃にまで一気に下げることが可能になります。たとえば、高い誘電率をもつことからセラミックコンデンサなどの誘電体材料として広く使用されているチタン酸バリウムBaTiO₃を通常の固相反応法で合成するにはおよそ1300℃が必要ですが、オートクレーブと呼ばれる反応容器を用いた水熱法では200℃程度で合成できるようになり、エネルギー消費が極めて少なく、地球にやさしい方法を実現できます。



オートクレーブ

research!



水熱反応の準備、生成物の分離、洗浄などの作業を行います。

Voice 学生の声



寇 領江

総合人間自然科学研究科博士課程応用自然科学専攻2年
中国出身・特別研究学生

私の研究は、主に水熱合成法によりリチウムイオン電池の正極材料を作製することです。電気自動車とハイブリッド車の発展につれて、現在の電池はもう市場の要求を満足できなくなっており、高性能なリチウムイオン電池の需要が高まっています。電気自動車にとって、より長い走行距離、より短い充電時間、そしてより安い価格が必要です。正極材料は電池全体のコストの40%近くを占めており、正極材料は電池の発展を制約する重要な要素となっています。水熱化学実験所の先進的な水熱合成設備、試験分析設備は私の研究課題に適しています。ここで研究することで、より良い電極材料を作ることができると思っています。



研究に使用する装置、透過型電子顕微鏡

理工学部附属高知地震観測所 ▶ 朝倉キャンパス

地震観測や測地計測に基づいて地震の発生、地球内部構造、地殻変動等の研究を行っています。



四国内8ヶ所に定常地震観測点を展開するとともに、気象庁や他大学、他機関の地震波形記録もリアルタイムで収録しています。併せて、高知県内の地震災害に関する資料の収集、場所と期間を限定した機動観測を随時実施しています。学生の実験実習や四国内の地震観測研究の拠点として使用されます。



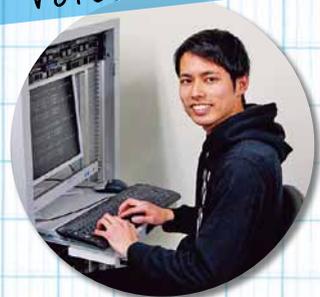
地震動観測の一例(左上)、地殻変動観測の準備(右上)、地震動波形解析の様子(右下)

Voice 学生の声

黒木 啓介

理学部応用理学科災害科学コース(2017年度卒業)
宮崎県立妻高校出身

私は、2016年の4月に発生した熊本地震をターゲットとして、トリガーの解明を行っています。トリガーとは、地震の「引き金」のことを示し、なぜその場所で発生したのかや、地下でどのような応力が加わっていたのかを明らかにする研究です。本研究により地震のトリガーを解明することができれば、地震の発生予測にも繋げることができると考えられます。本震、前震共に400点程の観測点より得られた地震動波形を読み取り、熊本県の地下での応力の加わりを解明しています。今後の同地域における減災に役立てるために研究を進めています。



research!



総合研究センター

総合研究センターは、海洋部門、生命・機能物質部門からなり、
①海洋に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域貢献、
②生命・機能物質部門に関わる研究の遂行とその支援、教育および地域連携の2つの機能を担っています。

- 海洋部門：海洋生物研究教育施設 (55ページ参照)
- 生命・機能物質部門：遺伝子実験施設、実験実習機器施設、RI実験施設、動物実験施設

遺伝子実験施設 ▶ 物部キャンパス

遺伝子に関する基礎的・応用的研究の助長・促進と、遺伝子実験技術の教育・訓練を行うことを目的とした施設です。高知大学のみならず、四国地域における遺伝子関連の実践的研究推進のための施設として重要な役割を果たしています。



実験実習機器施設 ▶ 岡豊キャンパス

形態系、生化学系、免疫系、生理系の各系に、それぞれの研究分野で必要な大型の共通利用機器が完備されています。共通利用機器の使用指導、実験技術の指導、受託解析等を通じて高知大学を中心とした県内の生命科学関連研究の遂行をサポートしています。



動物実験施設 ▶ 岡豊キャンパス

科学的かつ倫理面に配慮した動物実験を適正に実施するための施設です。実験動物の基礎知識や動物福祉・生命倫理に関する教育、動物実験手技の指導、そして研究支援を通じて、生命科学分野を担う人材の育成に貢献しています。



オアシス

自律学習支援センター(OASIS) ▶ 朝倉キャンパス

Open-Access Center for Self-regulated Independent Study

主に語学についての教材貸出しや自学自習を目的としたスペースで、人文社会科学部棟1階にあります。英語をはじめ様々な外国語学習や留学生との交換レッスンなど、自律的な学習を支援しています。

▶ 自習コーナー

メディアの森と並んで利用度の高い学習スペースです。センター内は無線LANが整備されています。語学学習用のCDプレイヤーを使って、発音練習などもできます。映画のDVDやDVDプレイヤーも多数あり、常時視聴が可能です。

interesting & useful!



自習コーナー

▶ マルチメディア教室

定員20名のグループ学習室には各種視聴覚機器やプロジェクターなどが設置されており、授業、IELTS対策講座やグループ学習などにも利用されています。



マルチメディア教室

▶ 個別学習室・ペア学習コーナー

パートナーシッププログラム(留学生との交換レッスン)や少人数での学習で利用できます。

語学教材は10,000点以上!

IELTS、TOEFL、TOEIC、英検などの各種検定試験対策問題集や、英語・中国語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・韓国語・日本語や日本語教育関連の教材、月刊誌などがそろっています。



活用しよう

語学学習の教材を備えた「OASIS」では、IELTS対策講座のほか、日本人学生と留学生の交流活動を支援しています。

▶ パートナーシッププログラム

外国語を学びたい日本人学生、日本語の上達を目指す留学生との間で行われている交流活動がパートナーシッププログラムです。英語⇄日本語、中国語⇄日本語など、自分の学びたい言語を話す留学生とペアになって互いの言葉を教え合います。会話が上達するにつれて、より深い考えや意見を交換することができるようになります。



▶ 学生の自発的な活動をサポート

語学に関する企画をサポートします。過去には、英語で異文化交流を行う英会話クラブや、短期のTOEIC対策講座を開催しました。まずは、お気軽にご相談ください。



次世代地域創造センター

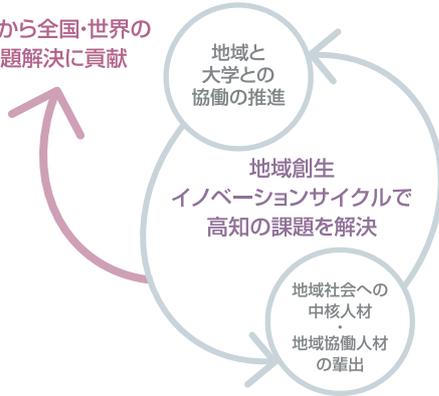
目指すのは、地域の多様な主体がお互いの価値観や考え方、行動、想いを認め合い、一緒になって新たな挑戦を続けていくことのできる社会の実現。高知大学次世代地域創造センターは、サスティナビリティ(持続可能性)とイノベーション(社会革新)をキーワードに、高知の地域・人・未来をつなぎます。



地域と大学との往還を通じて、持続的な地域課題の解決を目指す

本センターでは、県内4ヶ所に常駐している教員(UBC)や、知的財産に関わる活動に取り組む教員(UIC)などが、高知県や高知県産官学民連携センター(ココブラ)とともに、地域の課題解決や新たな価値創造に挑戦しています。

高知から全国・世界の課題解決に貢献



こちら注目

▶ 学生に、企業や地域に入って学ぶ機会を提供

例えば「地域に入って何かやってみよう」という学生に対し、コラボ考房(▶P16)と一緒に活動の支援を行っています。また、地域に常駐する教員に密着して学ぶ「UBCインターンシップ」や、企業や行政の現場を学ぶ「社長インターンシップ」「市長インターンシップ」も行っています。さらに、地域に愛着を持ち地域で貢献したい学生に対して、「地方創生推進士」(▶P86で紹介)の資格認定と支援も行っています。



希望創発センター

世の中が本当に必要としているものは何だ？ その常識、本当に間違っていないか？

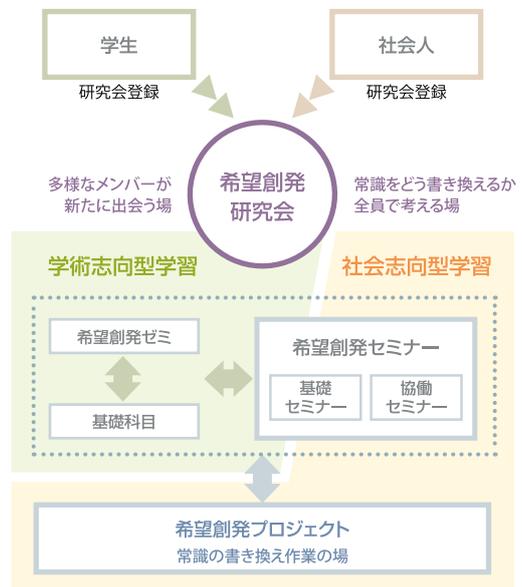


希望創発センター HP

世界は、地球環境問題や食料問題、貧困などさまざまな課題を抱えています。希望創発センターは、次世代に希望ある未来を引き継ぐために、「希望を作れる人材」の育成を目的として、2018年4月に本格始動した新しい教育研究機関です。産官学、文理、高知・東京等が協働し、社会人や企業人、学生、教員など異なった価値観を持つ人たちが集まって「希望創発研究会」を構成し、テーマに沿ってこれまで社会が作り上げてきた「常識」や「当たり前」を疑い、「問い」を立て、侃侃諤諤の議論を交わしながら物事の本質に迫ります。

自分にとって当たり前のことも、他者から見れば当たり前ではない。そこから生まれる「問い」こそが、新しい考えや新しいモノ・コトを生む、イノベーションの源泉です。人と人、人と自然のつながりを重視し、他者や自分に真剣に向き合う環境とプログラムにより、「希望」を創る力をのばします。

※学生の登録は、原則、各学部の3年生・4年生、大学院生



こちら注目

▶ 自己実像を把握し、人間力を磨く！ SBI : Society Based Internship (人間関係形成インターンシップ)

学部の1年生～3年生が対象で、3人1組で3週間の企業実習を行い、協力し合って与えられたミッションを遂行します。その目的は、職場体験ではなく、人との関わりについて学ぶこと。望ましい関係性を作るために自分はどうすべきか、自己に向き合って考え、大きな気づきを得ることができる機会です。

企業側のSV(スーパーバイザー)の支援を受けながら、目標設定、実習、振り返りなど1年間にわたって人間力に磨きをかけます。

なお、SBI履修者は、優先的に希望創発研究会への登録が認められます。



教員紹介 Faculty Members

所属の表記は令和元年5月1日現在のものです。

役員		
学長	櫻井 克年	熱帯土壌学、土壌情報解析学、土壌生態学
理事	辻田 宏	スポーツ法学、スポーツ政策論、地域スポーツ振興論、スポーツサービスマーケティング
理事	奥田 一雄	植物の細胞の形を決めるしくみを明らかにする研究
理事	本家 孝一	生体膜の由来方とはたらき・生化学/糖鎖生物学/脂質生物学
理事	受田 浩之	食品成分の分析技術の開発、健康維持成分の検索

人文社会科学部 人文社会科学科 人文科学コース		
教授	安藤 恵崇	宗教学・近現代の哲学、宗教思想、思想的方向から見た神話学、フロイト・ユングの思想
教授	池田 和夫	人間の認知過程および家族構造の認知に関する研究
教授	大槲 敦弘	戦国秦漢時代を中心とする中国古代史
教授	小幡 尚	戦没者慰霊を中心とする「戦争と地域」の史的研究
教授	杉谷 隆	環境問題を地域や自然観・倫理観の問題として考察すること
教授	津野 倫明	朝鮮出兵・大名長宗我部氏
教授	福島 尚	日本中世文学研究、古典文学における「説話」関連領域の研究
教授	藤吉 清次郎	19世紀アメリカ小説、アメリカ映像文化
教授	武藤 整司	西洋近世哲学史、倫理学、生涯学習論を研究中
特任シニアプロフェッサー	加藤 勉	英語の複数構文と総称表現を中心とした、言語の意味論的研究
特任シニアプロフェッサー	角 忍	カント哲学の本質を最高善の問題という観点から解明する
特任シニアプロフェッサー	吉尾 寛	明清期の民衆運動と地域社会、台湾における黒潮認知の歴史、中国・台湾近現代史と高知県との関わり
准教授	川本 真浩	イギリス、イギリス帝国、コモンウェルス(英連邦)の近現代史
准教授	宗 洋	イギリス小説、映像メディア
准教授	田鎖 数馬	谷崎潤一郎研究、芥川龍之介研究、大正期芸文思潮研究
准教授	西尾 美穂	言語の構文と意味の関係
准教授	日比野 桂	日常生活における感情喚起とその後の時間経過に伴う変化の過程
講師	大塚 誠也	平安文学、特に「源氏物語」成立直後の「更級日記」等の作品群
講師	北崎 勇帆	日本語の文法の歴史、特に命令表現や条件表現と変化の一般的傾向
講師	田中 健作	農山漁村や高齢者の交通・移動問題に関する地理学的研究
講師	仲嶺 真	社会と対人関係(特に恋愛関係)に関する心理学
講師	宮里 修	縄文・弥生時代の考古学、中世城郭の調査・研究
講師	渡邊 ひとみ	青年および成人期女性のアイデンティティ発達の研究

人文社会科学部 人文社会科学科 国際社会コース		
教授	岩佐 和幸	グローバル化とアジア地域の構造変動に関する政治経済学的研究
教授	小澤 萬記	進化論の日本への影響、比較日本文化論
教授	斎藤 昌人	19世紀末から20世紀初頭にかけてのウィーン
教授	周 雲喬	異文化間のコミュニケーション、比較文化、中国語学
教授	高橋 俊	近現代中国の社会・文化研究
教授	遠山 茂樹	社会ネットワーク論、デジタルメディア論、コミュニティ論
教授	山下 興作	大衆文化論、演劇論、アート・マネジメント
教授	吉門 牧雄	イギリス言語文化、特にロバート・ブラウニングの英詩研究
教授	Darren Lingley	異文化間コミュニケーション、英語教授法
准教授	今井 典子	第二言語習得研究より考察する英語教授法および学習法、英語教育
准教授	岩佐 光広	医療に関する人類的・倫理学的研究、魚梁瀬森林鉄道と暮らしの諸相の研究
准教授	古閑 恭子	アカン語、ンゼマ語(ガーナ)の記述研究、アフリカ言語文化の研究
准教授	佐野 健太郎	輸出主導型から内需主導型への経済構造転換における日中比較
准教授	佐野 由紀子	現代日本語の構文、日本語教育
准教授	塩原 俊彦	ロシアをめぐる諸問題
准教授	関 良子	19世紀英文学・文化の研究、特に当時の中世主義について
准教授	中西 三紀	ラテンアメリカ地域の社会・経済構造の変動に関する研究
准教授	森 直人	十八世紀ブリテンの政治・経済思想についての研究
講師	佐々木昌太郎	人の認知能力に基づいた言葉の現象の研究
講師	土屋 京子	18世紀後半から19世紀初頭におけるドイツ語圏の思想や文学
講師	Sean Burgoine	音声学、応用言語学
講師	Stefan Hug	ドイツ語の文法、文法の教え方、外来語
講師	Marcus Otlowski	英作文教授法、英語教授法

人文社会科学部 人文社会科学科 社会科学コース		
教授	飯岡 芳明	北東アジアの条件不利地域における資源管理の解析と制度設計
教授	伊丹 清	金融関係の会計についての研究
教授	緒方 賢一	農山漁村と農林水産法制に関する法社会学的研究
教授	新保 輝幸	黒潮圏の地域環境資源の持続可能な利用に関する経済学的研究
教授	中川 香代	人事労務管理を中心とした企業経営管理の日英比較研究
教授	山内 高太郎	国際会計基準、米国会計基準における現代会計理論の研究
特任シニアプロフェッサー	横川 和博	日本独占禁止法制・英国独占禁止法制・国際経済法
准教授	稲田 朗子	医事刑法
准教授	岡田 健一郎	憲法
准教授	切詰 和雅	商取引における外観信頼者保護の制度に関する研究
准教授	霜田 博史	地方財政制度に関する日独比較研究
准教授	肖 紅燕	日本と中国の家族と社会研究、田園回帰と移住
准教授	田中 康一	企業の本社等の立地メカニズムに関する研究
准教授	西島 文香	社会保障・社会福祉の提供体制と政策課題に関する研究
講師	赤間 聡	科学技術の発展およびリスク(原発事故等)とのつきあい方
講師	雨宮 祐樹	金融契約及び企業金融に関する研究
講師	新井 泰弘	知的財産権制度の経済学的研究

講師	小川 寛貴	選挙制度が政党や有権者に与える影響の研究、議会研究
講師	野崎 華世	女性就業および子どもの発達に関する研究
講師	深山 誠也	高齢者介護組織における競争戦略と組織特性に関する研究
講師	堀 美菜	漁村社会論、水産資源と地域住民のかかりに関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 幼児教育コース		
教授	玉瀬 友美	幼児の物語文理解に関する教育心理学的研究
准教授	川俣 美砂子	保育者のキャリア形成に関する研究、地域の子育て支援に関する研究
講師	三ツ石 行宏	福祉教育の理論・歴史に関する研究、社会的養護に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 教育科学コース		
教授	岡谷 英明	ドイツの教育人間学に関する研究
准教授	加藤 誠之	思春期問題(主に不登校・非行)に関する現象学―実存主義的理解
講師	野中 陽一郎	教授学習過程に関する教育心理学的研究
講師	福住 紀明	学級経営におけるソーシャルスキルの指導プロセスに関する研究
講師	横山 卓	子どもの発達社会学、地域社会と教育、青少年の逸脱行動
助教	石嶺 ちづる	アメリカにおける学校から職業への移行に関する支援の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 国語教育コース		
教授	玉木 尚之	中国古代における音楽についての考え方を理解する研究、「論語」の平易な解釈方法をさぐる研究
准教授	岩城 裕之	日本語方言学、ことばやコミュニケーション教育
准教授	武久 康高	平安時代を中心とした物語文学、および古典の教育に関する研究
准教授	吉田 茂樹	国語科教育における実践的な授業研究

教育学部 学校教育教員養成課程 社会科教育コース		
教授	遠藤 隆俊	中国の歴史、宋代以降の家族と宗族、東アジア交流史
教授	原崎 道彦	西洋哲学史(ヘーゲル)、快樂論、リラクゼーション論、ダイエット論
教授	藤田 詠司	意思決定能力育成のための社会科の学習内容構成
教授	藤本 富一	国籍について、外国人の人權について
准教授	山崎 聡	経済思想(ケンブリッジ学派)の研究
講師	佐竹 泰和	情報社会における生活環境および経済活動の地域差に関する研究
講師	望月 良親	日本史、特に近世都市史、地域史

教育学部 学校教育教員養成課程 数学教育コース		
教授	佐藤 淳郎	可換代数学、とくにネーター環の拡大についての研究
教授	山口 俊博	幾何学、トポロジーの研究
講師	加納 理成	微分方程式とその周辺の領域
講師	服部 裕一郎	数学教育におけるクリティカルシンキングを育成する授業の実証的研究
助教	袴田 綾斗	数学教育における教員養成・教員研修に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 理科教育コース・科学技術教育コース		
教授	赤松 直	鉱物とその融解物の分子動力学シミュレーション、Web教材開発
教授	蒲生 啓司	環境および生体中の微量生理活性物質の化学分析に関する研究
教授	原田 哲夫	早寝、早起き、朝ご飯で3つお得の科学的根拠。アメンボ類の研究
教授	普喜 満生	宇宙放射線に関するコンピュータシミュレーション
准教授	伊谷 行	海洋生物の共生生態学、干潟ベントスの生態学、環境教育
講師	草場 実	中等理科授業における学習者の認知と相互作用に関する実践的研究
講師	中城 満	理科における児童生徒の認知過程の研究、学び合いの効果的研究
講師	西脇 芳典	科学捜査のための化学研究、科学捜査技術に応用した理科教材開発

教育学部 学校教育教員養成課程 英語教育コース		
教授	多良 静也	小学校外国語活動・外国語における課題解決型言語活動の研究
講師	長谷川 雅世	チャールズ・ディケンズの小説を中心とした19世紀ヴィクトリア朝のイギリス小説の研究
助教	佐藤 亮輔	生成文法理論による英語と日本語の語法・文法・構文の研究

教育学部 学校教育教員養成課程 音楽教育コース		
教授	小原 浄二	J.S.バッハを中心とするバロック期の声楽作品の研究
教授	宮田 信司	ピアノ演奏法、指導法についてロマン派作品を中心に研究
准教授	高橋 美樹	沖繩のポピュラー音楽に関する研究、レコード産業論
准教授	前田 克治	今日の作曲、および芸術表現を技法的、美学的側面から研究
講師	梶原 彰人	トロンボーンを中心とした管楽器の奏法と、独奏曲、アンサンブル作品の研究
講師	金 奎道	学校音楽教育、教育実践学、音楽教育メソッド(オルフ)に関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 美術教育コース		
教授	金子 宣正	日本とドイツの美術教育の理論と実践に関する研究
教授	土井原 崇浩	油彩画による具象表現の研究と古典インク(没食子インク)の研究
教授	吉光 誠之	木工芸における、指物、挽物、割物の技法および表現に関する研究
准教授	中村 るい	古代ギリシャの造形表現と美意識の研究
講師	阿部 鉄太郎	塑造による具象彫刻の研究
講師	野角 孝一	日本画における心象表現の追求、及び材料研究

教育学部 学校教育教員養成課程 保健体育教育コース		
教授	矢野 宏光	スポーツ・身体運動が心理的側面にどのような影響を与えるのか
特任シニアプロフェッサー	駒井 説夫	全身持久力に関する研究、身体運動と健康・体力について
准教授	宮本 隆信	体育授業研究、日本と韓国の体育授業比較研究
講師	常行 泰子	運動・スポーツと社会に関する実証的研究

講師	幸 篤武	体力科学、生活習慣病の予防に関する研究
教育学部 学校教育教員養成課程 技術教育コース・科学技術教育コース		
教授	道法 浩孝	ソフトコンピューティング、電気・電子及び計測・制御に関する教育
講師	北川 晃	フォトニック結晶における電磁場の伝搬に関する理論的研究

教育学部 学校教育教員養成課程 家庭科教育コース		
教授	小島 郷子	家庭科教育および消費者教育に関する理論的・実証的研究
准教授	森田 美佐	仕事と家庭生活におけるジェンダー平等に向けた研究
講師	磯部 香	東アジアの保育と家族・ジェンダーに関する研究

教育学部 学校教育教員養成課程 特別支援教育コース		
教授	喜多尾 哲	知的障害児における学習特性の理解と指導法に関する研究
教授	寺田 信一	脳発達障害の生理心理学的機能評価法・指導法の開発と実践研究
助教	松田 弥花	スウェーデンの特別な支援を必要とする人びとに対する教育の研究

教職実践高度化専攻		
教授	岡田 倫代	対人関係・コミュニケーションとメンタルヘルスに関する研究
教授	楠瀬 弘哲	メタ認知能力の育成を図る理科問題解決学習指導法の開発
教授	是永 かな子	北欧における特別ニーズ教育システムと実践についての研究
教授	田中 元康	小学校の授業実践に関する研究、国語科、複式学級の指導法
教授	中野 俊幸	教科授業論、特に算数・数学学習指導法、数学教材開発
教授	永野 隆史	学校経営マネジメント及び地方教育行政機構に関する研究
教授	柳林 信彦	アメリカ教育改革政策に関する研究、地方教育行政機構に関する研究
准教授	古口 高志	ストレスと心身の健康との関連、心身症への認知行動療法
准教授	柴 英里	ヘルシーエイジングを視野に入れた学級力向上に関する研究
准教授	野村 幸代	授業の発話プロセスに基づく授業改善と授業開発
准教授	松本 秀彦	特別支援教育、発達障害者支援、学習困難児者に対する学習支援
准教授	森 有希	道徳教育及び道徳科の指導に関する研究
講師	宇川 浩之	特別支援教育の指導と評価、進路指導に関する実践的研究
講師	古市 直樹	協同学習に関する科学的・哲学的研究
講師	本間 希久恵	特別支援教育の指導と評価に関する実践的研究
特任准教授	大西 雅人	人権教育・生徒指導とその関連性に関する研究

理工学部 数学物理学科 数学コース		
教授	小松 和志	準周期タイリング、分子の立体構造の配置空間
教授	野村 昇	数理統計学における数値計算法とその応用
教授	福岡 慶明	代数幾何学、特に偏極多様体の不変量による分類とその応用
教授	諸澤 俊介	複素力学系、クライン群論、フラクタル幾何学
准教授	小野寺 栄治	偏微分方程式、幾何解析
准教授	土基 善文	非可換代数幾何学、非可換環論
准教授	三角 淳	相転移を含む確率モデル

理工学部 数学物理学科 物理科学コース		
教授	飯田 圭	高密度物質の理論
教授	津江 保彦	強い相互作用する粒子集団が示す物性の理論的研究
教授	中村 亨	極高エネルギー宇宙線、および低周波自然電磁波の研究
教授	西岡 孝	極低温・高圧下における希土類化合物の磁性研究
准教授	加藤 治一	遷移金属酸化物など強相関電子系の合成およびNMR測定
准教授	島内 理恵	燃料電池など電力用電池に必要な機能性セラミックスの開発と物性
准教授	仲野 英司	理論物理学:QCD物性、相転移、ソリトン、冷却原子 など
講師	藤代 史	エネルギー・環境関連の機能性セラミックスの合成及び物性評価

理工学部 情報科学科		
教授	岡本 竜	知識工学と学習科学
教授	高田 直樹	電子ホログラフ、高性能計算、GPGPU、計算電磁工学
教授	豊永 昌彦	計算機による組合せ最適化手法(回路設計・IoT設計・ニューラルネットワーク)
教授	本田 理恵	データマイニング、機械学習、画像認識、惑星情報学
准教授	伊藤 宗彦	層型空間の開き、多角形の位相的性質
准教授	老川 稔	計算機アーキテクチャ、半導体集積回路工学、電子ホログラフ
准教授	塩田 研一	暗号、計算代数、実験整数論、グラフ理論、符号理論
准教授	三好 康夫	学習支援環境デザイン、Webインテリジェンス
准教授	森 雄一郎	ファジィ工学、バイオメトリクス認証、聴覚障害者支援技術
講師	鈴木 一弘	離散数学(グラフ理論、離散幾何学)とその応用研究

理工学部 生物科学科		
教授	遠藤 広光	魚類の分類・系統学に関する研究
教授	近藤 康生	二枚貝類を中心とした古生物の進化と絶滅
教授	佐々木 邦夫	魚類の形態学
教授	鈴木 知彦	グアニジニキナーゼ及びヘモグロビンの構造、機能および進化・比較生化学
教授	奈良 正和	地球環境変動下の古環境ならびに古生態系の復元に関する研究
教授	松井 透	コケ植物の分類、系統、生態、形態、繁殖季節等の研究
教授	松岡 達臣	原生动物の環境応答と休眠シスト形成の分子機構
准教授	有川 幹彦	原動物に見られる特異な細胞機能の分子機構解明
准教授	岡本 達哉	地衣学
准教授	関田 諭子	渦鞭毛藻の細胞外被の形態構築機構

准教授	峯 一朗	藻類の細胞形態形成と細胞壁の微細構造と性質
准教授	三宅 尚	植物化石の分析に基づいた東アジアの第四紀植生史の解明
講師	宇田 幸司	酵素の構造と機能の進化に関する研究
講師	加藤 元海	山・川・海の生き物を野外調査や論理的思考をとおして解明
講師	比嘉 基紀	植物の分布と環境要因との関連性およびその変化の予測

理工学部 化学生命理工学科		
教授	和泉 雅之	生体分子(タンパク質、糖鎖)の有機合成とその生理活性の研究
教授	市川 善康	天然物化学、生物有機化学、有機合成化学に関する研究
教授	杉山 成	生命機能を司る脂溶性リガンドの認識機構の解明とその応用研究
教授	藤原 滋樹	動物の胚発生、再生、無性生殖を制御する遺伝子の研究
教授	森 勝伸	水や土のイオンの分析方法と廃材を用いる環境材料の開発
教授	米村 俊昭	生体関連無機-有機ハイブリッド化合物の開発と作用機序の解明
教授	波邊 茂	有機-無機複合ナノ粒子を利用した超高感度バイオセンサーの開発
准教授	梶芳 浩二	水熱法および電気化学法による機能性無機材料の合成と物性評価
准教授	砂長 毅	群体ホヤの幹細胞システムを制御する遺伝子の研究
准教授	中野 啓二	有機金属錯体合成、触媒反応の開発、機能性有機化合物の開発
准教授	湯浅 創	酵素の生化学と分子進化
講師	恩田 歩武	触媒化学、水熱化学、バイオマス資源から有用な有機化合物を合成
講師	小崎 大輔	新しい分析法の開発とそれをを用いた国内外の環境モニタリング
講師	永野 高志	鉄やハロゲンの性質を活用する触媒的有機分子変換反応の開発
講師	波多野 慎悟	機能性高分子材料の合成と分析・環境・医療分野への応用
講師	松本 健司	天然物から着想した新規機能性金属錯体の開発
助教	今村 和也	太陽光を利用する物質変換反応のための、触媒・光触媒の開発
助教	越智 里香	糖やアミノ酸を分子骨格として用いた機能性超分子材料の開発
助教	仁子 陽輔	超分子蛍光プローブの開発とその生命科学への応用
助教	山崎 朋人	微細藻類の遺伝子発現制御機構解明とその知見を応用した物質生産

理工学部 地球環境防災学科		
教授	佐々 浩司	レーダー観測と模擬実験による竜巻等突風の発生メカニズムの解明
教授	笹原 克夫	地すべり及び斜面崩壊発生メカニズムの解明とその予測手法
教授	田部井 隆雄	GPSによる地殻変動計測、地殻変動のシミュレーション
教授	野田 稔	災害に強い構造物の実現と極端気象の工学モデルの構築
教授	橋本 善孝	構造地質学・沈み込みプレート境界地震発生帯物質科学
教授	原 忠	液状化などの地盤災害と地震防災・減災に関する工学的な研究
教授	村上 英記	地震火山活動に伴う電磁気現象の発生メカニズムの研究、月内部構造探査のための手法研究
准教授	大久保 慎人	地震観測記録を用いた地震発生機構と地球内部構造の研究、地震学、地球物理学
准教授	川畑 博	野外調査と岩石の観察・分析を通して、マグマの一生を読み解く研究
准教授	張 浩	流域における水・土砂災害および環境保全に関する研究
准教授	中川 昌治	四国付加体の鉱物学鉱床学、粘土鉱物の鉱物学鉱床学
准教授	松岡 裕美	古地震の研究(海底活断層の研究、津波堆積物の研究)
准教授	山田 伸之	地震動(地盤や構造物の揺れ)および防災教育に関する研究
講師	坂本 淳	大規模災害時の道路ネットワーク復旧計画と被害軽減予測
講師	藤内 智士	野外調査を中心とした地殻変動に関する研究
講師	野口 昌宏	木造ビル建築の開発や木造住宅の地震防災に関する研究
講師	長谷川 精	堆積学・地球化学分析から過去の地球の気候変動や惑星環境の復元
講師	村田 文絵	パングラデジュに洪水をもたらす降水システムの研究、四国に大雨をもたらす降水システムの研究

理学部 理学科 数学コース		
特任准教授	下村 克己	安定ホモトピー論、球面のホモトピー群
特任准教授	逸見 豊	代数的および組み合わせ論的方法を用いたボロゾーの研究

理学部 理学科 物理科学コース		
助教	斎藤 卓也	格子量子色力学理論を用いたハドロン物理の研究

理学部 理学科/応用理学科 化学コース/応用化学コース		
教授	藤山 亮治	有機π電子系の置換効果解析

医学部 医学科 解剖学		
教授	由利 和也	神経情報伝達系とステロイドホルモン
准教授	大迫 洋治	心の痛みが身体の痛みを増強するメカニズム
助教	田中 健二郎	情動や社会性の発達メカニズム
助教	日高 千晴	社会性行動における脳内膜タンパク質の役割の探求
助教	Vadym Zinchuk	蛍光標識によるタンパク質の相互関係の定量化
助教	高橋 弘	精神・神経疾患の病態解明と創薬研究

医学部 医学科 病理学		
教授	村上 一郎	ランゲルハンス細胞組織球症の研究、病理診断学、臨床検査医学
教授	降幡 睦夫	ヒト腫瘍におけるがん関連遺伝子発現異常と腫瘍動態
准教授	倉林 睦	VHL遺伝子と糖代謝/副交感神経系と糖代謝
准教授	長沼 誠二	消化器がんの浸潤転移のメカニズム
助教	井口 みつこ	人体病理
助教	中嶋 絢子	人体病理
助教	田中 千遥	人体病理
助教	岩下 和花	人体病理

医学部	医学科	生理学(統合生理学)
教授	山口 正洋	匂いが情動を誘導する機構、大人の脳のニューロン新生、食嗜好の神経機構
准教授	谷口 睦男	香り・フェロモンを感じる脳の仕組み
助教	越智 経浩	脂肪肝(非アルコール性脂肪性肝疾患)と糖代謝
助教	村田 芳博	味を感じる仕組みの生理学、匂い記憶の脳内メカニズム

医学部	医学科	生理学(循環制御学)
教授	佐藤 隆幸	医療機器の開発と事業化支援
准教授	池田 哲朗	心不全時の自律神経系の制御機構
助教	市川 厚	生体循環における呼吸機構の相互作用
助教	戸高 寛	自律神経による心筋保護作用の機序解明と応用

医学部	医学科	生化学
講師	太田 信哉	染色体(遺伝子)が均等に次世代に分配される仕組み
助教	宮原 馨	糖脂質の細胞内輸送とその制御
助教	久下 英明	神経シナプスがつけられる仕組みを明らかにする研究

医学部	医学科	遺伝子機能解析学
教授	麻生 倂二郎	アルツハイマー病に対する新規治療薬の創出
助教	安川 孝史	新規認知症治療薬の創薬に向けた基盤研究

医学部	医学科	生体分子構造学
教授	関 安孝	天然変性タンパク質の構造と機能発現メカニズムの解明

医学部	医学科	薬理学
教授	齊藤 源頭	下部尿路・性生殖器の薬理学
准教授	清水 孝洋	緊張するとなぜイレが近くなる? 排尿の脳内メカニズムを探る
助教	東 洋一郎	グリア細胞は脳機能の脇役?それとも主役? ~脳卒中後遺症の克服をめざして~
助教	清水 翔吾	脳が制御する排尿機能の解明

医学部	医学科	微生物学
教授	大畑 雅典	微生物群集の解析と疾患との関係、微生物感染による発がん機序
助教	橋田 裕美子	皮膚微生物叢と疾患との関係、微生物感染と発がんに関する研究
助教	樋口 智紀	がんの個別化医療につながる新しい分子標的を探索する研究

医学部	医学科	免疫学
教授	宇高 恵子	T細胞認識・がん免疫
准教授	清水 健之	リンパ球による生体防御、炎症、腫瘍免疫
助教	小松 利広	T細胞の標的組織への浸潤機構

医学部	医学科	法医学
教授	古宮 淳一	外傷病理病態、法アルコール学、法医学予防医学的研究
助教	中西 祥徳	法医学分子生物学(個人識別、物体検査、病理病態解析)
助教	西村 拡起	法中毒学、法医学予防医学的研究

医学部	医学科	医療学(環境医学)
教授	菅沼 成文	産業医学、環境医学、国際保健、特に職業性呼吸器病
特任准教授	下嶽 ユキ	カンボジア、クワイチエ州コチュレ島における甲状腺に関する研究
助教	Naji Abderrahim	同定と高免疫療法の開発、細胞死防止の為の間葉系幹細胞の機能解明
助教	柴徳 勝光	神経分化、肺疾患におけるエピジェネティクス解析
特任助教	安光ラヴェル香保子	出生コホート調査・発達障害
特任助教	満田 直美	子どもの健康と環境に関する全国調査(エコクル調査)

医学部	医学科	医療学(公衆衛生学)
教授	安田 誠史	高齢者の介護予防、日本人での生活習慣病予防
講師	宮野 伊知郎	医療ICT政策と地域包括ケアシステム

医学部	医学科	医療学(医療管理学)
教授	小林 道也	消化器癌に対する内視鏡外科手術の開発・教育と癌化学療法の臨床試験
講師	岡本 健	大腸癌に対する腹腔鏡手術と化学療法

医学部	医学科	家庭医療学(寄附講座)
寄附講座教授	阿波谷 敏英	地域基盤型医学教育、地域包括ケアシステム、へき地医療、在宅医療
准教授	松下 雅英	高齢者におけるインフルエンザワクチン接種後の効果に関する研究
特任助教	福留 恵子	プライマリ・ケアの現場における指導医評価(360度評価)の開発

医学部	医学科	児童青年期精神医学
特任教授	高橋 秀俊	発達障害の感覚の問題、学校メンタルヘルス、発達障害の就労支援、神経生理学
特任教授	須賀 楓介	うつ病・心的外傷後ストレス障害(PTSD)の病態解明、高知県における自殺予防対策

医学部	医学科	高知馬路村ゆず健康講座(共同研究講座)
特任助教	宮本 美緒	食品の機能性に関する栄養学解析

医学部	医学科	医学教育創造・推進室
教授	高田 淳	高齢者の心血管疾患に関する研究
准教授	藤田 博一	医学教育、統合失調症、気分障害の心理教育

医学部	医学科	医学教育創造・推進室 体育
講師	野田 智洋	学習者が運動経過を把握する能力に関する研究

医学部	医学科	消化器内科学・内科(消化器)
准教授	小野 正文	非アルコール性脂肪性肝疾患の疫学と治療
講師	耕崎 拓大	胆膵疾患の先進治療
講師	山田 高義	消化管の先進医療
助教	野崎 靖子	肝がんの診断と治療
助教	廣瀬 享	肝硬変の診断と治療
助教	小笠原 光成	非アルコール性脂肪性肝疾患の病態と診断
助教	木岐 淳	悪性胆膵疾患の治療
特任助教	吉岡 玲子	胆膵領域における診断と治療

医学部	医学科	内分泌代謝・腎臓内科学・内科(内分泌代謝・腎臓)
教授	寺田 典生	腎臓病などの生活習慣病の病態と再生医学を含めた新規治療法の研究
教授	藤本 新平	糖尿病の病態解明、新規治療に関する研究
准教授	西山 充	食欲調節機構の解明と新規肥満症治療法の研究
講師	堀野 太郎	腎臓病診断のための新規バイオマーカーの開発
講師	田口 崇文	内分泌・甲状腺疾患の画像診断研究と病態解析
助教	谷口 義典	難治性リウマチ性疾患の新規画像診断法と治療法の開発
助教	島村 芳子	慢性腎臓病における新規バイオマーカーの研究
助教	中山 修一	肥満患者における食欲調節の解明
助教	平野 世紀	糖尿病における膵β細胞不全および再生の機序の解明
助教	船越 生吾	糖尿病における骨代謝について
助教	松本 竜季	急性腎障害における新規バイオマーカーの研究
特任助教	近江 訓子	非アルコール性肝炎と糖尿病の関連について
特任助教	天野 絵梨	膵β細胞のインスリン分泌障害機構の解明

医学部	医学科	血液・呼吸器内科学・内科(血液・呼吸器)
教授	横山 彰仁	呼吸器疾患およびアレルギー疾患の病態、診断および治療
准教授	窪田 哲也	肺癌の治療
講師	砥谷 和人	血液疾患の治療
講師	大西 広志	喘息、慢性閉塞性肺疾患および間質性肺炎の病態、診断および治療
助教	酒井 瑞	呼吸器疾患の病態・治療
助教	谷口 亜裕子	血液疾患の治療
助教	高松 和史	呼吸器疾患の病態・診断・治療
助教	穴吹 和貴	呼吸器疾患の病態・診断・治療
助教	渡部 雅子	呼吸器疾患の病態・診断・治療

医学部	医学科	老年病・循環器内科学・内科(老年病・循環器)
教授	北岡 裕章	虚血性心疾患、心筋症、心不全、老年医学
准教授	山崎 直仁	心臓弁膜症、心臓病の身体所見(心音、心機図)、肺高血圧症
講師	久保 亨	心筋症・心不全の病態形成機構の究明と新たな治療法の開発
助教	馬場 裕一	心筋症・心不全、肺高血圧症、心サルコイドーシス
助教	弘田 隆省	不整脈疾患
助教	野口 達哉	循環器救急・血管内カテーテル治療全般(急性心筋梗塞・狭心症・末梢動脈疾患・静脈血栓塞栓症)
助教	宮川 和也	虚血性心疾患・BLS/ICLS/JMECC(心臓蘇生講習)
特任助教	濱田 知幸	高齢心不全患者の包括的医療管理

医学部	医学科	脳神経内科学・内科(脳神経)
教授	古谷 博和	認知症、難治性神経・筋疾患の研究と治療法の開発
講師	大崎 康史	パーキンソン病・類縁疾患
助教	森田 ゆかり	パーキンソン病・類縁疾患

医学部	医学科	臨床免疫学
教授	仲 哲治	がん・自己免疫病・炎症性疾患における診断薬・創薬開発
准教授	藤本 穰	免疫シグナル異常と疾患・臨床免疫学
特任准教授	世良田 聡	疾患関連蛋白解析による新規バイオマーカーおよび新規抗体医薬開発への応用
特任助教	平松 宏祐	がん増殖における脂質代謝の役割解明
特任助教	大河原 知治	がんサイトカインシグナル伝達

医学部	医学科	小児思春期医学・小児科
教授	藤枝 幹也	免疫抑制状態と感染症、小児脳性麻痺など脳障害に対する自家誘導性単核球細胞輸血
准教授	久川 浩章	小児癌に対する免疫療法、小児血液腫瘍
講師	松下 憲司	合併症妊娠から出生した新生児の成長と発達
講師	中山 智孝	子どもの心臓病(先天性心疾患、川崎病・肺高血圧症など)の診断・治療
助教	山本 雅樹	先天性心疾患および不整脈、小児救急、学校心臓検診
助教	大石 拓	アレルギー疾患の患者及び学校保育所等への教育方法について、気管支喘息の発作誘発因子についての研究
助教	石原 正行	小児腎疾患について

特任助教 菊地 広朗 小児血液腫瘍
 特任助教 三浦 紀子 超低出生体重児の循環管理

医学部	医学科	神経精神科学・精神科
教授	數井 裕光	認知症の包括的治療、高次脳機能障害、神経画像、精神疾患治療に対するICT活用
講師	上村 直人	認知症と自動車運転
助教	掛田 恭子	医学教育学、リエゾン精神医学、精神腫瘍学、緩和医療
助教	藤戸 良子	老年精神医学に関する治療、研究
助教	赤松 正規	一般精神医学
特任助教	大崎 千栄	統合失調症の治療、慢性期精神疾患治療、生活支援

医学部	医学科	皮膚科学・皮膚科
教授	佐野 栄紀	乾癬、皮膚癌、膠原病、アトピー性皮膚炎
准教授	中島 喜美子	乾癬、アトピー性皮膚炎における免疫変調の研究
講師	中島 英貴	メルケル細胞癌のポリオマウイルス
助教	大湖 健太郎	乾癬、掌蹠膿疱症におけるケモカインの動態、アレルギー性皮膚疾患
助教	高石 樹朗	乾癬発症に関わる分子機構の解明、上皮細胞の生物学
助教	山本 真有子	関節症性乾癬
助教	寺石 美香	真皮結合組織疾患、美容皮膚科
特任助教	青木 奈津子	アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹

医学部	医学科	放射線医学・放射線科
教授	山上 卓士	インターベンショナルラジオロジー、画像診断
准教授	南口 博紀	インターベンショナルラジオロジー(画像下治療)(特に門脈、静脈系)や画像診断に関する研究
講師	村田 和子	PETおよびMRIを用いた画像診断に関する研究
特任講師	小林 加奈	各種癌治療における低侵襲画像誘導放射線治療の開発
助教	岩佐 瞳	画像診断一般、核医学
助教	田所 導子	心臓CT、心臓MRI
助教	山西 伴明	インターベンショナルラジオロジー、画像診断
助教	宮武 加苗	CT・MRI診断学および核医学診断における研究

医学部	医学科	外科学(外科1)・外科(一)
教授	花崎 和弘	肝胆膵癌の新規治療、人工膵臓研究、漢方の薬物動態研究、光線医療
特任教授	大島 雅之	胆道閉鎖症早期発見、カテーテル感染、新生児・小児内視鏡手術
准教授	杉本 健樹	乳癌治療、遺伝性腫瘍、マンモグラフィ遠隔診断、蛍光センサネルリンパ節生検
講師	駄場中 研	乳癌、一般外科、骨盤機能(便秘)治療
講師	並川 努	胃・小腸・大腸、消化器腹腔鏡手術、癌化学療法
特任講師	前田 広道	大腸癌リンパ節転移に関する研究、直腸癌術後のQOL改善に関する研究
助教	沖 豊和	乳腺・内分泌、造影超音波の乳腺への応用
助教	上村 直	消化器外科/肝胆膵外科/周術期管理
助教	北川 博之	食道外科、食道癌の胸腔鏡手術、蛍光イメージングを用いた手術の工夫、周術期管理
助教	坂本 浩一	小児外科、新生児外科
助教	辻井 茂宏	消化器外科/学生・研修医の教育について
特任助教	宗景 匡哉	肝胆膵外科、消化器外科、人工膵臓研究、周術期管理、漢方の周術期応用
特任助教	小河 真帆	乳腺、内分泌、遺伝性腫瘍・卵巣癌

医学部	医学科	外科学(外科2)・外科(二)
教授	渡橋 和政	心臓手術の死角を減らし安全性と確実性を高める技術の開発
准教授	穴山 貴嗣	低侵襲手術を支援する新規イメージング技術の開発、抗血栓感受性試験の臨床応用
講師	吉田 行貴	頭頸部癌再建
助教	弘瀬 伸行	No-touch saphenous vein graftの長期開存に寄与する因子の解明および内視鏡的採取法の開発
助教	岡田 浩晋	肺癌の転移リンパ節におけるバイオマーカー検索
助教	木原 一樹	心臓血管外科手術における低侵襲手術の検討、人工心臓使用開心術におけるDeAirの検討
助教	近藤 庸夫	運動脈エコーを用いた術中脳血流の評価
助教	山本 麻梨乃	蛍光で小さながんを光らせて切除する
助教	宮崎 涼平	低侵襲呼吸器外科手術・摘出癌細胞の三次元培養による抗腫瘍薬の効果予測の開発
特任助教	宮下 浩平	新しい心筋保護カニューレの開発
特任助教	矢野 晶子	足病変における下肢救済へ向けた治療戦略の確立

医学部	医学科	麻酔科学・集中治療医学・麻酔科
教授	横山 正尚	疼痛の機序、術後認知機能、周術期管理、集中治療、ヘンククリニック、局所麻酔薬
准教授	河野 崇	周術期に関連した疼痛、代謝、循環生理学に関する研究
講師	北岡 智子	緩和ケアにおけるがん性疼痛に関する研究
助教	青山 文	術後認知機能障害とせん妄の病態機序解明および予防戦略に関する研究
特任助教	勝又 祥文	術後認知機能障害の病態機序解明および予防戦略
特任助教	北村 園恵	がん性疼痛に関する研究

医学部	医学科	産科婦人科学・産科婦人科
教授	前田 長正	子宮内膜症の謎に迫ろう、臍帯血を用いた脳性麻痺治療と再生医療
助教	谷口 佳代	子宮内膜症のメカニズムと薬物療法
助教	松島 幸生	臍帯血幹細胞を用いた脳性麻痺治療および再生医療、周産期医療
助教	都築 たまみ	生殖内分泌
助教	渡邊 理史	小児・周産期災害医療、医療政策に関する研究
特任助教	山本 横平	生殖内分泌、子宮内膜症のメカニズムとその治療法

医学部	医学科	整形外科学・整形外科
教授	池内 昌彦	関節・スポーツ関連疾患の診療および関節痛の基礎研究
准教授	武政 龍一	脊椎脊髄病、骨粗鬆症、医用人工材料、脊柱変形、脊椎スポーツ障害、脊椎低侵襲手術
講師	岡上 裕介	人工関節、関節バイオメカニクス
助教	喜安 克仁	脊椎脊髄病、骨粗鬆症の臨床研究、手術
特任助教	上羽 宏明	手・上肢の疾患とその治療
助教	泉 仁	肩、肘、スポーツ、運動器の痛み
助教	南場 寛文	骨粗鬆症、足の外科
助教	阿漕 孝治	膝、スポーツ、人工関節

医学部	医学科	眼科学・眼科
教授	福島 敦樹	眼炎症疾患発症の診断・治療法の開発
准教授	福田 憲	眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発
講師	角 環	角膜結膜疾患、涙道疾患、眼表面再建手術
助教	松下 恵理子	網膜硝子体疾患、加齢黄斑変性
助教	西内 貴史	網膜硝子体疾患、網膜硝子体手術
助教	中平 麻美	緑内障、緑内障手術
助教	三浦 悠作	眼科手術、網膜硝子体手術、緑内障手術
特任助教	岸本 達真	眼アレルギー疾患及び眼感染症に対する新しい治療法の開発
特任助教	石田 わか	眼炎症疾患発症機序の解析と新しい治療の開発

医学部	医学科	耳鼻咽喉科学・耳鼻咽喉科・頭頸部外科
教授	兵頭 政光	発声および嚥下の機能解析と治療、嚥下機能の客観的評価基準作成
准教授	小林 泰輔	中耳・内耳疾患の病態解析、中耳疾患に対する内視鏡手術
講師	小森 正博	中耳の慢性炎症の病態解明、睡眠時呼吸障害
助教	弘瀬 かほり	痙攣性発声障害
助教	松本 宗一	顔面神経麻痺後遺症に対する治療
助教	青井 二郎	頭頸部腫瘍の診断と治療
助教	伊藤 広明	めまいの基礎的臨床的研究
助教	長尾 明日香	音声障害の病態評価と治療、高速度カメラによる声帯振動の解析

医学部	医学科	脳神経外科学・脳神経外科
教授	上羽 哲也	悪性脳腫瘍の分化制御におけるメチル化CpG結合タンパクMBD1の機能的解析
講師	福井 直樹	3Dモデルを使用した、手術・血管内手術シミュレーション
特任講師	福田 仁	破裂脳動脈瘤の病態に関する疫学的アプローチ
助教	中居 永一	脳脊髄液減少症診断の臨床研究
助教	八幡 俊男	ゲノム可塑性から悪性幹細胞の弱点を探る
助教	岡田 憲二	脳血管障害・脳腫瘍の臨床研究
助教	川西 裕	脳腫瘍の免疫療法

医学部	医学科	泌尿器科学・泌尿器科
教授	井上 啓史	癌の浸潤・転移、血管新生における分子生物学、および光線力学に基づく癌の診断・治療
准教授	辛島 尚	癌の浸潤・転移に関わる血管新生の役割と抗血管新生治療
講師	蘆田 真吾	遺伝子発現解析に基づく前立腺癌に対する間質の役割に関する研究
助教	深田 聡	泌尿器腹腔鏡手術、高齢者の泌尿器癌に対する外科的治療、周術期管理
助教	福原 秀雄	泌尿器癌に対する新規治療法の開発
助教	葺石 陽亮	泌尿器内視鏡手術/周術期管理

医学部	医学科	歯科口腔外科学・歯科口腔外科
教授	山本 哲也	口腔外科、口腔癌の集学的治療、口腔粘膜疾患の免疫学的検討
講師	北村 直也	バクテリアファージを利用した細菌感染症制御法の開発
講師	笹部 衣里	口腔癌の治療耐性獲得機序に関する研究
助教	仙頭 慎哉	歯科口腔外科学、口腔腫瘍学
助教	吉澤 泰昌	顎骨再生療法の基礎的研究

医学部	附属病院	検査部
講師	上岡 樹生	幼若血小板分画検査の臨床応用、感染・炎症に関連して発生する呼吸器腫瘍
助教	岡崎 瑞穂	内分泌代謝疾患

医学部	附属病院	手術部
准教授	山本 正樹	確実性を追求する心臓手術のための術中検査システム開発
助教	岩部 純	食道・胃外科、食道がん細胞のエピゲノム

医学部	附属病院	放射線部
准教授	刈谷 真爾	小線源放射線治療の確立、放射線による癌細胞死のメカニズム
助教	吉松 梨香	インターベンショナルラジオロジー
特任助教	梶原 賢司	腹部・骨盤領域の診断やカテーテル治療の有用性を明らかにする研究

医学部	附属病院	救急部
特任講師	門田 知倫	いかにして災害関連死をなくすか
助教	阿部 秀宏	モニタリングによる周術期輸液管理についての検討

医学部	附属病院	輸血・細胞治療部
講師	今村 潤	輸血・細胞治療の研究と臨床応用

医学部 附属病院 集中治療部
講師 矢田部 智昭 集中治療室における栄養と血糖管理
助教 立岩 浩規 術後認知機能障害の病態機序解明と予防戦略に関する研究
助教 田村 貴彦 重症患者における栄養管理に関する研究

医学部 附属病院 リハビリテーション部
准教授 石田 健司 介護予防・防コモ対策・介護機器開発研究
助教 永野 靖典 地域医療におけるリハビリテーション医学の研究

医学部 附属病院 総合診療部
教授 瀬尾 宏美 能動的学習や臨床技能教育に関する研究
准教授 武内 世生 感染症、HIV/AIDS診療、感染管理、臨床推論
講師 小松 直樹 総合診療、プライマリ・ケア／地域医療
助教 北村 聡子 総合診療、心肺蘇生教育、禁煙外来、不整脈治療

医学部 附属病院 内視鏡診療部
特任准教授 谷内 恵介 膵臓がんペプチドワクチンの開発
助教 水田 洋 ヒロリ菌遺伝子変異と各種疾患の病態との関連について

医学部 附属病院 病理診断部・病理診断科
准教授 戸井 慎 人体病理
講師 頼田 顕辞 人体病理

医学部 附属病院 周産母子センター
助教 荒木 まり子 小児内分泌疾患
助教 玉城 涉 先天性心疾患、学校心臓検診
助教 氏原 悠介 タイムラプス法を用いたがん免疫治療

医学部 附属病院 がん治療センター
特任助教 久野 貴平 排尿筋過活動に対する5-ALAによる改善効果の検討

医学部 附属病院 医療安全管理部
准教授 久米 基彦 ヒト肺癌細胞株の生物学的特徴に基づく予後予測の試み

医学部 附属病院 薬剤部
教授 宮村 充彦 臨床薬理学、天然物化学、嚥下機能改善剤の開発

医学部 附属病院 次世代医療創造センター
特任教授 執印 太郎 泌尿器腫瘍学、稀少疾患医学、腫瘍マーカー開発
特任准教授 西本 博之 医療情報学、情報知能工学、経営情報学、数理統計学、設計工学
特任講師 田井 麻美 臨床研究の実際のアプローチ、被験者保護、研究倫理、壮年期の余暇と健康観に関する研究
特任講師 若林 由美 医療情報データベースの分類とその評価手法としてのアセスメントスケールの策定
特任助教 黒岩 朝 多項式分解と素数の関係についての代数学的・統計学的アプローチ

医学部 医学科 英語
講師 Ribble Daniel Brownson 比較音楽学、尺八の国際化に関する研究、英語圏の語源学

医学部 附属医学情報センター
教授 奥原 義保 医療情報システム、医療情報データの解析
准教授 畠山 豊 医療情報解析、データマイニング
助教 永田 桂太郎 診療により蓄積されたデータを用いて診療の役に立つ情報を得る
助教 兵頭 勇己 医療情報解析・身体運動の定量化・運動障害のシミュレーション

医学部 先端医療学推進センター
講師 沈 淵 臍帯血幹細胞から抗腫瘍エフェクター細胞へ分化誘導・免疫学、再生医療学
助教 王 飛霏 脳性麻痺モデルに対する臍帯血幹細胞移植の治療メカニズム
助教 馬場 伸育 臍帯血幹細胞の分化増殖能と損傷組織修復のメカニズムの解析
助教 山下 竜幸 組織幹細胞の分化増殖法、保存法の開発、および幹細胞を用いた損傷組織の修復

医学部 附属光線医療センター
特任助教 中山 沢 腫瘍細胞に対する分子生物学的探索及び治療法の開発

医学部 看護学科 基礎看護学
教授 栗原 幸男 保健医療データの解析、安心・安全な医療情報利用のしくみの研究
教授 森木 妙子 看護師長、時間管理、経営意識、災害看護、看護管理の工夫に関する研究
准教授 笹岡 晴香 便秘に関する緩和と方法および評価
准教授 関屋 伸子 妊娠、出産、育児の支援に関する研究、子宮頸がん予防に関する研究
講師 下元 理恵 看護師、OJT、慢性心不全患者に関する研究
助教 下田 真梨子 中堅看護師の離職に関する研究

医学部 看護学科 臨床看護学
教授 溝淵 俊二 高知県の機能的な素材の探索
教授 山脇 京子 慢性疾患患者のQOL
准教授 佐藤 美樹 睡眠と健康、自律神経活動、生活習慣に関する研究
准教授 松本 智津 子どもが育つ環境

講師 小松 輝子 助産師学生の感性に関する研究、女性の骨盤と尿失禁に関する研究
講師 高橋 美美 大学生の精神看護技術修得について、対人援助技術に関する研究
講師 濱田 佳代子 妊娠、出産、育児の支援に関する研究
講師 吉村 澄佳 働く女性の健康に関する研究、睡眠と健康
講師 竹村 多加 看護学生の自尊感情、成人看護技術に関する研究
助教 寺下 憲一郎 問題解決能力の測定、数値化に関する研究、がん患者、高齢者の癒しに関する研究
助教 川合 弘恭 小児期から慢性疾患をもつ子どもやAYA世代の方の自分らしさ、自立(自律)に関する研究
特任助教 渡部 嘉哉 天然物由来成分の機能性に関する免疫学的解析

医学部 看護学科 地域看護学
教授 奥谷 文乃 においや味の情報は脳でどのように処理されているか
准教授 田淵 啓二 病気を抱えて生活する人々への支援、国際保健医療
講師 杉本 加代 壮年期における生活習慣
講師 齋藤 美和 保健師・養護教諭の人材育成、看護技術をはかる
講師 小笠原 木綿 嚥下障害と継続看護ケア、退院後の生活がイメージできる移行期看護
助教 林 昌子 在宅生活を送る脳卒中高齢者の持てる力・高齢者看護
助教 和田 庸平 地域包括ケアシステムにおける連携や在宅療養者を含めたパートナーシップに関する研究

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 暖地農学専攻領域
教授 尾形 凡生 果樹の成長制御機構の解明とケミカルコントロール技術の開発
教授 島崎 一彦 試験管内の組織培養によるランの苗木生産技術の開発と希少植物の生態調査
教授 村井 正之 福遺伝・育種、老人・病院用ご飯、米粉パン用極多収晩生品種、良食味、鑑賞用稲
准教授 西村 安代 野菜の養液栽培・生理障害・園芸施設的光環境・環境保全型農業
准教授 増田 和也 農山漁村における資源利用と社会変容に関する研究
准教授 松川 和嗣 高知県独特の和牛である土佐あかうしの生産振興にかかわる研究
准教授 宮内 樹代史 園芸ハウスの環境制御技術の開発、植物生産流通システムの最適化
准教授 宮崎 彰 イネの高温登熟性・乾燥適応性に関する研究、熱帯有用植物の栽培生理
講師 濱田 和俊 果樹の開花・果実発育の制御およびメカニズムの解明
講師 松島 貴則 労働力問題と農業サービス、土地利用型農業の研究
講師 山根 信三 循環型農業生産・高品質な果実の作出・GTL利用省エネ多収農業

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 自然環境学専攻領域
教授 荒川 良 天敵昆虫を利用した農林・衛生害虫の防除の研究、害虫管理技術開発
准教授 伊藤 桂 ハダニ・昆虫類を用いた行動生態学・進化生態学
准教授 鈴木 紀之 昆虫の行動・進化・群集、生物多様性の生態学的な効果
准教授 手林 慎一 植物の病害虫や環境に対する抵抗性の化学的・分子生物学的解明
准教授 森 牧人 広域農林生態系の気象環境学的評価
講師 阪田 光和 イネの遺伝資源の利用に関する研究

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 森林科学専攻領域
教授 大谷 慶人 きのこの生態と栽培、樹木精油の機能、木材・非木材ハルブ・紙
特任准教授 堀本 次郎 環境・生物多様性保全に配慮した森林管理技術、落葉分解系の空間分布パターン
准教授 市浦 英明 機能紙に関する研究、バイオマス産業廃棄物の再資源化に関する研究
准教授 市栄 智明 樹木の成長や繁殖、環境ストレス応答に関する研究
准教授 鈴木 保志 林道・架線、森林作業システム、木質バイオマスの収穫と利用
講師 松本 美香 中山間地域における森林管理、林業林産業構造、集落構造

農林海洋科学部 農林資源環境科学科 生産環境管理学専攻領域
教授 河野 俊夫 食品偽装防止技術、食品への異物混入検出技術などの食品安全工学
教授 藤原 拓 地球温暖化を考慮した流域環境管理に関する研究
教授 松本 伸介 農業水利施設の構造設計、建設材料の新規開発、音環境の調査
准教授 齋 幸治 地域水環境悪化の原因メカニズム解明と改善
准教授 佐藤 周之 流域環境管理および流域社会基盤管理に向けた総合的な工学的研究
准教授 佐藤 泰一郎 中山間地域の水・土・里環境保全、環境型傾斜地農業の推進
准教授 松岡 真如 衛星データやデジタル地図を活用した陸域環境の解析

農林海洋科学部 農芸化学科
教授 芦内 誠 バイオベース新素材の開発と応用、環境先進型の微生物分子育種技術の確立
教授 岩崎 貢三 土壌—植物生態系、植物の物質吸収・蓄積機構、環境保全型農業
教授 枝重 圭祐 動物の生殖細胞の凍結保存技術の開発と耐凍性に関わる遺伝子の探索
教授 木場 章範 植物の発病・免疫機構の解明～病気に罹らない植物をつくらう！～
教授 金 哲史 昆虫行動を制御する化学因子・植物の生理活性物質に関する研究
教授 康 峪梅 土壌・水の有害金属汚染、草原退化の機構解明と対策
教授 田中 壮太 熱帯土壌学、土壌生態学、持続可能な農業
教授 永田 信治 食と健康と環境に役立つ有用微生物探索と産業利用
教授 曳地 康史 植物細菌学:細菌と植物の相互作用の解明と植物病害防除技術開発
准教授 上野 大勢 高等植物の栄養生理に関する研究
准教授 柏木 丈広 食品中の生体調節物質の探求、食品の香り成分の有効利用
准教授 島村 智子 食品成分に関する研究、食品の機能性の解明
准教授 村松 久司 産業用酵素の探索・機能解析・応用法の開発
講師 若松 泰介 新規有用たんばく質の探索・機能解析・構造解析、そして応用

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生物生産学コース
教授 足立 真佐雄 赤潮有毒プランクトンの研究、プランクトンによるバイオ燃料生産
教授 池島 耕 沿岸の環境、水生生物の生態と保全に関する研究
教授 大嶋 俊一郎 魚病原微生物の診断・感染機構・防除法、養殖魚の生産に関する研究

教授	關 伸吾	魚介類の品種改良、野生集団の遺伝的保全に関する研究
教授	森岡 克司	養殖魚の品質、鮮度保持に関する研究、未利用資源の有効利用
教授	益本 俊郎	養殖魚飼料の栄養と消化吸収に関する研究
准教授	足立 亨介	海産無脊椎動物と深海動物を用いたバイオテクノロジー
准教授	中村 洋平	魚類生息場の機能解明、海産魚類の生態
准教授	深田 陽久	魚類の食欲・消化・成長に関する研究、ブランド養殖魚の開発
准教授	山口 晴生	海洋植物プランクトンに関する研究、内湾赤潮の解明
講師	今城 雅之	魚類の病原微生物(ウイルス、細菌、原虫、寄生虫)に関する研究

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海底資源環境学コース

教授	上田 忠治	新規金属錯体の合成および酸化還元反応解析
教授	岡村 慶	海底鉱床探査のための現場型化学センサ開発
教授	村山 雅史	海洋の物質循環と海底資源形成に関する研究
教授	寄高 博行	海洋表層流の変動に関する研究
准教授	西尾 嘉朗	温泉の子どもの調査研究
准教授	野口 拓郎	海底熱水活動に伴う有用金属・有害金属の動態解明
助教	長谷川 拓哉	機能性無機材料の開発と新機能付与

農林海洋科学部 海洋資源科学科 海洋生命科学コース

教授	久保田 賢	造礁サンゴなどの海洋生物のタンパク質や遺伝子に関する研究
教授	津田 正史	海洋微細藻からの有用物質の探索と開発、およびDNP-NMR研究
教授	長崎 慶三	海洋生態系におけるウイルスの役割と存在意義に関する研究
教授	深見 公雄	海洋微生物の生理・生態とその働きを利用した環境保全・修復
准教授	金野 大助	有機反応化学および量子化学計算による分子構造・反応解析
准教授	櫻井 哲也	藻類等の生命情報を網羅的に用いた比較解析によるゲノム研究
准教授	寺本 真紀	有益な物質の生産や環境浄化にむけた有益な微生物の探索・構築
准教授	難波 卓司	海洋生物が産生する化合物の薬理作用の探索と真核細胞の恒常性維持機構の解析
准教授	三浦 収	海産無脊椎動物の生態と進化の研究
准教授	山田 和彦	次世代型NMR装置の開発
助教	小野寺 健一	海洋共生微細藻を大量に培養し未利用物質資源を探索する研究
助教	Dana Ulanova	海洋微生物の二次代謝産物生成研究

地域協働学部 地域協働学科

教授	池田 啓実	組織が自己の課題を自ら解決する自己組織化機能に関する研究
教授	市川 昌広	人や村落の土地利用・森林利用と暮らし、日本の中山間地域問題
教授	上田 健作	非営利組織の機能及び非営利組織の経営に関する研究
教授	内田 純一	成人教育学、社会教育学、地域づくり教育、生涯学習論、公民館、地域施設
教授	大石 達良	日本企業の海外活動とくに欧州域内における活動の研究
教授	鈴木 啓之	現代日本の財政政策、地域経済と地域政策、公信用論
教授	玉里 恵美子	中山間地域における集落の変容と再生および地域福祉に関する研究
准教授	石筒 寛	工業団地政策、マレーシアにおける地域政策・産業政策、サービスラーニングのプログラム開発
准教授	大槻 知史	持続的な地域運営の支援(防災、地域活性、遺産保全)、防災教育
准教授	霜浦 森平	都市農村交流と農村ツーリズムに関する研究
准教授	中澤 純治	産業連関分析を中心とした地域経済の数量分析
准教授	中村 哲也	日本野球史、スポーツと体罰、大学スポーツ政策、運動部活論
准教授	松本 明	持続可能な地域づくりに資する計画論、評価方法、人材育成等
准教授	湊 邦生	地域研究(モンゴル)、計量社会学、多文化関係学、地域協働学
准教授	吉岡 一洋	グラフィックデザイン、版画、地域芸術、アート、美術教育
講師	今城 逸雄	地域と協働した教育開発の研究、商店街活性化に関する研究
講師	須藤 順	起業家育成/スタートアップ支援、コミュニティデザイン、ソーシャルビジネス、アイデア創出、場づくり
講師	田中 求	農山漁村の多様な豊かさの再構築、和紙原料栽培と資源管理、獣害対策、環境社会学
講師	藤岡 正樹	防災教育、地域防災、避難シミュレーション、社会的起業
講師	俣野 秀典	組織における知の創造、大学教職員の能力開発、ファシリテーション
助教	斉藤 雅洋	地域活動と住民の学び、地域づくりと環境教育、学校・家庭・地域の連携・協働
助教	佐藤 文音	住民の介護予防活動の研究、ダンスを用いた健康増進活動の研究
助教	佐藤 洋子	地方都市・農村における女性の労働と生活に関する研究
助教	森 明香	河川開発の社会的影響、公害・環境問題をめぐる住民運動、環境社会学

全学教育機構(土佐さきがけプログラム担当)

准教授	前西 繁成	非営利組織のマネジメント、企業の社会的責任
准教授	柴田 雄介	日本語母語話者による英語超文節音の知覚と産出の研究
特任講師	Sharpe Michael John	グローバル言語としての英語、英語史

大学教育創造センター

教授	塩崎 俊彦	17・18世紀日本文学の注釈的研究、文学受容と社会変動に関する研究
准教授	立川 明	科学教育における能動学習の効果、高等教育における能動学習の効果
准教授	杉田 郁代	授業の中の学生支援(学生の居場所がある授業づくり)に関する研究
特任講師	高畑 貴志	教育におけるICTの利活用

教師教育センター

准教授	松島 朝秀	科学的手法を用いた文化財資料の調査及び保存環境の研究
-----	-------	----------------------------

アドミッションセンター

准教授	大塚 智子	入試data解析、学力・適性など評価方法の研究
特任准教授	喜村 仁詞	大学と受験生のコミュニケーションに関する研究

学生総合支援センター

特任准教授	佐藤 剛介	精神的健康に対する文化・社会環境要因の検討、障害科学と支援
特任准教授	森田 佐知子	キャリア教育の国際比較、キャリア支援専門人材の育成
講師	坂本 智香	文章表現教育、日本語文法、英語成績不振の要因と支援

保健管理センター

教授	井上 顕	自殺対策、精神医学(特に不安症)、メンタルヘルス、社会医学
教授	岩崎 泰正	ストレスの分子機構解明と肥満・生活習慣病治療への応用
准教授	澁谷 恵子	医学部学生、医療従事者のメンタルヘルス支援体制の構築

総合研究センター

教授	大西 浩平	病原細菌の病原性関連遺伝子の発現調節機構の解明
教授	木下 泉	魚類の初期生活史および個体発生に関する研究
准教授	加藤 伸一郎	遺伝子工学的的手法による含硫化合物合成系の機能解析
准教授	斉藤 知己	海洋生物(甲殻類、ウミガメ等)の生態、繁殖、分類に関する研究
准教授	坂本 修士	非翻訳RNAの産生変動が引き起こす病態生理現象
准教授	津田 雅之	発生工学的的手法を用いたマウスの発生や再生に関する研究
准教授	平岡 雅規	海藻類の生殖、生態、増養殖に関する研究
助教	都留 英美	免疫細胞の情報伝達物質の分泌メカニズムに関する研究
助教	樋口 琢磨	小分子RNAを介した癌化制御に関する研究

次世代地域創造センター

教授	石塚 悟史	産学官民連携、地域再生事業、科学技術振興、環境保全学
特任教授	川澤 慶洋	地方創生による地域活性化事業の企画立案・検証
特任教授	恒川 典之	研究シーズからの知的財産の発掘及び権利の最大化、技術移転
特任教授	富 裕孝	食用資源研究開発、機能性表示、トクホ開発
准教授	赤池 慎吾	森林の公益性に関する適時的分析、文化遺産を活用した観光まちづくり、将来人口推計を使った地域づくり
准教授	岡村 健志	自治体や企業などが実施する地域プロジェクトの企画・開発や運営支援
准教授	吉用 武史	域学連携、自治体との連携に基づく地域活性化事業の企画立案
特任准教授	川竹 大輔	高知の中小企業事情 地方自治
特任准教授	中島 悦子	地域食材の食品化学特性、香気成分分析、食品安全
講師	大崎 優	地域経済構造分析、中山間地域問題分析、自転車によるまちづくり
講師	梶 英樹	自治体等との連携に基づく地域活性化事業の企画立案及び運営支援
講師	下方 晃博	知的財産 産学連携
特任講師	松田 高政	食の6次産業化、消費者・販売者の視点による地域産品の開発
特任助教	栗田 せりか	地域食材の成分分析と食品の品質管理

国際連携推進センター

教授	新納 宏	国際協力、開発途上国論、移行経済国の市場経済化支援、中央アジアの地域開発
教授	林 翠芳	日本語の語彙に関する研究、日中対照研究
准教授	大塚 薫	日本語教授法、メディア教育研究、日本語教育教材開発研究
准教授	神崎 道太郎	読解と論述・作文との教授法における関連付け
特任講師	岡本 葉子	開発と環境、国際協力、防災
助教	Garcia Del Saz Eva	国際交流・協力・支援、海外との産学官民連携の推進

学術情報基盤図書館

准教授	佐々木 正人	分散システム管理運用技術、情報セキュリティ、情報教育
助教	石黒 克也	素粒子物理学、格子量子色力学、情報教育

海洋コア総合研究センター

教授	池原 実	新生代における地球環境システム変動の解明
教授	岩井 雅夫	新生代地球表層圏の生物・環境多様性の形成・進化に関する研究
教授	安田 尚登	メタンハイドレート生成やガス生産時における海底地層に及ぼす影響評価
教授	山本 裕二	地質試料の残留磁気記録に基づく古地球磁場変動の解明
特任教授	臼井 朗	海底鉱物資源の形成過程、形成条件の研究
特任教授	徳山 英一	海底鉱物・エネルギー資源の形成プロセスに関する研究、海底活構造研究
准教授	氏家 由利香	微化石生物を用いた海洋生態系と地球環境の進化
特任講師	朝日 博史	古海洋学、北太平洋・北極海の海水発達と全球的な気候変遷史の関連性
助教	Kars Myriam	環境磁気学的手法による古環境・成層作用とガスハイドレートの研究
特任助教	浦本 豪一郎	外洋深海底の鉱物資源形成メカニズムの研究
特任助教	奥村 知世	堆積物中の微生物-鉱物相互作用の研究
特任助教	萩野 恭子	海洋のプランクトンの系統進化と地球環境の関係
特任助教	松井 浩紀	プランクトン化石を用いた過去の海洋環境変動の解明

IR・評価機構

教授	岩崎 保道	大学評価及びIR(Institutional Research)に関わる研究
----	-------	--

安全・安心機構

准教授	小島 優子	ヘーゲル哲学における悪と贖いについて
准教授	廣瀬 淳一	協力行動と幸福に関する研究

国立大学では日本初! 一元化された文理統合型の大学院

高知大学では、平成20年度から日本の国立大学では初となる一元化された文理統合型の大学院「総合人間自然科学研究科」を開設しました。

本研究科の修士課程では複数の学問領域を包括しており、新しい履修システムや教育プログラムによって領域横断型の学びを効果的に実現します。博士課程では、応用自然科学、医学、黒潮圏総合科学の各専攻の専門性を保ちつつ、これまでは他研究科の科目であった近接分野の科目を履修することができます。これにより、本研究科に進学した学生はそれぞれの基礎的学問分野の専門性を深めると同時に、幅広い素養や研究視点を修得することができます。

また、平成30年度には、現職教員の再教育の場としての役割に重点を置きつつ、学部卒学生についても実践力を身に付ける場として教職大学院(専門職学位課程 教職実践高度化専攻)を設置しました。

令和2年度には、理工学専攻(仮称)、農林海洋科学専攻(仮称)、地域協働学専攻(仮称)の設置を予定しています。(設置申請中)

履修の特徴

修士課程

目的・目標に応じて、異分野科目も無理なく履修

所属する専攻の専門科目を学ぶ「主専攻履修」と、専門科目に異分野科目を取り入れた「準専攻履修」の2つの履修システムから履修方法を選択できます。

また、高知大学のフィールド特性を活かした横断的科目群「副専攻プログラム」を、目的に応じて履修できます。

修士課程の履修システム



専門職学位課程【教職大学院】

教員としての深い学識・卓越した能力を養成

「共通科目」と「実習科目」、「総合実践力科目」、学校運営、教育実践、特別支援教育のコース別「専門科目」を履修します。

博士課程

他分野・近接分野を学び、より高度な専門性を獲得

各専攻における専門性を深める一方で、他分野知識の修得を目的とする共通科目の導入や、近接分野の履修を可能にします。

<準専攻履修について>

当該専攻分野に関連する分野の基礎的素養を涵養する従来型の教育課程の他に、平成20年度の大学院改組により大学院が一元化となったことを活用した領域横断型の教育を行う準専攻履修制度が設けられています。

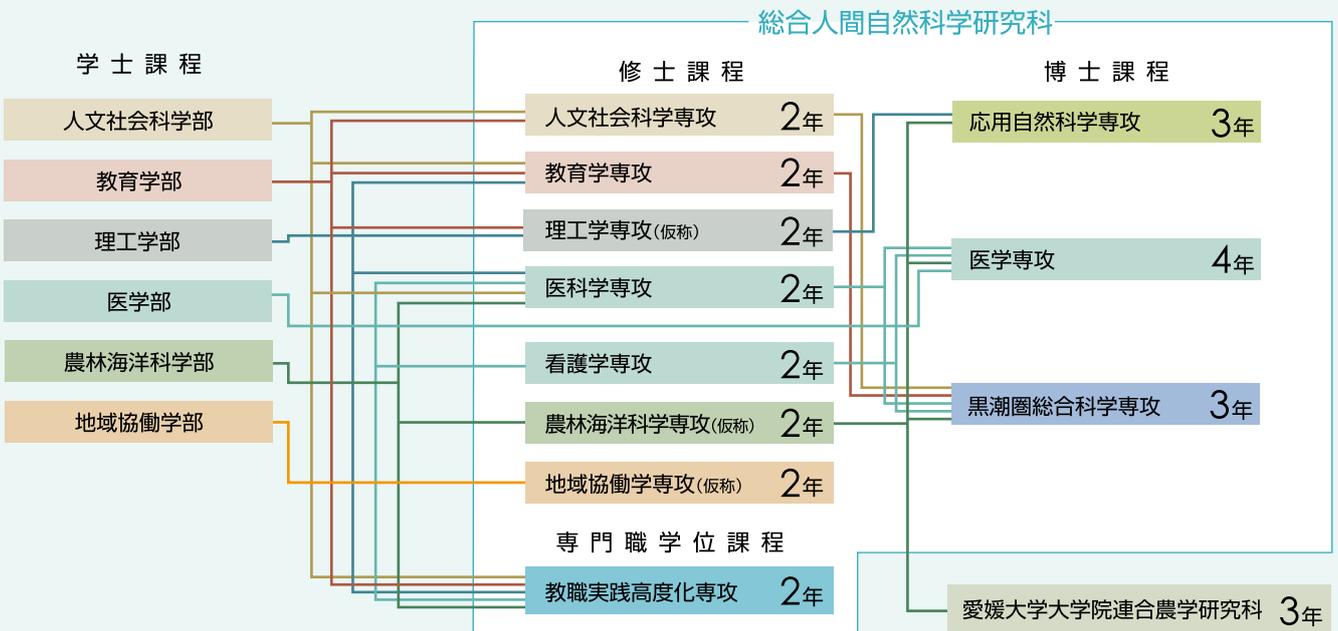
<副専攻プログラムについて>

特定のねらいのもとに用意された4つのレディーメイド副専攻プログラムと、個々の目的に応じて構成し認定を受けるオーダーメイド副専攻プログラムがあります。

■レディーメイド副専攻プログラム例

「環境科学」「医療福祉学」「高(知・智・地)の科学 (ISK)」「現代 教育学」

進学イメージ図



修士課程

人文社会科学専攻

グローバル化の進展とそれに伴って進行する日本社会の構造転換を背景として、経済・社会・文化・生活のすべての領域において、地域社会の主体的発展を保障する高度な専門知識と柔軟な判断力を持った人材が必要とされています。本専攻は、地域社会の要請に応え、人文科学・社会科学諸分野の学際的結合を基盤に、多彩で柔軟な教育プログラムを創出し、変貌する地域社会の発展に貢献し得る人材を養成します。

- 人文科学研究コース
- グローバル社会研究コース
- 社会科学研究コース

定員8名

教育学専攻

社会構造の急激な変化は学校教育現場に様々な深刻な問題を引き起こしており、教員にはそれらの複雑な問題に対応するための資質がより深く求められています。本専攻では、学校教育現場の抱える課題を正確に判断し、それに適切に対応できる実践力のある教員、また人間発達や教科内容に関わる深い学問的で実践的な知識を有しながら、それを教育現場において応用し発展できる創造的な資質を持った教員を養成します。

- 学校教育コース
- 授業実践コース

定員12名

理工学専攻(仮称)

基礎物理学の素養を持ち、地域の活性化に欠かせない地域イノベーションの創出や持続可能な地域づくり、災害に強い地域づくりに貢献できる高度専門職業人としての理工系人材を育て、高知県のみならず社会全体の発展に寄与することを目指します。

- 数学物理学コース
- 化学生命理工学コース
- 生物科学コース
- 地球環境防災学コース
- 情報科学コース

定員55名

医科学専攻

近年、先端医療の進歩とともに医学・医療を取り巻く社会環境は大きく変革しています。この状況に的確に対応するために、自然科学のみならず人文科学と医学の調和を目指した医科学の発展・充実が望まれます。本専攻では、自然科学系学部や人文科学系学部を含む幅広い学部卒業者を医科学へと導き、高度に専門化した知識と技術を身につけた医科学分野の研究者、さらには社会的諸問題を医科学を基礎として包括的に捉え得る人材を育成します。

- 医科学コース
- 公衆衛生学コース

定員15名

看護学専攻

健康で文化的な生活を送るという国民の権利を支援することが医療者には求められています。看護学専攻においては、高知大学の教育理念に鑑み「現場主義」を重視し、社会の一員として求められるソーシャルスキルを基盤とした、課題解決能力を身に付けた人間力豊かな人材を養成します。さらに、医療の場を含む日常生活の場で人間にとって最も重要な健康の増進を目指しつつ、生活者の視点で包括的な支援を行う高度に専門的な知識・技能を身に付けた論理的・創造的な看護の実践者・看護学教育者・看護管理者を養成します。

- 看護学コース

定員12名

農林海洋科学専攻(仮称)

農学や海洋科学の専門知識を基盤として、陸・海域からの資源の安定的確保、資源の開発・獲得及び高度有効利用に関わる技術の開発、生産環境及び地域・地球環境の保全・修復により、人間社会の持続的発展に貢献できる高度専門職業人を養成します。

- 農林資源環境科学コース
- 農芸化学コース
- 海洋資源科学コース

定員55名

地域協働学専攻(仮称)

地方創生及び今後の地域の再生と発展のための3つの課題、①後継者養成できる地域協働リーダーの必要性、②住民とともに策定された地域の長期ビジョンの必要性、③地域における新たな資源開発と市場開拓の必要性、に基づき、これらを解決できる人材を養成します。

定員3名

専門職学位課程【教職大学院】教職実践高度化専攻

常に高知県の学校教育の現場を念頭に置き、学校教育に関わる理論と実践の融合によって、学校教育が直面する諸課題の構造的・総合的な理解に立って学校教育運営をマネジメントし、実践できる中核の中堅教員と、授業力の向上や学級経営等の充実を目指して組織的な授業改善をリードできる中核教員、また、特別支援教育に関する指導・支援の充実を図り、組織的な体制を構築することのできる中核教員を養成します。

- 学校運営コース
- 教育実践コース
- 特別支援教育コース

定員15名

博士課程

応用自然科学専攻

海洋高知の持つ自然環境の特性を活かして、自然科学の諸分野を海洋・資源・環境に特化した「海洋自然科学」と物質・情報・量子に特化した「物質機能科学」のもとに結集し、基礎物理学を包含した応用自然科学の幅広い分野で、高度な専門性を培います。また、文理統合の教育理念に基づいた大学院教育を行うことで、健全な自然観、地球観、人間観を備え、自ら課題を探索し解決できる高度専門職業人を養成します。

- 海洋自然科学コース
- 物質機能科学コース

定員6名

医学専攻

医学専攻では、高い倫理観と豊かな人間性の涵養ならびに高度な医学的知識と技能の習得を教育理念とし、多様な社会的ニーズに対する柔軟な対応が可能で、底辺が広くレベルの高い医学研究及び医療の達成を目指し、地域特性に根差した医学・医療の推進に寄与できる人材、国際的に通用する優れた医学研究者、リサーチマインドを持つ優れた臨床専門医(良医)を養成します。

- 生命科学コース
- 医療学コース
- 情報医療学コース
- 小児神経精神医学コース
- MD-PhDコース

定員30名

黒潮圏総合科学専攻

人口問題、食料問題、資源の枯渇や環境変化など人類が直面している諸問題の多くは我々にとって未曾有の経験であり、その解決には従来型の学問だけでなく、分野を横断して物事を把握するなど新しいアプローチが必要であることが世界的に認識されています。そこで、文理融合の新しい視点でこうした問題の解決に取り組み、それを通して資源の持続的有効活用と循環型社会の発展による自然と人間の共存・共生系の確立を強く意識した人材を養成します。

- 共生科学コース
- 人間科学コース

定員6名

愛媛大学大学院連合農学研究科 博士課程(後期3年)

連合農学研究科は、愛媛大学、香川大学及び高知大学によって構成され、各大学の連携により、個々の大学では期待し難い広い分野にわたり、水準の高い教育研究を行うことを目的として設置された博士課程大学院(3年)です。生物資源の生産と利用に関する諸科学について高度の専門的能力と豊かな学識、広い視野を持った研究者を養成しており、国内の大学院修士課程修了者はいままでもなく、外国人にも門戸を開いています。

※修士課程の理工学専攻、農林海洋科学専攻、地域協働学専攻については設置申請中のため、変更になる場合があります。

海外へ行って学ぶ

海外に出て行き学ぶことは、語学力や研究力の研鑽はもちろん、異文化理解、国際的視野の獲得、日本文化の発信など様々な意義を持っています。



新しい世界へチャレンジ

こおり かつほ
郡 健帆 人文社会科学部人文社会科学科
人文科学コース3年(鳥取県立米子西高校出身)

ノルウェーのインランド・ノルウェー応用科学大学に交換留学生として約半年間留学しました。高校の先輩の影響から大学では留学しようと思っていました。高知大学では文学を専門的に勉強していたので、文学や言語学が学べる観点からインランド・ノルウェー応用科学大学を留学先を選びました。

留学生活では様々なことを経験することができました。大学の授業では英語を使ってのやり取りで、初めのうちはディスカッション等うまく意見が伝えられず、苦労することもありました。膨大な予習課題やレポートなども必死にがんばりました。しかし、ノルウェー語という新たな言語や文化の違いなど新鮮な一面にも触れることができかったです。

また、自然が豊かで目まぐるしく変わる日照時間(白夜や極夜)やオーロラなども見ることができ、とても神秘的でした。高知大学では陸上部に所属していることから、オスロ・マラソンにも参加して充実した経験もできました。そして簡単にヨーロッパの他国に行けることから、北欧4ヶ国制覇したこともいい思い出です。

大学ではいろいろなことが経験できます。これからも新たな分野へ挑戦していきたいです。



陸上部の経験を活かし、オスロ・マラソンにもチャレンジ!



インランド・ノルウェー応用科学大学 ハーマル キャンパス

留学先DATA

インランド・ノルウェー応用科学大学 
ノルウェー

- 学部 社会保健科学部、商業・社会科学部、教育学部、応用生態学・農学・生物科学部、視聴覚メディア・クリエイティブテクノロジー学部、ノルウェー映画学部
- 概要 ノルウェー南東部に6キャンパスを持つ総合大学で約13,000人の学生が在籍する。心理学・社会学、生物科学、映画、TV文化、観光学、アニメーション・ゲーム等、幅広い分野のコースを提供している。

※学生の所属・学年表記は平成30年度のものです。

国際交流協定

高知大学では、25の国と地域、95の大学、研究所と大学間・部局間で国際交流協定を結んでおり、そのうち66の大学と学生交流に関する覚書を結んでいます。学生交流に関する覚書を結んでいる協定校は交換留学先となるほか、毎年たくさんの学生が高知大学を訪れます。

学生交流に関する覚書を結んでいる協定校一覧 2019.3.1現在

[大学間協定校]

インドネシア

- プラビジャヤ大学
- チェンデラワシ大学
- ボゴール農業大学
- ハレオレオ大学
- タンジュンブラ大学
- リア外国語大学

タイ

- コンケン大学
- カセサート大学
- タマサート大学

韓国

- 韓瑞大学校
- 金剛大学校
- 白石大学校
- 明知大学校
- 国立慶尚大学校
- 東国大学校

フィリピン

- フィリピン大学
- ビコール大学
- パルディオ州立大学

中国

- 佳木斯大学
- 陝西科技大学
- 安徽大学
- 瀋陽薬科大学
- 河南大学
- 常州大学
- 天津師範大学
- 南京航空航天大学
- 上海海洋大学
- 北京聯合大学
- 北京外国語大学
- 東北大学秦皇島分校

ベトナム

- ハノイ科学工業大学
- ハノイ科学大学
- タイグエン大学

マレーシア

- マレーシアアトラ大学
- マレーシアサラワク大学

台湾

- 国立中山大学
- 東海大学
- 中国文化大学
- 国立東華大学

オーストラリア

- クイーンズランド大学

アメリカ

- カリフォルニア州立大学フレズノ校
- ロードアイランド大学

メキシコ

- 国立ポリテク工科大学 応用研究所 サルティジョ校
- サルティジョ工科大学

イタリア

- サッサリ大学

オランダ

- ハンゼ応用科学大学

スウェーデン

- イェーテボリ大学

チェコ

- 南ボヘミア大学

ノルウェー

- インランド・ノルウェー応用科学大学

ガーナ

- ガーナ大学

カザフスタン

- カザフ国立大学

[部局間協定校]

人文社会科学部

- 釜山外国語大学校日本語学部(韓国)
- 高雄大学人文社会科学部(台湾)
- 開南大学(台湾)
- 北京語言大学(中国)

教育学部

- モンゴル・ロシア共同学校(モンゴル)
- ユバスキュラ大学教育学部(フィンランド)
- パレストラ体育スポーツ大学(チェコ)
- ユニバーシティ・カレッジ・コペンハーゲン(デンマーク)
- 樹人医歯管理専科学校(台湾)

医学部

- 国立台湾大学医学部(台湾)
- ソンクラナカリン大学医学部(タイ)
- セメイ国立医科大学(カザフスタン)

農林海洋科学部

- 浙江大学生物系統工程及び食品学院(中国)
- シェレパングラ農科大学(バングラデシュ)

地域協働学部

- ラウキラ大学土木建設建築環境工学部(イタリア)

留学

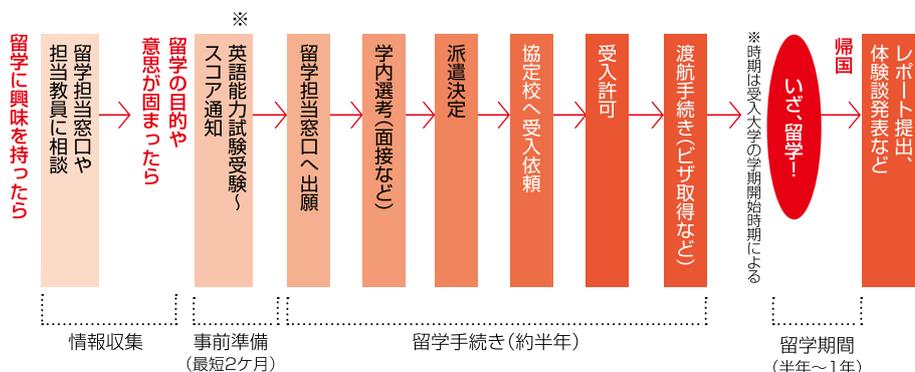
学生時代の留学は一生の思い出となり、また大きな自信にもつながります。海外留学に少しでも興味があるという方は、ぜひ国際連携推進センターに相談に来てください。交換留学の情報や国際交流イベントのお知らせなどは、高知大学のHPからチェックできます。 <http://www.kochi-u.ac.jp/international/>

▶ 留学の種類

- **交換留学** 留学先の大学で取得した単位が高知大学の単位として認定されます。留学期間中は高知大学に授業料を納付します。留学先での授業料は必要ありません。期間は半年または1年間で、学部、コースによっては、4年間の卒業も可能です。
- **私費留学** 高知大学を休学し、自分の希望する留学先で学びます。休学中は、高知大学の授業料は免除されますが、留学先で授業料等の費用が発生します。

▶ 留学の流れ — 交換留学 —

留学の種類や期間、行き先によって要件や手続きの流れは異なります。



※ 英語圏の大学への留学には、英語能力をはかる試験で一定以上のスコアをクリアする必要があります。主にTOEFLかIELTSのスコアが用いられます。

TOEFL

英語を母語としない人の英語能力をはかるテストで、リーディング・リスニング・スピーキング・ライティングのテストからなります。

IELTS

海外留学や研修のための英語力を証明するテストです。英語力証明のグローバルスタンダードテストとして世界中で受験者が増え続けています。高知大学でも年2回受験できます(平成30年度)。

▶ 海外留学説明会

協定校への交換留学を希望している学生に対し、手続きや奨学金などについての説明会を開催しています。先輩学生の留学体験談や海外経験豊富な先生からの危機管理についての講義のほか、個別相談も行っています。



▶ 国際交流基金

高知大学では、国際交流基金という独自の奨学金制度があり、複数の事業で毎年多くの学生を助成しています。そのうちのひとつが外国へ留学する学生への奨学事業で、海外の大学で学ぶ本学学生に奨学金を支給しています。海外で生活するうえでの負担を少しでも軽減しよう、という趣旨のもとで行っています。(実績:平成30年度15人)



多様な異文化交流

高知大学では、世界22ヶ国144人の外国人留学生在が学んでいます(2018年10月1日現在)。授業やサークル、キャンパスで見かけたら思い切って話しかけてみましょう!

▶ グローバルコミュニケーション

海外語学研修を含む共通教育教養科目



語学力向上や異文化理解を目的とする海外実習を含む科目です。学部や語学力を問わず参加可能です。渡航先はオーストラリア、マレーシア、フィリピンの3ヶ国から選択できます。

▶ カルチャーカフェ

誰でも参加できる国際交流カフェ



カルチャーカフェは、日本人、外国人、学生、先生、誰でも参加OKなカフェです。みんなでお茶を飲みながら、国際交流を楽しみます。みなさんも入学したらぜひ一度、カフェに顔を出してみてください。

Campus Life

ようこそ“おらんく”のキャンパスへ!

「おらんく」とは、土佐弁で「私の家」という意味。高知県は、気候が温暖な上、住む人も気さくでおおらかな土地柄です。高知大学には、「朝倉」、「岡豊」、「物部」の3つのキャンパスがあり、学生はのびのびとした雰囲気の中で学生生活を送っています。学生主体のイベントも盛りだくさん! 楽しいキャンパスライフが待っていますよ!!

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



▶ Year Calendar 2019-20

4
Apr.

- 入学式
- オリエンテーション
- 第1学期授業開始



5
May



6
June

各種スポーツ大会
イベント



7
July

よさこい祭り
8/10・11



8
Aug.

- 第1学期試験期間
- 演習林トレイルランニングレース
- 医学部附属病院七夕コンサート



9
Sep.

- 第2学期履修登録



入学後すぐは新歓イベントがたくさんあるので、皆さんの好きなことを見つけよう!

高知に住んでみてどうですか?

高知大生の約75%以上が高知県外から来ています。

Is Kochi comfortable to live in?

わたしが
お答えします!

高尾 和紗 さん
人文学部国際社会
コミュニケーション学科4年
大阪府 私立清教学園高校出身



Q 高知に来て驚いたことはありますか?

冬が意外と寒い(笑)。風邪を引きやすい体質なので、来る前は周りの人から「高知は暖かいから大丈夫だね」と言われて期待していたのですが…。南国土佐でもコートは必要ですよ!

Q 授業以外は何をしていますか?

週4でラクロス部の活動、その後にバイトが入っていたりして、スケジュールはみっちり詰まっています(笑)。オフの日には、友達とカフェに行くことが多いかな。高知にはおしゃれなカフェが多いので、次はどこに行くかとよく話しています。レンタカーを借りて四万十川や室戸ジオパークなどへ遠出もしたいですね。

Q 高知の魅力は何ですか?

生魚が食べられなかったのに、食べられるように! カツオのたたきから始まり、色んなお刺身を美味しく食べられるようになりました。食べ物が何でも美味しいんです。



カフェテリアでもカツオのたたきからメニューに登場するかも!

学祭は大盛り上がり必至!
物部キャンパスでは
あかうしとのふれあいも!



医学部の体育祭は
とにかく盛り上がります!



卒業おめでとう!



〜おめでとう〜



- 第2学期授業開始
- 南風祭 (10/12-13)



- 黒潮祭 (11/2-3)
- 物部キャンパス一日公開 (11/3)
- 室戸貫歩



- 医学部体育祭
- 学長杯争奪駅伝



- 寒中水泳



- 第2学期試験
- 卒論発表会



- 卒業式

キャンパスライフ



室戸岬まで約90kmの
道のりを歩く高知大学
伝統行事!

ささいい...



高知って どんなところ?

What is the place
that Kochi is like?

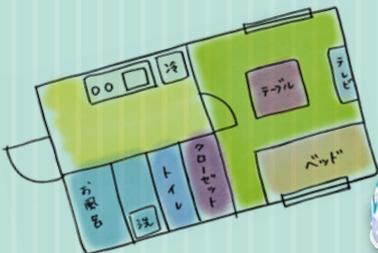


高知には
魅力的な人や自然が
たくさん!!



Q どんな部屋に住んでいますか?

私の部屋の広さは8畳のワンルーム。
私は物をあまり置かない主義なので、スッキリ
片付いています。



日曜市

新鮮な野菜や果物のほか、植木、打刃物も扱う生活市。なんとその歴史は300年以上!



ひろめ市場

高知の旬の美味しいものが一度に楽しめるひろめ市場。高知流のおもてなしを楽しんで。



仁淀川

こんなに澄んだ青見たことない! それが「仁淀ブルー」。キャンプやラフティングなどのアウトドアレジャーも盛ん。こんなに美しい自然が、朝倉キャンパスから車で20分行けば見られます!



黒潮町

サーフィンやホエールウォッチングなどのマリレジャーが人気。毎年5月に開催される「シャツアート展」は必見!



室戸ジオパーク

雄大な海、広がる水平線、大地の動きを感じられる地形。ここで見られない風景があります。

他にもオススメ
スポットはたくさん!
あなたのお気に入りの
場所を見つけよう

坂本龍馬やジョン万次郎
板垣退助などの歴史的偉人も
たくさん輩出!

Daily Life

Cafeteria

朝から晩までいろいろ使える学食



「鶏飯唐揚げ」は
高知大学生協
不動の人気No.1!



高知大学生協 IKUS

朝倉 岡豊 物部

営業時間はキャンパスによって異なります。

ペーカリーカフェがお気に入り、美味しそうなものはないかなとよく見に行きます。おすすめは、クッキーシュー! 大好きで、頑張った次の日のご褒美に週1で食べています。ミールプランを利用している友達が、食堂の「1円朝食」を利用しているのが羨ましいです。午前11時まで利用することができるので、1限目の授業が終わったあとに遅めの朝食を食べることもできるとか。

ミールプラン

年間決まった額を先に支払うことで1日定められた額(コースによって1,200円、1,000円、600円)まで食堂メニューが食べ放題になるプランのことです。「マイページ」というリアルタイムで食事歴がわかるインターネット上のサービスもあります。また1円朝食とは、ミールプランの利用者を対象に朝食メニューを250円引きで利用できるサービスのことで、朝食メニューは251~301円なので、ミールプランご利用中の方は1~51円で朝食を食べることができます。



学術情報基盤図書館

Library

朝倉 岡豊 物部

テスト期間中には、図書館の勉強スペースをよく利用しています。周りの人が勉強していると、自分もがんばらなきゃとやる気になります。グループ学習室を借りて、友達と話し合いながら課題をすることも。

2階のPCスペースは、レポートを書くのによく使います。勉強用の資料を印刷するのに、無料でプリンターが利用できるのととても便利です。



キャレル



朝倉

アクティブラーニングフロア

▶レファレンスカウンター

図書館利用を支援するサービスを行っています。図書館資料の利用方法や情報検索指導、資料の所在調査等の相談に応じるほか、高知大学にない本や論文のコピーなどを学外から取り寄せることもできます。

▶アクティブラーニングフロア

学生が集まって、グループディスカッションやグループワークができるスペースです。可動式のテーブルやイス、ホワイトボードがあり人数や目的に合わせてレイアウトを変更して利用できます。

保健管理センター Health



朝倉キャンパス 保健管理センター

それぞれのキャンパスに医師・看護師(物部キャンパスは看護師のみ)が常駐し、安全な生活をサポート。病気やケガの応急手当てから、健康やメンタルヘルスに関する相談にもなっています。友達づくりなどのイベントも行っていますので参加してみてくださいね。

定期的に取り組んでいます!

朝倉 岡豊 物部

- 健康診断: 全学生対象
- メンタルヘルスに関するアンケート調査: 新入生対象
- 感染症対策、予防接種のチェック
- 心電図検査: インカレ出場者やスポーツを専攻する学生対象
- 特殊健診: 実験で特殊な薬品や放射性物質を使う学生対象
- 骨密度検査
- アルコールパッチテスト
- イベント: メンタルヘルス講演会、料理作りなど

学生何でも相談窓口

朝倉

相談できる場所があるのはホントに安心...

人間関係・課外活動・アルバイト・事件や事故など学生生活のトラブルや悩み、どこに相談したらいいかわからない時は、ひとまずこちらへ。気軽に相談してください。



キャンパスライフ支援ルームからふるパレット

朝倉

学生スタッフも活躍中!

身体の病気や障がいがあってもキャンパスで安心して過ごせるように、バリアフリー環境の整備や授業での困りごとの相談にのっています。学部、学年に関係なく学生が集い、語り合う場「からふるパレットカフェ」を定期的で開催しています。

Cost of Living



大学生の自活ってどんな感じ？



川崎さんの生活費

収入

仕送り 10,000円+家賃
アルバイト 20,000円

支出

・住居費 39,000円
・食費、光熱費 12,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 5,000円

アパートで暮らす

川崎 智生 | 人文社会科学部3年 | 大阪府立三国丘高校出身 |

部屋探しやPC購入は、生協が便利!

僕は騒々しくない自然豊かな場所で学びたくて高知大学に来ました。このアパートは生協管理物件で、静かな環境が気に入っています。大学生協には、部屋探しだけでなくパソコンの購入などでもお世話になりました。今はその恩返しがしたいと、自分も生協のサポーターになってアルバイトをしています。一人暮らし・勉強・アルバイト、うまく両立して自立した学生生活を送りたいと思っています。

体にも財布にもやさしいミールプラン

カフェテリアやベーカーリーカフェで使えるミールプランは、一人暮らしの強い味方です。週ごとに替わるメニューは常に200種類ほどあり、毎日食べても飽きません。また、1円で朝食が食べられる特典もあっておすすめです!

▶ミールプランの詳細情報は、P71へ

一人暮らしの仲間同士、助け合える

高知大学は県外出身者が多く、みんな一人暮らし。図書館で勉強した後は、いつも誰かのところに集合です(笑)。友達づくりの機会も多いので、遠方から一人で来て心配はいりません。僕は、仁淀川でバーベキューをした新入生歓迎会がとても印象に残っています。みんなでおいしいお肉を食べ、川で泳いで、仲良くなれましたね。



神尾さんの生活費

寮母さんや調理師さん、友人の梅津さんと、前列右が神尾さん

収入

仕送り 15,000円
アルバイト 45,000円
奨学金 30,000円

支出

・寮費 19,000円
(食費・光熱費込み)
・食費 15,000円
・交通、交際費 10,000円
・雑費 6,000円
・貯金 40,000円

学生寮で暮らす

神尾 はな | 地域協働学部4年 | 高知県立高知追手前高校出身 |

先輩・後輩との絆があって心強い!

親を離れての新生活は、わくわくする気持ちと、わからないことへの不安が入り交じっています。でも、寮ならたくさんの先輩や友達と一緒になので安心! 私も入学当初、履修登録のやり方や授業科目、ゼミの話などいろんなことを教えてもらいました。ほぼ全学部の学生がいるので縦も横もつながりができ、交友関係も広がります。

寮母さん、調理師さんは、第二のお母さん

かつら寮は、平日は昼と夕の2食付き。お昼は毎日、寮に食べに帰ります。調理師さん手作りのごはんは量も十分だし、すごく美味しい! 風邪をひいたらお粥を作って部屋まで持ってきてくれます。寮母さんは、私たちのちょっとした体調の変化に気づいてくれて、いつも優しく声を掛けてくれます。大好きな高知のお母さん(お姉さん?)たちに囲まれて、毎日楽しく健康に過ごせています。

食堂はみんなが集う場所

レポートや試験勉強などの時期には、みんなが食堂に集まって自分の課題に取り組みます。勉強がハードでしんどい時も、隣にがんばっている人がいればやる気が出るし、お互いに教え合ったり励まし合ったりもできます。一方で、バレンタインデーの時期には食堂が、にわかパティシエたちの作品でいっぱい(笑)。甘いチョコの香りが漂って、「まさに女子寮」という感じになるんですよ。

Club Activities

大学生活において学業を人間形成の縦糸とするならば、サークルや同好会での活動はそこに彩りや厚み、深みを織り込んでくれる横糸のようなもの。同じ時間と思いを共有した仲間は、きっと一生の宝物になるはずですよ。

サークル活動

チームの目標に向かって
全員で「克つ」!

サッカー部

主将 浜田 鷹人 理学部(現 理工学部)4年
(徳島県立城北高校出身)

高知大学サッカー部は、宮武監督のもと全国大会出場を目指し、日々の練習に取り組んでいます。昨年、約20年ぶりに全国大会の出場を逃してしまいましたが、もう一度四国王者となるために、「克つ」というスローガンを掲げ部員全員で団結して戦っています。また、いつも応援し支えてくださっている地域の方々への恩返しとして、子どもたちにサッカー指導をする少年少女サッカー教室など、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。平成が終わり、新たな時代の始まりとともに我々サッカー部も新たな歴史を作ることのできるよう部員一同練習に励んでいきます。



サークル一覧

体育系サークル

朝倉キャンパス 陸上競技部、水泳部、ヨット部、サイクリング部、Free Climbing Club、ワンダーフォーゲル部、ダンス部、硬式庭球部、ソフトテニス部、サッカー部、ラグビー部、バレーボール部、男女ハンドボール部、硬式野球部、バドミントン部、アメリカンフットボール部、ソフトボール部、ライフル射撃部、柔道部、剣道部、合気道部、空手道部、少林寺拳法部、弓道部、卓球部、体操競技部、武道空手部、バスケットボール部、軟式野球部、フットサル部、ラクロス部、漕艇部

岡豊キャンパス 医学部合気道部、医学部空手道部、医学部弓道部、医学部剣道部、医学部硬式庭球部、医学部ゴルフ部、医学部サッカー部、医学部自転車部、医学部蹴球部、医学部柔道部、医学部準硬式野球部、医学部ソフトボール部、医学部卓球部、医学部ダイビング部、医学部バスケットボール部、医学部バドミントン部、医学部バレーボール部、医学部ハンドボール部、医学部ヨット部、医学部ラグビー部、医学部ワンダーフォーゲル部、水泳部、陸上競技部

硬式野球部

練習場所や時間が限られている中で効率の良い練習をするため、常に意識を高く持ち練習に取り組んでいます。また感謝の心も忘れず、応援して頂いているの方々へ恩返しができるよう、四国優勝そして神宮出場を目指しています。



陸上競技部

陸上競技部では、陸上競技における技術の向上はもちろん、陸上競技を通しての豊かな人間関係の形成を目指しています。また、高知県内における陸上競技の振興活動、陸上競技を通しての地域貢献なども大きな目標として積極的な活動を行っています。



バスケットボール部

男女ともに人数が多くはありませんが、少ないながらも楽しく活動し、インカレ出場を目指しています。週5日の練習なので個人的な時間は削られますが、充実した時間を過ごせます。興味のある方は見学や体験入部をしてみてください。



高知の剣士
ここにあり!

剣道部

代表 三村 莉穂 教育学部3年
(岡山県立玉島高校出身)

剣道部は、矢野宏光先生をはじめ多くの方々のご指導のもと日々稽古に精進しております。去年の全日本女子優勝大会では初のベスト16進出を果たしました。

近年は、男子も力をつけてきているので、今年こそは男女アベックで全日本出場を目指します。興味のある方は是非武道館までお越しください。



医学部ゴルフ部

高知医科大学設立の頃から続く伝統あるゴルフ部。部員約50名。練習場で週2回の活動のほか、毎週土曜日は黒潮カントリークラブでボール拾いなどのお手伝いをする代わりに無料でラウンドさせていただいています。





高知大学のサークル数は100以上!
このほかに個性的な同好会もたくさんあります。
詳しい情報は、高知大学のホームページを
チェックしてみてください!

スマホの
カメラでは撮れない
一枚をぜひ
撮ってみませんか?

写真部

行平 壮秀 人文社会科学部3年
(大阪府 私立初芝富田林高校出身)

高知大学写真部には、カメラを触るのがはじめての方からベテランまで、様々な部員が所属しています。

また、写真の勉強会やカメラの貸し出しも実施しているので、カメラを持っていない人でも安心して活動できます。写真部全体での活動としては、週に1回の部会、月に1回の野外ロケ、そして年に1回の撮影合宿を行っています。

また、撮った作品を展示する部展も年に2回行っています。



キャンパスライフ

文化系サークル

朝倉キャンパス 交響楽団、吹奏楽団、合唱団、ギターマンドリンクラブ、邦楽部、フォークソング部、FOLK FOLK、軽音楽サークルBLUESKY、SEA BREEZE、美術部、表千家不白流茶道部、裏千家茶道部、囲碁将棋部、演劇研究会、天文系サークル星の会、野生生物研究会、写真部、子ども倶楽部、総合映像研究会、放送研究会JAKKU、園芸部、奇術部Trick or Treat、Hand to hand、文芸創作サークル海老鏡、環境サークルESWIQ、防災すけっと隊、ジャズ研究会ゆずジャズ、アカペラサークルOn-Air

岡豊キャンパス アウトドア・HAM・サークル、ACT-K、ACLS南国、医学部アジア僻地医療を支援する会、医学部ESS、医学部囲碁・将棋部、医学部裏千家茶道部、医学部映画研究会、医学部小原流華道部、医学部合唱団、医学部管弦楽団、医学部漢方研究会(うどん部)、医学部軽音楽部、医学部写真部、医学部ジャズ研究会、医学部ダンス部、医学部天文部、医学部美術部、地域医療研究会ARMS、パソコンサークルDOS/V、Peer部、フィールド医学研究会、Mental Health Care Club、医学部まんが研究部

邦楽部

箏・三味線・尺八の演奏活動をしています。12月に定期演奏会を行っており、他大学の箏曲部や四国・中国地方の邦楽部と交流したり、外部からの演奏依頼に応じています。日本の伝統楽器を皆で合奏したり、交流できるのはとても楽しいですよ!



アカペラサークルOn-Air

先輩後輩関係なく和気あいあいとした空気が魅力です。1年を通して学内ライブや地域のイベントでの発表を主として活動しています。初心者・経験者関係なく、編曲したり、ハモったり、充実したアカペラ生活がおくれること間違いなし!



裏千家茶道部

毎週のお稽古で礼儀・作法・お客様へのおもてなしの心を学びながら、年3回のお茶会に向けてお点前の練習をしています。

黒潮祭(文化祭)でもお茶席を持たせていただきますので、ぜひ気軽にいらしてください。



野生生物研究会

釣りや昆虫採集、植物採集などを中心に、自然の中で生物と関わる様々な活動を行っています。活動場所は主に大学近くの川や海、山です。時には県外等に遠征を行ったり、キャンプをしたりもしています!



防災すけっと隊

代表 坂口 ひなた 人文社会科学部3年
(大阪府立牧野高校出身)

私たち防災すけっと隊は、近い将来必ず起こるとされている南海トラフ地震に備え、高知県の防災力を向上させることを目的に活動しています!小中学校・高校での防災授業や、地域に入った防災活動、防災グッズの開発・販売活動、防災イベントの企画・実施などの活動を行っています!

私たちと一緒にやりたいことを創造・実現し社会貢献を目指しませんか?



防災で
社会貢献+自己成長!



ASAKURA Campus

朝倉キャンパス

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
▶詳しくは90ページ



充実キャンパスでのびのびライフ

1. メインストリート

メインストリートにそびえるワシントンヤシは、キャンパスのシンボル。おしゃれなパラソルの下は、勉強にもおしゃれにもぴったりな場所です。



朝倉での移動は自転車が一番便利。買い物も通学もこれ一台！ただし、南国の日差しはきついので気を付けて

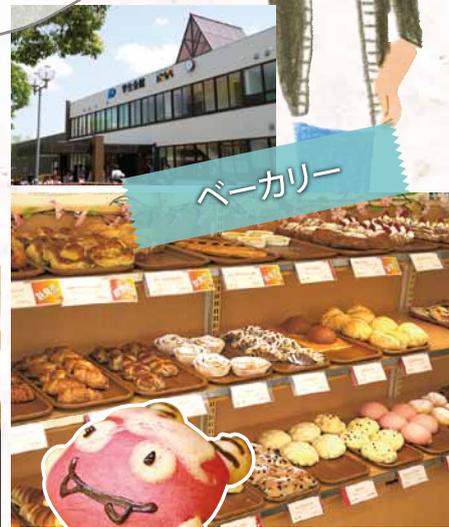


2. 高知大学生協 IKUS

朝倉キャンパスの学食にはカフェテリアとベーカリーが併設されています。特に焼き立てパンは種類も多くて大人気！季節ごとのアイデア商品も登場します。



カフェテリア



ベーカリー



パソコン購入

ノートパソコンは授業で使うので必須です。学協で購入できますので、お問い合わせください。学協では、サポート修理も受付。安心です。



書籍コーナー



コンビニコーナー

学生が多く、にぎやかなキャンパスです。メインストリートのヤシの木が南国土佐らしい！



3. hocco sweets ホッコ・スイーツ

特別支援学校に通う生徒の就労支援の場でもある菓子工房「hocco sweets」。キャンパス内で、絶品ロールケーキや本格ドイツ菓子が食べられるのはここだけかも?!



4. メディアの森

試験前の勉強やレポート作成は「メディアの森」で。メディアの森とは、朝倉キャンパス学術情報基盤図書館の愛称です。新聞閲覧コーナーやアクティブラーニングフロア、グループ学習室など、様々な環境が整っています。資料や専門書も、もちろん、充実。



5. トレーニング室・武道館

2013年に新設されたトレーニング室と、2014年に完成した武道館。授業でも使用しますが、特にスポーツをしている学生からは、体づくりに役立つと好評です。



キャンパス周辺ガイド

周辺はスーパーやドラッグストアが多い住宅街。学生向けの食堂やカフェも多く、過ごしやすい環境です。



Watching ASAKURA campus



シンボルツリー「おうちの木」

おうち 榎クラブ学生ラウンジ ほっとステーション

建物の前面にウッドデッキや池のある広い庭があるなど、開放的で明るい空間のフリースペースです。ここちよい風や四季を感じながら、友達とのおしゃべり・ミーティング・ランチ・勉強など自由な時間を過ごしてください。

※榎(おうち)=センダン

OKO Campus

岡豊キャンパス

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう
詳しくは90ページ



医学部生は勉強も遊びも真剣!

キャンパス内にある附属病院には、2014年に屋上ヘリポートを備えた第二病棟が完成。救急医療や災害時医療など、地域の期待が大きい病院での実習には自然と身が入ります。



研究施設

勉学編

医師や看護師を目指し勉強に励んでいます。テスト期間中は1日中図書館へ。授業がある講義棟では、友達同士で勉強することも。組織実習や看護実習など、実践的な授業が多いのも高知大学医学部の魅力です。



イベント

課外活動編

毎年10月に行われる学祭「南風祭」のほか、学部生みんなで盛り上がる体育祭も開催。イベントを通してみんなが仲良くなれます。勉強のストレスも発散できます!





Shop情報



① 学生食堂



② 書店



③ タリーズコーヒー



医学学科ロビー



看護学科ロビー

生活編

学食はメニュー豊富でボリュームも満点。さらにリーズナブルなので、一人暮らしにはうれしい味方。キャンパス内には、患者さんのためにつくられたタリーズコーヒーや、ホスピタルローソンもあって便利です！



学生さんに聞きました！

キャンパスに面した川にはかわせみや鴨もいて、散歩すると和みますよ。また、敷地内には附属病院があり一般の方がたくさん来られます

キャンパス周辺ガイド

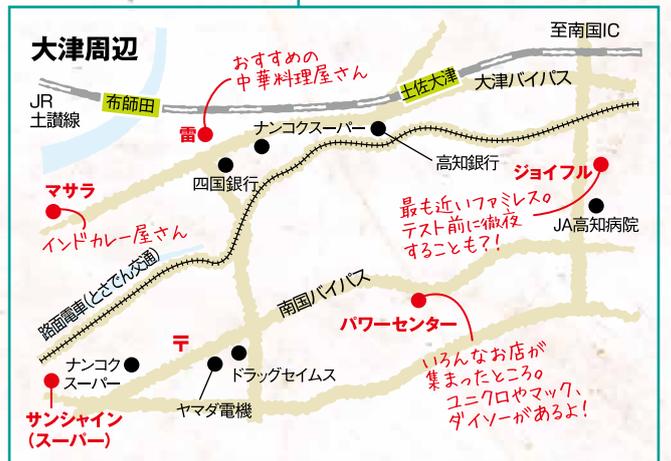
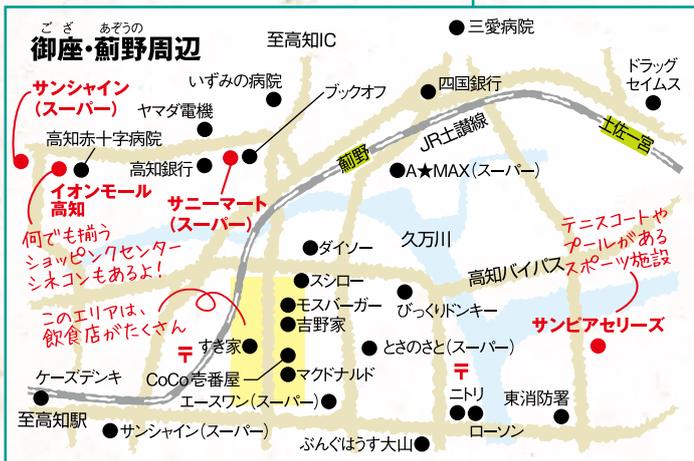
キャンパス近くには岡豊山があり、春には桜が咲き誇る自然豊かな環境です。学生の生活エリアは、スーパーやコンビニが充実している御座・薊野や大津、後免周辺です。1年生で免許を取得し、車で通学する学生も多くいます。

ごめん
後免周辺の情報は、物部キャンパスページ(▶P80)をご参照ください。

※地図情報は「医学部周辺★地理ガイド」からも一部抜粋しています。



車通学には、大学からの許可証が必要。キャンパスから最短距離で2km以上離れたところに住んでいる学生にしか発行されないで、ご注意ください。



MONOBE Campus

物部キャンパス

アプリをダウンロードして
スマホで読み込もう

詳しくは90ページ



周囲に海、山、川。 大自然がキャンパス

広大な農場

教室のすぐ前に広がる農場。ここで栽培されたお米や季節の野菜を構内で販売しています。安くておいしいと評判ですよ。

学習・研究・厚生施設

グラウンドやテニスコート、体育館も申請すれば自由に使える。アクティブな生活が満喫できます！



カフェテリア

福利厚生施設



研究室



野菜販売

キャンパス内にある農場には、牛がたくさん。構内に農場がある大学は珍しいと思いますよ！

高知全体がフィールド

海、山、川に恵まれ、高知全体が農学を学ぶ最高のフィールドといえます。自然に恵まれた高知ならではの楽しい経験ができます。

森林

河川

農地

ラボ

海洋

海底

フィールドサイエンス



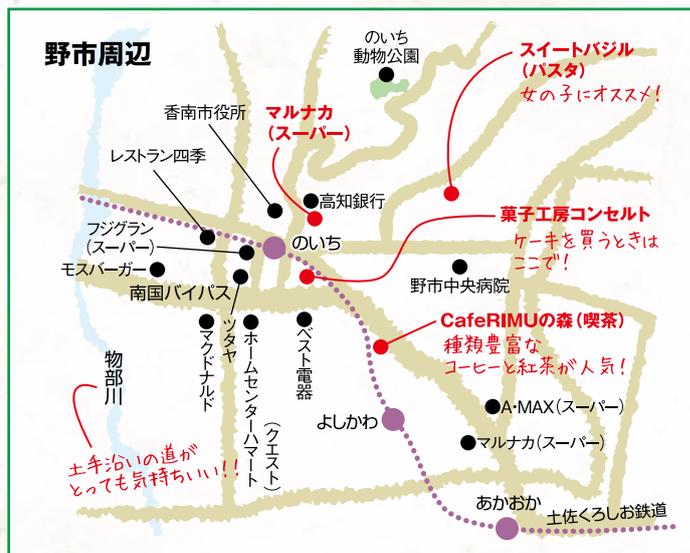
1 キャンパスに隣接する農場は、なんと東京ドーム4個分もの広さ! 2 農場では田植え体験や、様々な農作物の栽培環境を学ぶ授業などがある 3 土佐あかうしの触れ合いや飼育管理の体験も! 4 高知県の山は森林率日本一。亜熱帯から亜寒帯までの幅広い植生が特徴だ 5 水質日本一の仁淀川、四万十川、キャンパス横を流れる物部川など流域環境も多様 6 シュノーケリングや釣りを通じて海と触れ合う授業や、実習船で水質調査を行う授業も! 7 海底コア研究の最先端に触れ、太古の地球から未来へと思いを馳せる 8 食や環境、土壌中に見られる様々な微生物を生育させる作業と観察を行う

キャンパスライフ



キャンパス周辺ガイド

キャンパスから海や川までは歩いて数分、海辺や川原でバーベキューも楽しめます。また空港が近く、飛行機が大空へと飛び立つ迫力の景色も堪能できます! 学生の生活エリアはキャンパス周辺のほか、スーパーやコンビニが充実した後免や野市です。



入学料・授業料と奨学金制度について

Entrance fee, Tuition, Scholarship

入学料・授業料

高知大学の初年度納付金は、学部・プログラムに関わらず817,800円です。授業料の納付は、第1学期分については、5月中、第2学期分については11月中と決められていますが、経済的理由により入学料または授業料の納付が困難な場合は、入学料・授業料免除及び徴収猶予の制度があります。

▶ 初年度納付金 **817,800円**
(入学料+授業料)

区分	金額	納入期日
入学料	282,000円	入学手続きの時
授業料	第1学期	267,900円 5月中
	第2学期	267,900円 11月中
	年額	535,800円

※入学料および授業料について改定が行われた場合は、改定時から新入学料及び新授業料が適用されます。

■ 入学料・授業料に関するお問い合わせ先

財務部経理室出納係 TEL 088-844-8125

支援制度

経済的理由による授業料免除及び徴収猶予

新入生で、入学前1年以内に学資負担者が死亡したり、風水害などの災害を受けたなどの理由により、入学料の納付が困難である学生は、申請により入学料の全額または半額が免除される場合があります。

また、経済的理由によって、授業料の納付が困難で、かつ学業優秀な学生は、申請により授業料の全額または半額の納付が免除される場合があります。ただし、新入生は入学試験合格をもって学力基準適格とみなします。

なお、日本学生支援機構の給付型奨学金の給付対象者は、申請することにより各期の授業料が全額免除されます。

■ 入学料・授業料減免制度に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 学生生活支援係 TEL 088-844-8146

住居

▶ 学生寮について



南涙寮



かつら寮



ときわ寮



日章寮

寮名	性別(定員)	月額寮費	部屋・その他	大学までの通学時間
南涙寮	男子 (242人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(洋室) 3食 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約5分
かつら寮	女子 (60人)	約20,000円 (食費含む)	2人部屋(和室) 昼・夕 食事付 (土・日・祝、長期休暇中はなし)	朝倉キャンパス正門まで 徒歩約10分
ときわ寮	女子 (82人)	約7,500円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	朝倉キャンパス正門まで 自転車で約10分
日章寮	男子 (60人)	約10,000円 別途電気代(自室分)	個室(洋室) 食事なし(自炊設備あり)	物部キャンパスに隣接

■ 日章寮を除く学生寮に関するお問い合わせ先

学務部学生支援課事務係

TEL 088-844-8091

■ 日章寮に関するお問い合わせ先

物部総務課学務室学生支援係

TEL 088-864-5116

▶ アパート・マンションについて

アパートやマンションの情報提供は、高知大学生生活協同組合が行っています。賃料は建物の新旧や場所などの条件によって異なります。

▶ アパート(6畳~8畳 1K・ワンルーム)
月額:約25,000円~約50,000円



■ 高知大学生生活協同組合 TEL 088-844-1501

※高知大学生協では、大学生のための物件情報をホームページでご案内しています。
<https://vsign.jp/kouchi/>

▶ 国際交流会館

外国人留学生・研究者専用住居として、平成5年度末に国際交流会館が、岡豊キャンパスと物部キャンパスに設置されました。



岡豊キャンパス



物部キャンパス

奨学金制度

奨学金制度としては、日本学生支援機構の奨学金が主なものですが、その他に高知大学独自の奨学金及び地方公共団体や民間育英団体等の奨学金があります。

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金

大学・大学院等で学ぶ人を対象とした、国が実施する奨学金です。

※日本学生支援機構奨学金についての詳細は日本学生支援機構のホームページを確認してください。 <https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

▶ 給付型奨学金 (学部奨学生)

※ 授業料の全額免除を受ける場合は、給付月額が減額されます。

区分	給付月額
自宅通学	20,000円
自宅外通学	30,000円

■ 奨学金制度に関するお問い合わせ先

朝倉キャンパス 学生支援課 TEL 088-844-8565
岡豊キャンパス 学生課 TEL 088-880-2268
物部キャンパス 物部総務課学務室 TEL 088-864-5116

▶ 貸与型奨学金

奨学金の種類

- (ア) 第一種奨学金(無利息)
- (イ) 第二種奨学金(利息付)…在学中は無利息、卒業後年3%を上限とする利息付。
- (ウ) 入学時特別増額貸与奨学金(利息付)…この奨学金は日本政策金融公庫の「国の教育ローン」を希望したが、融資を受けられなかった世帯の学生を対象とし、第1学年(編入学生の入学年次を含む)において、希望により第1回目振込時の月額に増額して貸与を受けることができます。

貸与月額

(ア) 第一種奨学金(無利息) <学部奨学生>

区分	貸与月額(予定)			
自宅通学	(最高月額) 45,000円	30,000円	20,000円	20,000円
自宅外通学	(最高月額) 51,000円	40,000円	30,000円	20,000円

※ 最高月額を選択するには家計支持者の認定所得金額が日本学生支援機構の定める収入基準額以下である必要があります。

(イ) 第二種奨学金(利息付) <学部奨学生>

2万円、3万円、4万円、5万円、6万円、7万円、8万円、9万円、10万円、11万円、12万円から選択

(ウ) 入学時特別増額貸与奨学金(貸与額)

10万円、20万円、30万円、40万円、50万円から選択

高知大学だけの奨学金制度

▶ 高知大学修学支援基金奨学金

高知大学に在学する経済的理由により修学が困難な学生の修学を支援し、高知県及び我が国の将来を支える人材育成に資することを目的とする、寄附金に基づく「高知大学修学支援基金」を原資とした返還義務を必要としない奨学金です。

▶ 高知大学地方創生人材育成基金奨学金

高知の将来を考え、高知に根ざし、高知のために真に貢献しようとする学生を対象に奨学金を給付することにより、将来に渡り高知で生計を立て、その発展に貢献する人材の育成に資することを目的とする奨学金(給付)です。

▶ 高知大学医学部岡豊奨学会奨学金制度

医学部に在学する学資の支弁が困難な学生(外国人留学生を除く)に対して奨学金を1年間支給するものです。

▶ 高知大学池知奨学金

農学部農学科森林科学コース及び農林海洋科学部農林資源環境科学科に在学し、将来林業の振興に貢献しようとする学術優秀、志操堅実等であって、学資の支弁が困難で他から奨学金を受けない学生に対して支給する奨学金です。

▶ 土佐さきがけプログラム奨学事業

土佐さきがけプログラムの学生で、学業成績等一定の基準を満たした者に対し、グリーンサイエンス人材育成コースの修士課程における留学や授業料、国際人材育成コースにおける留学、スポーツ人材育成コースにおける各種競技会への遠征等にかかる経費の支援を行います。

▶ 国際交流基金

詳しくは、国際交流ページ(68ページ)をご覧ください。

学生教育研究災害傷害保険(学研災)・学研災付帯賠償責任保険(学研賠)制度

この保険制度は、大学で学ぶ学生が教育研究活動中に被った急激かつ偶然な外来の事故により身体に被った被害を救済(学研災)し、また正課中、学校行事中、課外活動中及びその往復において他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償(学研賠)するための保険制度です。学生は安心して学業に専念できるよう、全員この保険に加入してください。



就職活動支援 Career Support

社会への扉を開く

学生の皆さんが実社会に自分の力を発揮できる場を見出し、大きく羽ばたいていけるよう、学生総合支援センターキャリア形成支援ユニットと学務部学生支援課就職室が連携して就職活動をサポートしています。

きめ細やかな就活サポート 就職室を上手に利用しよう!

サポート 1 Support. 1

いつでも、どんなことでも、
専門スタッフが相談に応じます

就活に漠然とした不安を感じる、進路が定まらない、面接の練習がしたい...など何でも気軽に声を掛けてください。スタッフがいつでも相談に応じます。

私たちが全力で
サポートします!!



経験豊富な就職相談員がいるので心強い!

高知大学の就職室にはスタッフ以外にも丁寧に相談に乗ってくれる経験豊富な外部の就職相談員が数多くいます。就職活動は社会状況や雇用状況などの就職環境を知ること、自分自身を知ること、採用する相手先を知ることが基本です。就職相談員は相談以外にも履歴書・応募書類・エントリーシートの添削や個人面接の練習なども行ってくれます。

また、外部相談員以外にも「ハローワーク高知」の大卒ジョブサポーターが大学に来てくれます。このように充実した進路・就職相談体制がありますので気軽に相談に来てください。

▶ 就職相談員からのメッセージ

「自分」の編集をサポート
します!

国光 ゆかり ひなた編集室 代表

編集の仕事は、対象物のいいところを見出して輝かせること。就職活動での自己アピールも、<編集>の視点が活かせます。自分が本来持っているいいところを見つけ出し、整理し、魅力的に表現する...こうした「自分」を編集する作業は、将来の方向性を見つけるヒントになり、他者に自分をアピールする自信にもつながります。



サポート 2 Support. 2

今すぐ役立つ、
オリジナルガイドブックを配付!

学部3年生と大学院1年生に、就活支援ガイドブック「Ambition」を配付しています。就活の基本的な流れやそれぞれの段階におけるポイント、書類作成や面接のコツなど役立つ情報が満載で、学生に好評です。



サポート 3 Support. 3

話題の就活本や、
過去の「就職活動報告書」が
閲覧できます!

就職室には、話題の書籍や新聞など最新の就活資料がいっぱい! また、就職活動(内定)報告書には先輩たちが受けた企業の採用スケジュールや試験内容、ポイントなどが詳細に記録されており、就活生は必見です!



サポート 4 Support. 4 インターンシップの窓口として 学生と企業をつなぎます

インターンシップには様々な種類がありますが、就職室では皆さんが自分の目的に合ったインターンシップを果たせるよう、情報提供や事前指導を行っています。

インターンシップの種類

- 学部・学科が主体となって開設するインターンシップ授業(単位認定)
- 正課外で行うインターンシップ(「企業研修(インターンシップ)」として単位認定)
- 企業が主体となって開設するインターンシップなど

サポート 5 Support. 5

大学に来た求人情報もPCや携帯から簡単に閲覧!

大学に届いた求人情報は、「高知大学就職ナビ」からいつでも簡単に確認できます。就職セミナーや会社説明会などの開催情報も学内システム(KULAS)で案内しており、携帯に転送設定しておけば大事な情報も逃しません。

就活力を高めるプログラム

理論系・実践系のセミナーを活用して、動ける自分に出会えるはず！

THINKING

社会での自分の役割を自己分析から考え、就職活動を楽しめるような意味づけをしていきます。

ACTION

多彩な実践セミナーで、経験から得た気づきを今後の行動に活かせるようにサポートしています。

皆さん、ぜひ積極的に活用してくださいね！

就活セミナー (理論編)

外部から講師を招聘して、就職活動に対する基本的な知識・スキルを座学で身につけます。

2019年度のスケジュール

- 5月 就活スケジュール・スタートアップ・就職室の活用術
- 10月 教養・適性試験対策
- 11月 エントリーシート対策
面接対策
- 12月 グループディスカッション対策
マナー・エチケット講座
- 2月 直前対策講座



面接対策指導

就活セミナー (実践編)

理論編と連動しながら、実践的な対策を行っていきます。

2019年度のスケジュール

- 10月 U・Iターン就職相談会
- 11月 教養・適性試験対策実践
- 12月 エントリーシート実践
- 11月～2月 面接対策特訓
- 1月 グループディスカッション実践
- 12月～2月 学内業界研究セミナー
- 3月 学内合同企業説明会
バスツアー支援

- 随時 セカンドキャンパス(首都圏・関西圏などの就活拠点)の設置
- 随時 個別企業説明会、個別就職相談

教職・公務員セミナー

教職・公務員に特化したセミナーも実施しています。

2019年度のスケジュール

- 5月 採用試験の概要と対策(教職・公務員)
- 10月 出願への準備(教職)
- 11月 合格者報告・座談会(教職)
- 10月～11月 国家公務員セミナー(公務員)
- 12月 人物評価の対策(教職・公務員)
- 1月 人物評価実践指導(教職・公務員)
業界研究セミナー「公務のしごと」(公務員)

自己分析・理解セミナー

就職活動の軸となる自己アピールポイント抽出のために自己理解を実践するセミナーです。

2019年度のスケジュール

- 6月・10月 自己分析・理解セミナー

インターンシップ支援プログラム

就職活動が本格化する前に業界・企業、『働くこと』を考えるキッカケとしてインターンシップに参加することをおススメしています。事前のセミナーや様々な地域のインターンシップ情報が得られる相談会を実施します。

2019年度のスケジュール

- 6月 インターンシップスタートガイダンス
西日本各県のインターンシップ担当者によるブース形式の相談会
中四国の企業中心のマッチングセミナー
高知県企業マッチングセミナー
- 7月 インターンシップマナーセミナー

就活生の強い味方!

就活生の強い味方!

関西圏・岡山 バスツアー

「希望する地域や、あこがれの企業の説明会に参加したい。でも遠方へ何度も出向くのは金銭的にも大変…」そこで、高知大学では就活生とご家族を応援するため、関西圏・岡山エリアへの格安バスツアーを催行しています。



セカンドキャンパス 東京 大阪 広島 福岡

慣れていない都市でも、安心して利用できる高知大学の拠点「セカンドキャンパス」です。

セカンドキャンパスでできること

1. ラウンジ利用
インターネットやコピー機などが無料で利用できます。
2. 荷物の一時的預かり
キャリーバッグなどを無料で預けることができます。
3. 更衣室完備
私服やスーツへの着替えができる更衣室を備えています。
4. セミナーの実施
スキルアップセミナーや対策講座が受けられます。(要予約)
5. 休憩・情報交換
休憩や就活中の他学生との情報交換の場として活用できます。

学生証提示で利用無料
予約不要





学生たちの就職活動を最も身近で支えている就職室。そのスタッフに高知大学の就職の「今」について聞いてみました。

Q 県外出身者です。高知県以外の地方や都市圏への就職状況はどうなのでしょう？

高知大学は全国から多くの皆さんが入学してきます。入学生の約75%（年により若干変動します）は県外出身者です。そのため就職でも首都圏・関西圏や出身の都道府県への就職希望は多く、毎年、7割以上は県外企業等（大手企業を含め、公務員や教員など）に就職しています。「全国から集まり、全国へと羽ばたく」それが高知大学です。大都市圏・地方圏を問わずOB、OGが活躍していますので、県外への就職も強いのです。

Q 就活といっても、よくわかりません。大学では就職情報の提供や説明会などは行っているのでしょうか？

高知大学では様々な就職支援を行っている就職室があり、以下のようなサービスを提供しています。①就職等進路に関する相談 ②就職ガイドブックの配布 ③就職支援セミナーの実施 ④就職情報検索用のパソコンの設置 ⑤企業の求人票・会社案内の閲覧 ⑥公務員試験問題集などの参考図書や雑誌の閲覧・貸出 ⑦企業説明会の開催などです。1年生でも大歓迎ですのでどしどし利用してください。

Q 高知大学には学生の就職支援に携わる人はどのくらいいるのでしょうか？

就職室の専門スタッフの他、各学部の就職委員などを含めると50名以上になり、1学年1,000名規模の大学でこの人数はかなりの多いと聞きます。ご安心ください。例えば、県外で就活中に悩みや相談したいことが出てきた場合も電話で対応しています。

Q 高知県外に就職希望です。県外の就活セミナー会場に行くのは交通費など負担が大きくなりそうで心配なのですが…

就活バスツアーをご利用ください。大学主催で大阪・岡山行き的高速バスをチャーターしており格安料金で現地の合同企業説明会に参加できます。このほか、首都圏・関西圏などに就活拠点（セカンドキャンパス）を設けていますので、学生証を提示すれば、施設などを無料で利用できます。

Q 教員志望です。教員採用試験対策は行われていますか？

高知大学では教育学部以外の学部にも教員志望者がいます。このため教員採用試験対策として外部講師を招いてのセミナーの開催・採用面接実践指導、合格者による報告会・座談会や教員を目指す学生のための合宿の開催など様々な支援を行っています。

Q セミナーやイベント以外に、個別のサポートなどはありますか？

要望にできるだけ対応しています。例えば、面接やグループディスカッションの練習がしたいという申し出があれば、相談員が面接官役になって練習することも可能です。また、採用活動のピークを過ぎても就職活動を継続している学生や求職中の既卒者に対して「未内定者マッチング支援」を行っています。学内説明会に参加いただいた企業・団体から未内定者へのスカウトを受ける形で未内定者とのマッチングを実施しています。

Q 物部キャンパスでのサポート体制はどうなっていますか？

物部キャンパスでは学務室の中に就職担当があり、セミナーの開催や就職相談を行っています。また、行ったセミナーは「moodle」というe-Learningサイトにて視聴できます。

就職関連データ

なお、最新の就職関連データは、高知大学ホームページ「就職支援 > 先輩たちの就職先 > 進学者数・就職者数 / 主な就職先分野及び就職先」にて、ご覧いただけます。



■グラフ1
就職先の県内外比率
(平成29年度卒業生)

合計:828人



■グラフ2
就職希望者数に対する
就職内定者率
(平成29年度卒業生)



■グラフ3 学部別就職状況 (平成29年度卒業生)



先輩たちの就活体験

企業 人の心を動かせるアナウンサーに

河野 真歩 人文学部4年 | 株式会社高知放送 アナウンサー職 内定 | 大分県 私立大分高校出身

アナウンサーになるのが小さい頃からの夢でした。その夢を叶えるため、そして専攻していた心理学をより深く学ぶために、私は地元の短大から高知大学に編入してきました。

専門として取り組んだのは災害心理学です。卒論のテーマは、「災害時の避難行動と情報感度との関連」。4年生の夏には東日本大震災で津波被害を受けた地域を訪問し、被災した方々からお話を聞かせていただきました。現地での取材や先生との議論を通して、災害時の心理や避難情報の受け取り方について考察するだけでなく、自分自身がこれからどのように発信していけばよいのかを考え直す機会も得ました。

卒論と並行して進めた就活では、そうした思いと、自分自身の個性を伝えることに重点を置きました。

高知大学は地方の大学です。県内にアナウンススクールもなければ、都会ほど情報量もありません。けれど、就職室ではメディアに強い外部講師の先生が一对一で業界知識から自己分析、自己理解まで様々な角度から指導してくださり、おかげで面接も楽しみながら臨むことができました。

また私は「夢は必ず叶う」と信じ、夢を日頃から口にしていたことで、「じゃあイベントの司会やってみる?」「ポスターに載る?」などと声をかけていただき、多くの経験を積むことができました。友達、先生、就職室の皆さん、地域でお世話になった方々 — すべてのお会いに感謝しています。

今後は、いざという時に人の心を動かせるような避難誘導や情報提供の術を磨き、視聴者から存在価値を認められるアナウンサーになりたいです。



企業 自分のやりたいことに、まっすぐに!

久野 大貴 総合人間自然科学研究科 理学専攻2年 | キヤノンメディカルシステムズ株式会社 内定 | 佐賀県立白石高校出身

高校時代はバレーボールに熱中し、尊敬する選手が高知県出身だったことから高知大学の受験を決めました。理学部を選んだのは、原子核や電子に興味があり、物質に関する基礎研究がしたかったから。最初は化学コースを選びましたが、量子力学や統計力学の分野を学びたい気持ちが強くなって物理科学コースに変更し、さらにおもしろくなって大学院に進みました。

就職活動については、大学院1年の夏頃から情報収集を始め、本格的に動いたのは12月に入ってからです。会社訪問やインターンシップをしながら、自分の研究成果を生かせる会社を探しました。インターンシップで気持ちが動いたのが、物質の分子構造を解析する核磁気共鳴装置の技術を実用化したMRIなどの医療機器を作るメーカーです。

核磁気共鳴装置は私の研究に欠かせない相棒のような機器で、この分野を究めることに興味がわきました。解析の経験やノウハウが活かせると考えました。

就職室ではエントリーシートの書き方や添削指導、自己分析のアドバイス、面接の個人指導などを行っており、熱心に通ってスキルを上げました。大学のバレーボール部でキャプテンを務め、全日本選手権で戦った経験や、教育実習で要点をまとめて話す鍛錬を積んだこと、大学院では学会でわかりやすい発表を工夫したことによって自身が成長し、よい結果につながったと思います。



さらに専門知識を身につけ、プロフェッショナルとして活躍できるようがんばります!

こちらも注目

地域で活躍したい学生には...

大学・行政・経済団体がタッグを組んで学生の意欲を後押し!

地方創生推進士



学部を問わず、大学の教育課程で地域を学び、住民の皆さんと積極的に交流し、地域の課題解決に取り組んだ学生、高知県への理解と愛情を持ち、地域に貢献したいと考える学生に与えられる称号が「地方創生推進士」です。地方創生推進士と県内企業とのマッチングやインターンシップなど、意欲ある学生が高知県で活躍できる機会を増やす取組を行っています。

— 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)



入試データ Data

平成31年度入学者選抜実施状況と平成30年度入学者選抜の実質倍率

学部	学科・課程等	入学定員	一般入試												AO入試			推薦入試							
			前期日程						後期日程						AO入試I			推薦入試I			推薦入試II				
			募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	前年倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	受験者数(人)	合格者数(人)	実質倍率(倍)	前年倍率(倍)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)	募集人員(人)	志願者数(人)	合格者数(人)		
人文社会科学部	人文科学コース	94	59	268	235	84	2.8	2.0	5	91	35	5	7.0	4.3				30	80	30					
	国際社会コース	A選抜	83	38	93	82	49	1.7	1.3	10	74	26	11	2.4	1.7				20	57	21				
		B選抜																	15	24	15				
	社会科学コース	A選抜	98	55	145	139	63	2.2	1.6																
		B選抜		5	22	22	5	4.4	4.5																
小計	275	157	528	478	201	2.4	1.8	20	262	96	21	4.6	2.9	8	39	8	90	212	91						
教育学部	学校教育教員養成課程	130	幼児教育コース	6	17	14	7	2.0	2.5												4	11	5		
	教育科学コース																								
	教科教育コース		54	172	148	65	2.3	2.9	5	77	34	5	6.8	6.4				14	41	14	23	50	25		
	特別支援教育コース																								
	音楽教育コース		7	7	7	7	1.0	1.2																	
	美術教育コース																								
	保健体育教育コース		6	23	21	7	3.0	3.0											6	17	6				
	科学技術教育コース		5	4	2	2	1.0	1.2																	
小計	130	78	223	192	88	2.2	2.6	5	77	34	5	6.8	6.4				20	58	20	27	61	30			
理工学部	数学物理学科	55	数学受験	19	52	47	20	2.4	1.6									10	26	11					
	理科受験		15	23	21	18	1.2	1.2										8	6	4					
	情報科学科	30	16	62	61	19	3.2	1.7	3	34	17	4	4.3	2.0				10	23	10					
	生物科学科	45	29	77	75	35	2.1	3.5	5	22	9	5	1.8	2.7				10	23	12					
	化学生命理工学科	70	46	113	107	49	2.2	1.8	10	92	29	21	1.4	1.8				13	30	13					
	地球環境防災学科	40	19	80	78	21	3.7	1.3	5	48	25	7	3.6	1.0	7	20	8	8	26	9					
小計	240	144	407	389	162	2.4	2.0	25	221	92	46	2.0	2.0	7	20	8	59	134	59						
医学部	医学科	110	60	264	232	60	3.9	3.6							30	196	30				20	61	20		
	看護学科	60	27	106	102	31	3.3	1.7	6	104	36	7	5.1	2.9				27	71	27					
	小計	170	87	370	334	91	3.7	3.0	6	104	36	7	5.1	2.9	30	196	30	27	71	27	20	61	20		
農林海洋科学部	農林資源環境科学科	90	暖地農学主専攻領域	50	170	151	58	2.6	1.3	12	210	89	21	4.2	1.8				2	6	3	4	5	3	
	自然環境学主専攻領域																	3	12	3			3	1	1
	森林科学主専攻領域																		2	6	2				
	森林科学主専攻領域(一般推薦)																						5	1	1
	森林科学主専攻領域(専門推薦)																						1	0	0
	生産環境管理学主専攻領域																		4	14	5	4	5	4	
	農芸化学科	45	35	87	73	39	1.9	1.3	5	138	30	12	2.5	2.2								5	2	1	
	海洋資源科学科	65	海洋生物生産学コース	18	46	36	19	1.9	2.2	7	89	30	12	2.5	2.8										
	海洋生物生産学コース(一般推薦)																						6	23	8
	海洋生物生産学コース(専門推薦)																						2	4	1
海底資源環境学コース	9		24	20	11	1.8	2.2															5	10	6	
海洋生命科学コース	14		53	45	14	3.2	5.1															4	13	5	
小計	200	126	380	325	141	2.3	2.0	24	437	149	45	3.3	2.2	3	12	3	8	26	10	39	64	30			
学部協働	地域協働学科	60	35	98	89	44	2.0	2.5							15	63	15	10	28	10					
小計	60	35	98	89	44	2.0	2.5							15	63	15	10	28	10						
土佐さきがけプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース	(5)	(5)	5	5	2	2.5	2.0																	
	国際人材育成コース	(10)	(10)												(10)	13	8								
	小計	(15)	(5)	5	5	2	2.5	2.0							(10)	13	8								
合計		1,075	627	2,011	1,812	729	2.5	2.2	80	1,101	407	124	3.3	2.5	63	343	72	214	529	217	86	186	80		

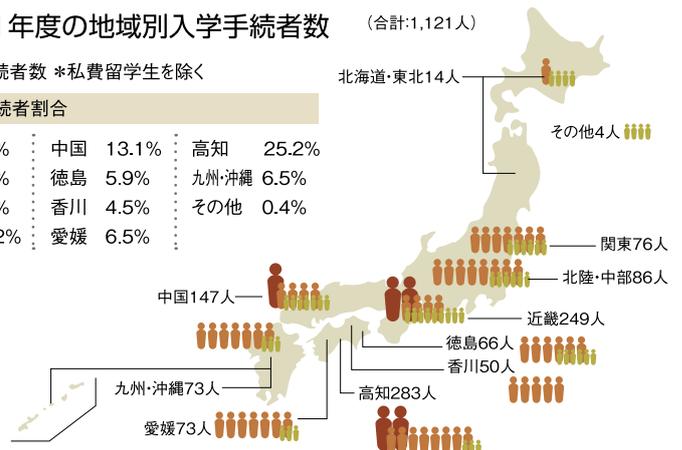
- □ は募集なし
- 私費外国人留学生入試は、志願者=53名、合格者=15名
- 実質倍率=受験者数/合格者数
- 平成31年度医学部医学科(前期日程)では、第1段階選抜を実施しなかった
- 入学定員及び募集人員の合計には「土佐さきがけプログラム」の数は含まない
- 追加合格者は含まない
- 農林海洋科学部農林資源環境科学科暖地農学主専攻領域の推薦入試Iは専門推薦

平成31年度の地域別入学手続者数 (合計:1,121人)

地域別入学手続者数 *私費留学生を除く

地域別入学手続者割合

北海道・東北	1.2%	中国	13.1%	高知	25.2%
関東	6.8%	徳島	5.9%	九州・沖縄	6.5%
北陸・中部	7.7%	香川	4.5%	その他	0.4%
近畿	22.2%	愛媛	6.5%		



合格者の最高得点率・最低得点率・平均得点率（一般入試）

平成31年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		89.3%	70.6%	77.9%	81.3%	65.7%	69.8%	800
		国際社会コース		84.4%	67.7%	76.5%	77.7%	69.0%	72.4%	700
		社会科学コース	A選抜	78.9%	63.5%	68.5%	72.1%	62.0%	64.6%	1,200
			B選抜	-	-	-	-	-	1,200	
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		教育学、教科教育、特別支援教育		74.2%	57.9%	65.6%	75.8%	63.0%	66.6%	1,150
		音楽教育コース、美術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		保健体育教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		科学技術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
理工学部	数学物理学科		数学受験	70.4%	55.7%	62.2%	69.2%	52.8%	58.6%	1,300
			理科受験	66.4%	51.1%	57.5%	68.8%	51.0%	61.3%	1,300
		情報科学科		71.9%	49.7%	59.4%	74.6%	56.6%	63.1%	1,300
		生物科学科		70.8%	58.8%	62.9%	72.2%	63.1%	65.9%	1,300
		化学生命理工学科		79.4%	54.2%	62.2%	78.2%	60.1%	63.4%	1,300
		地球環境防災学科		66.6%	53.2%	59.9%	71.5%	60.8%	64.6%	1,300
医学部	医学科			91.2%	79.6%	85.0%	82.4%	72.2%	75.1%	1,900
	看護学科			74.4%	66.5%	69.4%	75.3%	69.2%	70.7%	790
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			71.6%	59.7%	63.7%	70.7%	63.3%	65.8%	800
		農芸化学科		74.2%	59.8%	63.4%	74.6%	62.4%	65.1%	700
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース		73.7%	66.2%	70.3%	75.5%	68.8%	71.5%	900
		海底資源環境学コース		70.9%	49.1%	61.1%	70.5%	57.2%	62.4%	1,400
		海洋生命科学コース		73.7%	62.2%	67.4%	74.7%	64.9%	68.6%	1,300
地域協働学部	地域協働学科		79.2%	58.5%	69.5%	75.7%	67.0%	70.0%	900	
土佐きぎげプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース		-	-	-	-	-	-	1,000	
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		-	-	-	-	-	-	700
		国際社会コース		85.3%	74.7%	80.1%	85.5%	75.3%	79.3%	700
		社会科学コース		-	-	-	-	-	-	700
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学、教科教育、特別支援教育		-	-	-	-	-	1,000	
理工学部	数学物理学科			-	-	-	-	-	-	1,000
				-	-	-	-	-	-	1,000
		情報科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		生物科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		化学生命理工学科		68.7%	53.2%	61.8%	70.2%	55.6%	62.9%	900
		地球環境防災学科		-	-	-	-	-	-	1,000
医学部	看護学科		-	-	-	-	-	-	790	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			76.9%	61.4%	66.7%	78.1%	66.0%	69.6%	900
		農芸化学科		73.6%	67.9%	70.4%	75.7%	70.5%	72.6%	700
	海洋資源科学科			80.4%	68.4%	72.9%	81.3%	70.5%	74.0%	800

平成30年度

前期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		86.8%	65.4%	73.0%	81.1%	62.3%	67.8%	800
		国際社会コース		82.8%	61.4%	73.1%	81.6%	64.6%	72.4%	700
		社会科学コース	A選抜	84.9%	57.3%	65.0%	76.8%	58.7%	63.0%	1,200
			B選抜	-	-	-	-	-	1,200	
教育学部	学校教育教員養成課程	幼児教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		教育学、教科教育、特別支援教育		76.3%	53.8%	63.5%	74.5%	60.6%	63.9%	1,150
		音楽教育コース、美術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		保健体育教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
		科学技術教育コース		-	-	-	-	-	-	1,150
理工学部	数学物理学科		数学受験	73.0%	54.0%	61.6%	71.9%	53.2%	57.4%	1,300
			理科受験	64.1%	52.3%	57.5%	67.2%	55.0%	61.2%	1,300
		情報科学科		70.6%	52.6%	58.8%	74.9%	50.6%	58.0%	1,300
		生物科学科		70.3%	54.8%	60.2%	77.6%	63.9%	67.0%	1,300
		化学生命理工学科		65.6%	52.5%	59.2%	72.1%	58.8%	64.7%	1,300
		地球環境防災学科		70.4%	49.0%	58.1%	67.0%	51.6%	59.5%	1,300
医学部	医学科			88.9%	79.1%	83.9%	82.4%	76.0%	78.3%	1,900
	看護学科			75.8%	64.3%	67.9%	77.1%	66.7%	69.6%	790
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			72.1%	53.3%	60.8%	72.1%	56.0%	61.6%	800
		農芸化学科		71.0%	56.5%	63.5%	73.0%	60.9%	66.0%	700
	海洋資源科学科	海洋生物生産学コース		75.3%	65.1%	67.8%	75.0%	67.0%	69.0%	900
		海底資源環境学コース		63.4%	55.9%	60.1%	68.7%	60.8%	64.5%	1,400
	海洋生命科学コース		72.1%	58.4%	65.0%	73.6%	67.9%	70.1%	1,300	
地域協働学部	地域協働学科		80.0%	58.0%	66.1%	72.7%	61.4%	65.0%	900	
土佐きぎげプログラム	グリーンサイエンス人材育成コース		-	-	-	-	-	-	1,000	
後期日程	学部	学科・課程等	選抜グループ	大学入試センター試験成績(得点率)			総合得点(得点率)			総合得点
				最高点	最低点	平均点	最高点	最低点	平均点	満点
人文社会科学部	人文社会科学科	人文科学コース		-	-	-	-	-	-	700
		国際社会コース		80.5%	66.3%	73.8%	79.6%	69.5%	75.1%	700
		社会科学コース		-	-	-	-	-	-	700
教育学部	学校教育教員養成課程	教育学、教科教育、特別支援教育		-	-	-	-	-	1,000	
理工学部	数学物理学科			-	-	-	-	-	-	1,000
				-	-	-	-	-	-	1,000
		情報科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		生物科学科		-	-	-	-	-	-	1,000
		化学生命理工学科		72.9%	54.0%	63.7%	72.5%	57.3%	64.7%	900
		地球環境防災学科		-	-	-	-	-	-	1,000
医学部	看護学科		83.4%	60.1%	68.8%	79.6%	63.6%	68.3%	790	
農林海洋科学部	農林資源環境科学科			70.7%	57.4%	64.0%	70.5%	59.3%	65.2%	900
		農芸化学科		75.7%	66.5%	69.6%	76.5%	69.4%	71.5%	700
	海洋資源科学科		78.0%	61.9%	68.0%	79.1%	64.6%	69.3%	800	

注:1 追加合格者は含んでいません。 注:2 合格者が10人未満の学科等については公表しません。 注:3 平均点は小数第2位を四捨五入する。

2014~2019年度入学者出身校一覧 ※学校名は入学時の名称

北海道

札幌藻岩、釧路湖陵、函館ラ・サール、旭川西、北星学園女子、上士幌、クラウ記念国際、札幌、札幌旭丘、札幌第一、旭川北、北見北斗、札幌新川七飯、登別明日中、札幌新陽、北星学園余市、苫小牧工業高等専門学校、札幌光星、静内、苫小牧東、室蘭美、札幌南、旭川東、立命館慶祥、岩見沢西、小樽湖陵、函館中部、札幌清田、千歳、札幌北陵、中標津

青森

青森山田

岩手

一関第一、宮古、不来方

宮城

東北学院、仙台第三、仙台向山、石巻、宮城第一、仙台二華、泉館山、仙台東、宮城野、尚綱学院

秋田

本荘

山形

日本大学山形、基督教独立学園、新庄北、長井

福島

安積黎明、郡山

茨城

牛久米進、古河第三、江戸川学園取手、茗溪学園、土浦日本大学、鹿島学園、土浦第一、水城、日立第一、牛久、緑岡、つくば秀英、鹿島、常総学院、水戸第一、水戸第二、茨城キリスト教学園、水戸桜ノ牧、鉦田第一、水海道第一、藤代、土浦第三、土浦第二、茨城

栃木

大田原、真岡、宇都宮中央女子、鹿沼、那須高原海城、作新学院、大田原女子、真岡女子、宇都宮、佐野、足利女子

群馬

太田(私立)、前橋(私立)、富岡、東京農業大学第二、藤岡中央、高崎北、太田女子、勢多農林、桐生女子、桐生、沼田

埼玉

開智、浦和(私立)、大宮開成、春日部、越谷北、城西大学付属川越、川口北、松山、熊谷女子、開智未来、浦和第一女子、本庄東、武南、春日部共栄、西武台、西武学園文理、伊奈学園総合、東京農業大学第三、川越東、春日部女子、熊谷、大妻嵐山、新座総合技術、川越、本庄、草加、朝霞、熊谷西、越谷南、浦和(市立)、所沢北、与野

千葉

銚子(市立)、市原(私立)、木更津総合、千葉英和、市原中央、成田、長生、成東、千葉西、佐原、幕張総合、麗澤、千葉商科大学付属、専修大学松戸、柏日体、八千代松陰、東京学館浦安、昭和学院秀英、渋谷教育学園幕張、東葛飾、成田国際、稲毛、千葉東、千葉北、船橋東、柏(私立)、流山おおたかの森、佐倉、佐原白鳩、匝瑺、木更津、習志野、津田沼、八千代

東京

佼成学園、多摩科学技術、城北(私立)、東京学芸大学付属、麻布、駒場、江戸川女子、集陽、聖徳学園、多摩大学附属聖ヶ丘、八王子学園八王子、日本大学第二、拓殖大学第一、東京都立大学等々力、安田学園、開成、桐朋女子、成城、狛江、三鷹中等教育学校、小川、日本放送協会学園、田園調布、東京工業大学附属科学技術、武蔵(都立)、筑波大学附属、町田、清瀬、戸山、小松川、光塩女子学院高等科、杉並学院、東京都立大学付属、國學院大学久我山、世田谷学園、大東、田園調布学園高等部、東京、大森学園、青稜(私立)、東京農業大学第一、立教女子学院、北園、武蔵(私立)、自由学園高等科、江戸川、桜美林、錦城、青山、東京工業高等専門学校、東京大学教育学部附属中等教育学校、吉祥女子、成蹊、園分寺、十文字、国際、女子学院、暁星、大妻、日比谷、府中、三輪学園、新宿山吹、東大和南、小金井北、世田谷東、新宿、砂川、城東、目黒(都立)、桜修館中等教育学校、國學院、竹早、成立学園、文京学院大学女子、京華、西、学習院高等科、早稲田、保善、海城、正則、広尾学園、芝、都文館

神奈川

鎌倉学園、小田原、公文国際学園高等部、鶴岡、湘南、平塚江南、大和、湘南学院、光陵、厚木、相光学園、生田、横浜サイエンスフロンティア、鎌倉女子大学高等部、山手学院、桐蔭学園、高木女子学院、湘南学園、湘南白百合学園、日本大学藤沢、藤瀬学園藤沢、森村学園高等部、東海大学付属横浜、立花学園、神奈川大学付属、横浜隼人、大磯、横浜創英、逗子開成、川崎(私立)、浅野、東、横浜翠嵐、横浜平沼、横浜緑ヶ丘、金井、鶴見、横浜賀木津、横浜清陵、関東学院、希望ヶ丘、横浜雙葉、追浜、

神奈川総合、菅、戸塚、伊志田、相模原(私立)

新潟

長岡、柏崎翔洋中等教育学校、村上中等教育学校、高田北城、高田、日本文理、村上、巻、新潟西、新潟江南、新潟南、新潟

富山

富山東、魚津、呉羽、高岡南、片山学園、高岡西、富山、氷見、南砺福野

石川

金沢、小松、金沢桜丘、星稜、飯田、金沢錦丘、金沢二水、金沢学院東、小松大谷、日本航空高等学校石川、小松市立

福井

北陸、武生東、若狭、美方、武生、仁愛女子、大野、高志、藤島、敦賀、鯖江

山梨

巨摩、山梨学院、甲府南、甲府第一、韮崎、富士河口湖

長野

松本嶺ヶ崎、飯田、諏訪清陵、諏訪二葉、松本県ヶ丘、伊豆弥生ヶ丘、松商学園、長野吉田、上田、佐久長聖、長野西、野沢北、長野日本大学、木曾青峰、中野西、長野(私立)、松本深志、屋代、岡谷南、大町岳陽

岐阜

長良、岐阜、恵那、岐阜、中津、益田清風、大垣東、加茂、岐阜北、多治見、多治見北、鶯谷、斐太、中京、多治見西、帝京大学可児、岐阜農林、加納、高山西、海津明誠、関、岐阜東、大垣北、瑞浪、麗澤瑞浪、各務原西

静岡

清水東、磐田南、三島北、静岡城北、沼津東、島田、浜名、静岡市立、浜松西、吉原、加藤学園暁秀、伊東、聖隷クリストファー、韮山、浜松湖東、富士西、伊豆中央、浜松市立、静岡学園、浜松日体、袋井、焼津中央、掛川東、掛川西、富士、下田、沼津西、清水西、静岡、静岡東、磐田東、静岡北、三島南、榛原、知徳、浜松学芸、御殿場南、藤枝明誠、静岡聖光学院、浜松湖東、藤枝西、沼津城北、浜松南、清流館、浜松工業、藤枝東、富士市立、静岡中央、科学技術、静岡西

愛知

東海、愛知、滝、刈谷北、横須賀、一宮南、岡崎西、岡崎北、名古屋西、南山、五条、愛知淑徳、昭和、旭野、瑞陵、緑、西尾、千種、旭丘、西春、一宮、国府、名古屋、菊里、天白、中部大学春日丘、豊川、春日丘、高蔵寺、小牧南、豊橋南、大府東、名古屋北、碧南、春日井、小牧、一宮西、津島、松蔭、東郷、大府、愛知教育大学附属、西尾東、豊田西、岡崎、長久手、東邦、海陽中等教育学校、藤ノ花女子、名古屋女子大学、光ヶ丘女子、明和、中村、熱田、桜丘、岡崎城西、清林館、豊野、名古屋大学教育学部附属、桜花学園、阿久比、成章、田口、東海南、桜台、岡崎東、豊明、津島東、中京大学附属中京、刈谷、豊田南、日進西、美和、豊田、名東、豊丘、知立東、鶴城丘、中央

三重

高田、神戸、津西、四日市西、四日市、宇治山田、川越、皇學館、桜丘、津、鈴鹿、名張西、津東、尾鷲、上野、眺、松阪、三重、四日市南、桑名、ウィッツ青山学園、学法律田学園

滋賀

米原、東大津、水口東、膳所、彦根東、八日市、虎姫、光景、石山、比叡山、草津東、MIHO美学院中等教育学校、近江兄弟社、河瀬、安曇川、高島、ECC学園

京都

京都成章、菟道、福知山、洛西、亀岡、大谷、西舞鶴、南陽、嵯峨野、西城陽、京都教育大学附属、桃山、東山、洛南、城南菱刈、宮津、峰山、西京、桂、日吉ヶ丘、京都女子、福知山成美、海洋、園部、龍谷大学付属平安、京都学園、京都産業大学附属、立命館、京都橋、京都共栄学園、鳥羽、東宇治、紫野、網野、京都聖母学院、西乙訓、洛北、ノートルダム女子学院、山城、綾部、同志社、堀川、洛星、塔南、久御山、花園、京都文教、須知

大阪

清風、大阪桐蔭、清教学園、近畿大学附属、高槻、桃山学院、開明、関西大倉、泉陽、清風南海、四天王寺、明星、浪速、池田、帝京山学院泉ヶ丘、東海大学付属仰星、大阪教育大学附属平野、鳳、茨木、寝屋川、箕面、三島、大阪学芸、北千里、プール学院、槻の木、岸和田、牧野、四條畷、箕面自由学園、大阪教育大学附属天王寺、今宮、常翔学園、金剛

千里、大手前、初芝富田林、市岡、四天王寺羽曳丘、南、興國、東住吉、住吉、上宮、北野、常翔啓学園、春日丘、咲くやこの花、大阪星光学院、大谷、大阪学芸中等教育学校、早稲田摂陵、八尾、東、枚方、大阪青凌、和泉、三国丘、高津、河南、追手門学院、大阪国際大和田、大阪市立、羽衣学園、大阪信愛女子学院、大阪薫英女子学院、豊中、農芸、大阪教育大学附属池田、桜塚、茨木西、港、清水谷、夕陽丘、布施、花園、天王寺、阿倍野、生野、富田林、長野、豊島、香里丘、初芝立命館、金光大阪、大阪商業大学、履正社、賢明学院、泉北、淀川工科、佐野、狭山、都島工業、扇町総合、刀根山、桃谷、関西大学第一、堺、ルネサンス大阪、向陽台、天王寺学館、上宮太子、金光八尾、近畿大学泉州、大阪商業大学堺、関西創価

兵庫

津名、姫路飾西、八鹿、御影、小野、龍野、川西緑台、三木、北須磨、姫路南、加古川、相生、洲本、加古川東、夢野台、星陵、兵庫県立大学附属、須磨学園、姫路、淨心学院、明石城西、明石、明石北、三田祥雲館、長田、伊丹(私立)、兵庫、西宮(私立)、西宮(市立)、神戸星城、滝川、豊岡、神戸商業、尼崎小田、宝塚北、西宮北、篠山鳳鳴、香寺、白陵、社、明石西、近畿大学附属豊岡、神戸、北摂三田、須磨東、滝川第二、雲雀丘学園、三丁学園、加古川北、佐用、東播磨、尼崎北、柏原、有馬、伊丹北、伊川谷北、明石南、神戸鈴蘭台、淡路三原、西宮東、須磨友が丘、鳴尾、宝塚西、六甲学院、姫路西、親和女子、西脇、赤穂、姫路東、報徳学園、神戸学院大学附属、東洋大学附属姫路、柳学園、賢明女子学院、六甲、福岡、浜坂、出石、芦屋(私立)、西宮今津、姫路商業、上郡、山崎、北条、宝塚、尼崎福園、仁川学院、高砂南、高砂、猪名川、三田聖聖、神戸国際、川西北陵、伊和、播磨農業、神戸大学附属中等教育学校、神戸甲北、六甲アイランド、明石清水、太子、琴丘、明石商業、甲南、甲南女子、神戸龍谷、和田山、伊丹(市立)、尼崎(私立)

奈良

帝塚山、高田商業、桜井、平城、奈良学園、青翔、高田、敬務、榎原、奈良北、智辯学園、西大和学園、智辯学園奈良レジャージ高等部、香芝、郡山、奈良、登美ヶ丘、育英西、奈良学園啓美ヶ丘、天理教育学園、生駒、天理、五條、一条、奈良女子大学附属中等教育学校

和歌山

田辺、桐蔭、向陽、開智、近畿大学附属和歌山、和歌山信愛、日高、海南、新宮、智辯学園和歌山、星林、耐久、橋本、近畿大学附属新宮、串本古座、神島、那賀、粉河、初芝橋本

鳥取

倉敷東、鳥取西、鳥取東、米子東、倉吉西、米子西、八頭、鳥取城北、倉吉北、米子松蔭、鳥取中央育英、鳥取工業、倉吉農業、米子北斗

島根

松江南、出雲、松江北、大社、浜田、隠岐島前、松江東、益田、大田、石見智翠館、三刀屋、平田、大東、安来、津和野、出雲西、松江西、島根中央、飯南、江津、矢上、開星

岡山

倉敷南、岡山城東、岡山一宮、岡山学芸館、岡山芳泉、岡山操山、倉敷古城池、倉敷天城、明誠学院、総社、津山、倉敷北、津島(私立)、岡山白陵、岡山朝日、西大寺、倉敷青陵、新見、瀬戸、高梁、勝山、金光学園、岡山、林野、岡山理科大学附属、玉野、玉野光南、就美、矢掛、井原、津山東、関西、笠岡、おかやま山陽、邑久、創志学園、岡山大安寺、岡山県作陽、興譲館、岡山泉美作、津山商業、倉敷商業、倉敷翠松、岡山大安寺中等教育学校、備前緑陽、岡山南、朝日塾中等教育学校、清心女子、岡山工業、岡山後楽館、倉敷鷺羽、岡山龍谷、山陽女子

広島

府中、福山誠之館、安古市、広島国泰寺、広、広島皆実、修道、廿日市、祇園北、尾道東、広島学院、高陽、広島なびさ、大門、広島大学附属、崇徳、神田旭、三次、尾道商業、尾道北、呉三津田、広島、広島大学附属福山、賀茂、広島城北、海田、ノートルダム清心、広島、近畿大学附属広島(福山校)、西条農業、舟入、基町、安佐北、沼田、因島、広島国際学院、安田女子、五日市、盈進、庄原格致、銀河学院、如水館、広島井口、武田、呉宮原、福山曉の星女子、近畿大学附属広島(東広島校)、広島女子学院、比治山女子、広島、福山華陽、福山明工台、呉港、広島県瀬戸内、世羅、広島三育学院、吉田、日影館、福山、AICJ、西、油木、可部、安芸府中、広島新庄、広島文教女子大学附属、広島観音、美鈴が丘

山口

山口、徳山、豊浦、岩国、下関南、小野田、下関西、華陵、下松、大津緑洋、早瀬、下関中等教育学校、宇部、長府、国防大島、防府、柳井、松陰、熊毛南、光、西京、萩、厚狭、サビエル

徳島

脇町、城北、城南、池田、富岡西、城東、阿波、徳島市立、城ノ内、徳島北、富岡東、川島、海部、小松島、徳島科学技術、徳島文理、鳴門渦潮、那賀、鳴門、三、名西、新野、板野

香川

高松桜井、高松第一、三本松、観音寺第一、丸亀、高松市、坂出、高松北、高松商業、高松、善通寺第一、香川誠陵、坂出商業、三木、香川中央、大手前丸亀、高松中央、高松東、香川県大手前高松、丸亀城井、観音寺中央、香川県大手前、英明、香川県藤井、小豆島、大手前高松、高松南、高瀬、坂出第一、土庄、観音寺総合、坂出工業

愛媛

三島、今治北、西条、宇和島東、八幡浜、松山中央、今治西、新居浜西、松山北、大洲、南宇和、川之江、松山南、愛光、松山東、宇和島南中等教育学校、松山西中等教育学校、新居浜東、清美、今治南、今治東中等教育学校、川之石、野村、清美平成中等教育学校、愛媛大学附属、小松、松山工業、松山聖陵、新田、丹原、新田青雲中等教育学校、伊予、三崎、東温、上浮穴、弓削、内子、今治明徳、土居、松山商業、松山東雲、北宇和、北条、吉田、宇和、新居浜商業

高知

高知道手前、土佐、高知学芸、高知小津、高知西、土佐塾、中村、土佐女子、高知商業、高知南、高知丸の内、岡豊、安芸、高知工業、高知、山田、明徳養塾、高知農業、須崎、宿毛、橋原、高知北、室戸、香野、幡多農業、窪川、高知東、大方、清水、中芸、伊野商業、高知工業、四万十、巖北、高知江の口養護学校、宿毛工業、佐川、高岡、清和女子

福岡

北筑、自由ヶ丘、福岡中央、明善、東福岡、福岡大学附属大濠、戸畑、修猷館、城南、筑紫、九州国際大学付属、八幡、育徳館、小倉、明治学園、香住丘、近畿大学附属福岡、西南学院、大年田、九州産業大学付属九州、鞍手、福岡工業大学附属城東、八幡、嘉穂、筑陽学園、田川、久留米、筑紫北、三池、小倉南、宗像、東筑、福岡女子学院、精華女子、福岡雙葉、久留米大学附設、東海大学付属第五、嘉穂東、八幡南、光陵、京都、糸島、小倉東、筑前、福岡、小郡、明倉、輝翔館中等教育学校、西南女子学院、敬愛、常盤、佐賀館

佐賀

伊万里、鹿島、鳥栖、佐賀西、弘学館、唐津東、東明館、佐賀商業、白石、武雄、唐津西、佐賀北、小城

長崎

五島、佐世保北、長崎南、西陵、諫早、佐世保西、長崎、道興館、島原、長崎北、上五島、佐世保南、長崎北陽台、長崎南山、大村、海星、長崎西、香岐、対馬、清峰、西彼杉、純心女子、長崎日本大学、口加

熊本

第二、熊本西、東稜、鹿本、大津、真和、熊本、玉名、熊本マリスト学園、第一、八代、人吉、熊本農業、清々園、一ツ葉、阿蘇中央、熊本北、天草、宇土、八代清流

大分

大分西、日田、佐伯鶴城、中津南、大分雄城台、別府鶴見丘、大分鶴城、大分豊野、大分舞鶴、大分東明、宇佐、安心院、明豊、竹田、杵築、高田、国東、爽風館、大分上野丘、日本文学大学附属、藤嶺、別府青山、大分、大分南、中津北、大分商業

宮崎

延岡、高鍋、妻、宮崎西、小林、宮崎北、宮崎南、宮崎大宮、都城泉ヶ丘、五ヶ瀬中等教育学校、日向、宮崎第一、都城西、日向学院、延岡星雲、佐土原、宮崎日本大学、翔翔、日南、延岡学園、都城東、高千穂、聖心ワルスラ学園、宮崎学園

鹿児島

武岡台、鹿児島中央、川辺、出水、ラ・サール、甲南、加治木、松陽、大口、池田学園池田、尚志館、鹿児島玉龍、樟南、川内、指宿、鹿屋中央、鳳凰、鹿児島、鶴丸、曾於、種子島、大島、鹿児島、志布志、鹿屋、鹿児島実業、出水中央

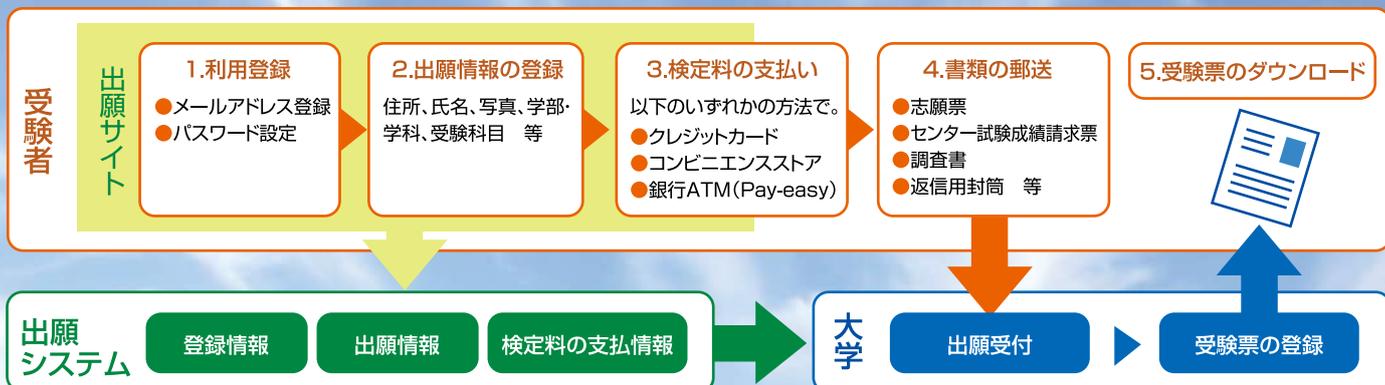
沖縄

向陽、那覇、琉球、首里、興南、普天間、コザ、読谷、沖縄尚学、開邦、名護、那覇国際、ヒューマンキャンパス、昭和薬科大学附属、那覇西、与勝、宮古、宜野座、糸満、知念

インターネット出願サイトについて

学部における入学者選抜の出願は、インターネットによる出願です。

四国の5国立大学(高知大学、徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学)共通の出願サイトです。*私費外国人留学生、社会人入試、編入学を除く



オープンキャンパス

Let's open the door!

高校生の皆さんに大学を様々な角度から体験してもらえるオープンキャンパス。高知大学では、教員はもちろん学生生活の先輩である大学生たち自身も参加して、充実した内容の説明会や体験型イベントを行っています。あなたもぜひ、高知大学を感じに来てください。

開催場所	8月3日(土)	開催場所	8月4日(日)
朝倉 キャンパス	人文社会科学部	朝倉 キャンパス	教育学部、地域協働学部
	理工学部	岡豊 キャンパス	医学部医学科、医学部看護学科
	地域協働学部	物部 キャンパス	農林海洋科学部



プログラム 各学科/コース紹介、入試相談、模擬授業、ミニゼミ、キャンパスツアー、在学生の体験談/質問コーナーなど
※プログラムによっては事前予約が必要なものがあります。開催時間、申込み方法等については大学HPをご覧ください。

[お問い合わせ先] 入試課入試広報室

☎ **088-844-8766** 高知大学入試情報サイト <http://nyusi.kochi-u.jp/> FAX 088-844-8147

大学案内・学生募集要項等の請求方法

高知大学ホームページをご覧ください。

<http://www.kochi-u.ac.jp/>

または

▶ 受験生サイト

▶ 学生募集要項等の請求方法

一般入試、AO入試、推薦入試の各募集要項は、インターネット出願への移行に伴い、Web閲覧のみとなります。

お問い合わせ先

■ 入試情報サイト。入試に関する様々なデータや最新情報を提供しています!

<http://nyusi.kochi-u.jp/>

■ モバイル端末からのアクセスはこちらから。

<http://daigakujc.jp/kochi-u/>

キャンパスライフに関するお問い合わせ先

学務部学生支援課 TEL 088-844-8149
E-mail gs03@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町2-5-1

入学者選抜に関するお問い合わせ先

学務部入試課 TEL 088-844-8153
E-mail nys-web@kochi-u.ac.jp
〒780-8520 高知市曙町2-5-1



LINEで情報配信中!
@kochi-univ.adm

オープンキャンパス情報や、入試情報などを配信しているのので、ぜひ「友だち」登録してご活用ください。

【登録方法】

LINEアプリから右のQRコードを読み取るか、「友だちをIDで検索」より「@kochi-univ.adm」を検索してください。



スマートフォン用アプリ

「高知大学AR」ができました!

1. 大学案内の中から、マーカースを探そう

スマホで読み込もう
このマークが添えられている「マーカース」を探してください。

2. ARカメラを起動して、マーカースにかざしてみよう



先輩からのメッセージや大学構内、周辺の様子が動画でご覧になれます。またこのアプリは、ARカメラ以外にもラジオや広報誌等の情報にもアクセスできます。ダウンロードは無料ですので、ぜひご利用ください!!

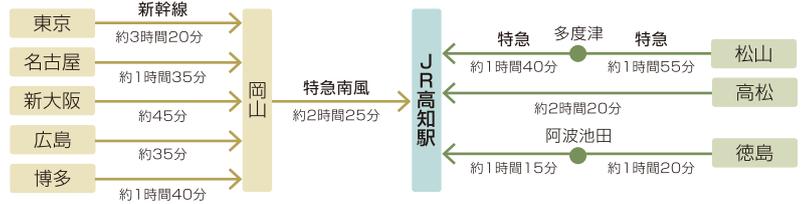
アプリストアで「高知大学」と検索!





高知県までの交通アクセス

▶ JR ※乗換時間は含みません



【キャンパス間の所要時間】



■ 朝倉キャンパス: 人文社会科学部・教育学部・理工学部・地域協働学部
高知市曙町2-5-1

朝倉キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約40分
空港連絡バスで約35分「はりまや橋」又は、約40分「JR高知駅」下車後、バス、路面電車又はJR土讃線へ乗換え
車で約20分又はバスで約25分
- 高知駅から 路面電車車で約30分、「朝倉(高知大学前)」下車
JR土讃線約15分、「朝倉駅」下車、徒歩3分
- 高知インターチェンジから 車で約30分
- 伊野インターチェンジから 車で約5分

■ 岡豊キャンパス: 医学部
南国市岡豊町小連

岡豊キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 車で約20分
- 高知駅から 車で約20分
バスで約30分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約10分
- 高知インターチェンジから 車で約10分

■ 物部キャンパス: 農林海洋科学部
南国市物部乙200

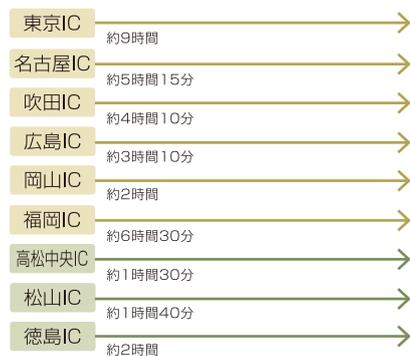
物部キャンパスまでの所要時間は次の通りです。

- 高知龍馬空港から 徒歩約15分
車で約30分
- 高知駅から 空港連絡バスで約35分、「高知龍馬空港」下車、徒歩約15分
JR土讃線約20分、「後免駅」下車、車で約15分
- 南国インターチェンジから 車で約20分
- 後免駅から 車で約15分

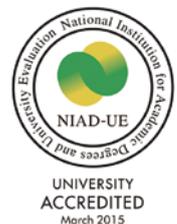
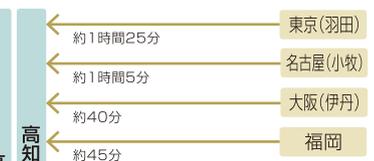
▶ 高速バス



▶ 車



▶ 飛行機



高知大学案内

発行日 2019年6月 / 発行 高知大学総務課
〒780-8520 高知市曙町2-5-1 TEL 088-844-8643 E-mail kh13@kochi-u.ac.jp